第5節　まとめ

1．地質調査成果

玉泉院丸確認調査等に係る地質調査では、当初の目的であった旧地形や庭園遺構の把握に留まらず、作庭以前の大型遺構や近・現代の盛土に関する情報まで、郭を構成する土層について、実に膨大なデータを得ることができた。本報告では、これらのデータと発掘調査所見を含めた柱状配列断面図、探査測線断面図を提示し、それらを基に郭の旧地形や各盛土及び遺構堆積層の広がり、遺構の形状や変遷について検討した。本節では、郭全体を構成する地盤や近世の大型遺構について確認できた様相を述べ、まとめとしたい。

（1）郭全体の地盤構成

位置と地形（郭の自然地形）（柱状断面配列図②～⑪、第132図）

検出地点の黒ボク層最下部高は、泉水縁石垣裏斜面（BP-66）の31.8 mを最高とする。郭内では郭南東部の29.1 m（BP-57）、出島周辺の28.3 m（BP-42）が高く、北西域の低い地点では26.6 m（BP-89）となる。また、黒ボク層上面高は郭北西域で見ると南29.5 m、北28.8 ～ 27.4 m、第1地点西で30.5 mと、南東から北西へ下る。これらのデータより、二ノ丸面と玉泉院丸の間に段丘崖を伴うこと、郭内ではほぼ平坦で、南東域が高く北西方向に向かって緩やかに下る段丘面であることを確認した。

近世盛土（造成土）

（ⅰ）**作庭以前の造成**（柱状断面配列図⑨）

近世盛土1とした地山直上の造成土は、旧地形の高低差により厚みが異なり、ほとんどの地点で上面高が標高30 ～ 29 m前後となっていることから、郭全体を屋敷地として造成した土層と推測している。発掘調査基本土層では、築城以後作庭以前にあたる地山直上の造成土で下層遺構の基盤をなす「下層盛土」【Ⅳb】に該当する可能性がある。

（ⅱ）**大規模造成に伴う盛土**（各柱状断面配列図参照）

郭北西域で確認した近世盛土1 ～ 3について、（ア）作庭後の庭園改修に伴う造成土、（イ）作庭に伴う造成土、（ウ）作庭以前の造成土と仮定した場合、（ア）の上面は凡そ32.5 ～ 31.5 m、（イ）の上面は凡そ31.5 ～ 30 m、（ウ）の上面は30 ～ 29 mで、いずれも1.5 ～ 1 mの非常に厚い盛土である。外周に近い地点では、庭園や建物の改修等様々な影響を受け、対応関係は追えない。

（2）初期の堀と郭（築庭以前の玉泉院丸）

全体プラン（第131図）

玉泉院丸東部で確認した堀の埋土は一貫して池の堆積層より下層に位置し、池に先行する作庭以前の堀（旧堀）と位置付けている。これまでの絵図調査等では未確認で、第1地点発掘調査において存在が明らかになった。遺構の形状や範囲は、各ボーリング地点で確認した遺構深度や高密度表面波探査の成果により推定した。旧堀は段丘崖の裾を掘削し、山側に段丘崖を形成した急斜面（切岸）を伴う。段丘地形と空堀との構成は、北堀の延長上の数寄屋屋敷西堀や、三ノ丸北堀に近いものである。

また、出島付近を掘り残し、郭北部、南東部外周下の2箇所に分かれることも明らかになった。それぞれを北堀、南堀と呼称し、第131図に旧堀推定範囲を示している。両堀間は土橋となっており、南堀南にも存在したものと見ている。

北堀（柱状断面配列図⑤・⑧～⑪・⑰～⑳・㉖、第128・131図）

北堀は紅葉橋南から数寄屋屋敷西堀縁石垣付近に位置し、規模は数寄屋屋敷西堀縁石垣を北端とすると、上端で南北約70 m、東西は紅葉橋付近の広い部分で約20 m、第1地点で約12 m、深さは第1地点で約4 mを測る。断面形は堀底を水平に整えた箱堀形を呈する。堀底は27.6 ～ 26.6 mと北側に緩やかに下がる。埋土の上面高は29 ～ 27 mである。また、第1地点の調査から西岸は急角度に

立ち上がる形状が判明している。作庭に伴い、ほとんどの地点で自然堆積層上に0.3～0.8 mの厚みで土を入れ、上面の平均高を27.5 m程度として埋めずに池として利用している。発掘調査第1地点では石垣前面の部分的な整地程度で済んでいる。紅葉橋付近のみ埋め立てられ斜面に取り込まれていることが判明した。

土橋（柱状断面配列図⑳・㉑・㉖、第131図）

北堀と南堀の間で掘り残した卵辰山層を確認し、位置や規模から玉泉院丸から二ノ丸へ至る経路として機能した土橋と見ている。土橋上面は撹乱を受けているが、低くとも28.9 mである。旧堀の推定範囲から、幅は上端で約12 m、延長は15 m以上と推測している。また、旧堀の中心線は、北堀南端が南堀北端に対して約5 m西にずれた位置にあり、土橋の平面形状は直線ではない可能性もある。

南堀（柱状断面配列図②・⑫・⑮～㉓・㉕・㉖、第125・126・131図）

南堀は玉泉院丸東斜面裾に位置し、規模は上端で南北約84 m、東西は北側の広い部分で約20 m、南側では約7 mを測る。断面形は高密度表面波探査によりV字型を呈することが判明している。堀底に顕著な高低差はなく、26.7～26.6 mである。北堀底（北側26.6～南側27.5 m）と比較すると、土橋周辺では南堀底が約1 m低い。作庭に伴い、2～2.5 mの厚みで土を入れて堀自体を埋め戻し、上面高を28.7～28.3 m程度としている。

南土橋（柱状断面配列図⑲・⑳・㉒、第131図）

南堀はいもり堀まで抜けていない。南堀南端（BP-58）底とその南地点（BP-10）では、地山1.2 mと盛土1.8 mで3 mの比高差があり、土橋であった可能性がある。

郭面（柱状断面配列図②～④、第131図）

旧堀の遺構面として、近世初期の屋敷地造成土と推定する地山直上の造成土（近世盛土1）上面が対応すると考えられる。上面高が標高30～29 m前後となっており、発掘調査の基本土層では地山直上の造成土で下層遺構の基盤をなす「下層盛土」【Ⅳb】と位置付けている。

（3）池泉（池、出島、中島［大・中・小］）

作庭時の造成（柱状断面配列図⑨、第130図）

発掘調査第1地点では、作庭に伴う池北部の整備は北堀の形状を踏襲して行われたことが判明した。ボーリング地点では、池底高（27.5 m程度）の調整を目的とする整地層が若干認められるが、基本的には、第1地点のように石垣前面の整地のみで利用していると推測する。北堀の南端は埋め立て、土橋を北側に拡幅し、土橋西方をC形に断ち割り北堀と接続させて出島を造成しているものと見られる。また、南堀は北東から東側の切岸を掘削して28.7～28.3 mまで埋め立て、掘削跡地を含めて池に取り込まれている。絵図等の情報から、池は南堀西側をC形に掘削し、掘り残した中央部を中島とする。この段階では中島（大）のみと推定している。

池の範囲と池底の高低（柱状断面配列図⑰～⑲、第129・130図）

池底堆積層を検出、あるいは発掘調査で池の存在を確認した範囲を第129・130図に示した。池底堆積層は南東斜面裾のBP-58まで検出し、これは南堀に伴う南土橋を残したためと推測する。池の高低は池の北東（28.53 m）を最高所とし、北池の北端では27.06 mを最低所とする。

池底の堰状施設（柱状断面配列図⑰～⑲、第127・129図）

出島の北西、北池南部、北堀の南西隅に隣接した場所において池底の堰状施設を確認した。作庭に伴い新たに掘削した池が、既設の北堀に連結する直前の位置にあたる。BP-81・16付近をピークとし、南はBP-43、北はBP-40付近にかけて南北約25 m程度の広がりを持つ緩やかに盛り上がった土手状の高まりである。この高まりは地山の削り出しで形成され、頂部付近は盛土で嵩上げされている。地山削り出しの手法をとることから、作庭当初からの施設であると推定している。高まりの上面高は、約28.5（BP-16）～29.0（BP-81）mであり、池中央部の水面高を知る手がかりの一つとなる。第3

地点の樋へ水を流すには少なくとも29.1 mの水位が必要であるが、調査ポイントが堰状施設の最高位とは限らないため、二つの施設が連動して機能するよう高さ調整された可能性は高いと見ている。また、池後期の中島（中・小）追加造成時の池底の掘り下げは、水面の引き上げより、水深の拡大を目的としたものと捉えられる。

池の改修（柱状断面配列図⑰～⑲、第127・129図）

池の範囲は、庭園最終段階には庭園初期より範囲が縮小される。それに伴い池中央部では底高が低く掘り下げられるが、池北部では大規模な掘り下げは認められない。

（ⅰ）**南東池の埋め立てと中島の追加造成**（柱状断面配列図⑫・⑮・⑯・⑳・㉕、第129・130図）

近世後期の絵図に見られる3つの中島のうち、（中）と（小）に該当する地点では、造成土の下に池底堆積層を確認し、池を埋め立て造成するという変遷を捉えた。これにより、地山直上に造成された中島（大）との基盤層や造成時期の違いが判明した。この南東斜面裾に伸びる庭園初期の池は底が28.7～28.3 mで、埋め立て造成時またはその後、新たに整備された池の底は70cm程度低くなる。

（ⅱ）**出島の拡幅**（柱状断面配列図⑪・⑫・⑳・㉑・㉖、第129・130図）

出島は、作庭時に造成され、庭園改修に伴い南東部が新たに盛土造成されたことが判明した。発掘調査第4地点でも同様のデータが得られている。

（ⅲ）**北池の補修**（柱状断面配列図⑧～⑩、第35・36・43図）

池の北部では、発掘調査により池の西岸盛土、東石垣前面整地層の存在が明らかとなり、いずれも石垣修理を契機とする造作である可能性が高い。修理を重ねて池幅が狭くなり、池底も上がる。

池底高や形状と規模の変遷については、今後、絵図や北東部第4地点発掘調査の情報も含め、さらなる詳細な検討が望まれる。

（4）その他

石垣裏込め及び前面盛土等

（ⅰ）**石垣裏込め**（柱状断面配列図⑤～⑪・⑬～⑱）

石垣背面の地山と造成土の状況は、数寄屋門下泉水縁石垣（BP-64～66）に見られるように同じ石垣面の隣接する調査地点の比較により、石垣面から一定の距離であっても背面造成土の厚みに差があることを確認し、旧地形の緩やかな凹凸を盛土造成することで直線的な石垣面を形成していることが窺える。

（ⅱ）**石垣前面盛土**（柱状断面配列図⑪～⑮）

玉泉院丸北石垣雛壇下段南面の背面（BP-73）及び二ノ丸南石垣納戸土蔵下南面の前面（BP-74）では、2.5～3 mの厚みをもつ栗石層を確認している。玉泉院丸外周石垣の構築技術や修築・改修履歴に関わる重要な知見と見ている。

2．結　語

以上のとおり、玉泉院丸確認調査等に係る地質調査では、豊富なデータと発掘調査成果等も含む総合的な検討から、（1）郭全体の地盤構成、（2）金沢城初期の大型遺構【北堀・土橋・南堀・南土橋】と郭、（3）池泉【池、出島、中島（大・中・小）】、（4）石垣裏込め及び前面盛土について知見を得ることができた。また、近代以後は、庭園の高所削平や馬場整備によるすき取り、体育館基礎のような地下破壊造作もあるものの、全体的には存外厚く盛土造成されたことも判明した。この造成土は、近世の遺構や造成土を覆い、破壊から保護してきた存在でもあり、玉泉院丸の現況を構成する大きな要素として捉えられよう。ともあれ、これらの地中データを基礎資料として、本報告以後も発掘調査や各種地質調査成果、絵図・文献のデータを積み重ね考察することで、より詳細な郭の変遷を追究できるものと期待する。

第33表　ボーリング地点一覧表（1/2）

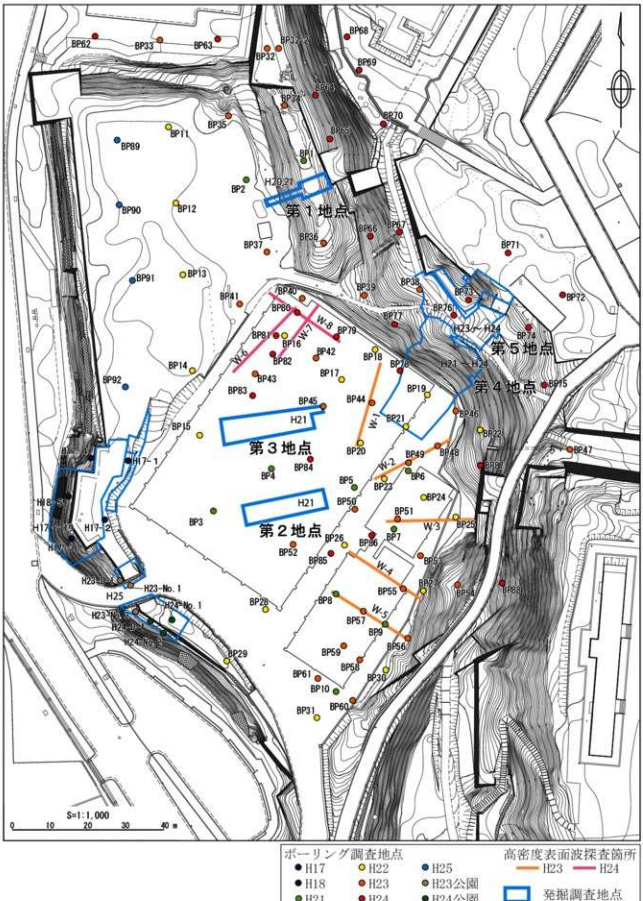
地点	調査年度	位置［絵図上の位置］	深度（m）	特徴・成果等
H17-1	平成17年	玉泉院丸南西石垣［石垣背面］	10.52	玉泉院丸南西石垣背面の旧地形・造成状況を確認（平成17年度県別途事業による）
H17-2	平成17年	玉泉院丸南西石垣［石垣背面］	13.45	玉泉院丸南西石垣背面の旧地形・造成状況を確認（平成17年度県別途事業による）
H17-3	平成17年	玉泉院丸南西石垣［石垣前面］	10.45	玉泉院丸南西石垣前面の旧地形・造成状況を確認（平成17年度県別途事業による）
H17-4	平成17年	玉泉院丸南西石垣［石垣前面］	10.5	玉泉院丸南西石垣前面の旧地形・造成状況を確認（平成17年度県別途事業による）
H18-5	平成18年	玉泉院丸南西石垣［石垣前面］	10.25	玉泉院丸南西石垣前面の旧地形・造成状況を確認（平成18年度県別途事業による）
H23-D-1	平成23年	玉泉院丸南石垣［石垣前面］	3.9	玉泉院丸南西部の旧地形・造成状況を確認（平成23年度県別途事業による）
H23-№1	平成23年	玉泉院丸南石垣［石垣背面］	10.5	玉泉院丸南西部の旧地形・造成状況を確認（平成23年度県別途事業による）
H23-№2	平成23年	玉泉院丸南石垣［石垣前面］	12.5	玉泉院丸南西部の旧地形・造成状況を確認（平成23年度県別途事業による）
H24-D-1	平成24年	玉泉院丸南石垣［石垣前面］	4.5	玉泉院丸南西部の旧地形・造成状況を確認（平成24年度県別途事業による）
H24-№1	平成24年	玉泉院丸南石垣［石垣背面］	7.5	玉泉院丸南西部の旧地形・造成状況を確認（平成24年度県別途事業による）
H24-№2	平成24年	玉泉院丸南石垣［石垣前面］	4.5	玉泉院丸南西部の旧地形・造成状況を確認（平成24年度県別途事業による）
BP-1	平成21年	玉泉院丸北部［北部池］	8.0	玉泉院丸北部池や旧堀（北堀）の深度等を確認
BP-2	平成21年	玉泉院丸北西部［武具役所］	12.0	玉泉院丸北西部の旧地形・造成状況を確認
BP-3	平成21年	玉泉院丸南西部［露地方役所］	8.0	玉泉院丸南西部の旧地形・造成状況を確認
BP-4	平成21年	玉泉院丸中央部［池］	9.0	玉泉院丸中央西部の旧地形・池の深度を確認
BP-5	平成21年	玉泉院丸東部［中島（大）］	10.0	玉泉院丸庭園池の中島（大）造成状況を確認（地山掘り残し上に造成）
BP-6	平成21年	玉泉院丸東部［中島（小）］	13.0	玉泉院丸庭園池の中島（小）造成状況を確認（旧堀→池→中島）
BP-7	平成21年	玉泉院丸東部［中島（中）］	10.0	玉泉院丸庭園池の中島（中）造成状況を確認（旧堀→池→中島）
BP-8	平成21年	玉泉院丸南東部［池南（高台）］	11.0	玉泉院丸南東部の旧地形・造成状況を確認
BP-9	平成21年	玉泉院丸南東部［攪乱］	10.0	玉泉院丸南東部の近・現代攪乱状況を確認
BP-10	平成21年	玉泉院丸南部［東側斜面裾］	10.0	玉泉院丸南部の旧地形・造成状況を確認（黒ボク検出なし）
BP-11	平成22年	玉泉院丸北西部［土蔵 南］	10.0	玉泉院丸北西部の旧地形・造成状況を確認
BP-12	平成22年	玉泉院丸北西部［武具役所］	8.0	玉泉院丸北西部の旧地形・造成状況を確認
BP-13	平成22年	玉泉院丸北西部［鼠多門東］	9.0	玉泉院丸北西部の旧地形・造成状況を確認
BP-14	平成22年	玉泉院丸北西部［露地方役所北］	7.0	玉泉院丸北西部の旧地形・造成状況を確認
BP-15	平成22年	玉泉院丸中央部［露地方役所］	6.0	玉泉院丸中央部の旧地形・造成状況を確認
BP-16	平成22年	玉泉院丸中央部［紅葉橋南池］	8.0	玉泉院丸庭園の池底高を確認
BP-17	平成22年	玉泉院丸中央部［出島］	8.0	玉泉院丸出島の造成状況を確認（地山掘り残し上に造成）
BP-18	平成22年	玉泉院丸東部［出島北東～園路］	8.0	玉泉院丸出島の近・現代攪乱状況を確認
BP-19	平成22年	玉泉院丸東部［池岸］	7.0	玉泉院丸東部斜面裾の旧堀（南堀）深度や造成状況を確認
BP-20	平成22年	玉泉院丸中央部［池］	8.0	玉泉院丸庭園の池底高を確認
BP-21	平成22年	玉泉院丸東部［池］	8.0	玉泉院丸東部池や旧堀（南堀）の深度等を確認
BP-22	平成22年	本丸附段西側石垣下段北斜面	6.0	玉泉院丸東部斜面の旧地形・造成状況を確認
BP-23	平成22年	玉泉院丸東部［池］	8.0	玉泉院丸東部池や旧堀（南堀）の深度等を確認
BP-24	平成22年	玉泉院丸東部［池］	8.0	玉泉院丸庭園の池底高を確認
BP-25	平成22年	本丸附段西側石垣下段裾	8.0	玉泉院丸東部石垣前面造成状況と造成以前の池底を確認
BP-26	平成22年	玉泉院丸南東部［池］	8.0	玉泉院丸南東部の近・現代攪乱状況と地山の状況を確認
BP-27	平成22年	玉泉院丸南東部［東側斜面裾］	8.0	玉泉院丸南東部斜面裾の造成状況を確認
BP-28	平成22年	玉泉院丸南部［高台］	6.0	玉泉院丸南部の旧地形・造成状況を確認
BP-29	平成22年	玉泉院丸南石垣土塀下［石垣背面］	6.0	玉泉院丸南部の旧地形・造成状況を確認
BP-30	平成22年	玉泉院丸南部［南部斜面］	7.0	玉泉院丸南部の旧地形・造成状況を確認（黒ボク検出なし）
BP-31	平成22年	玉泉院丸南石垣土塀下［石垣背面］	7.0	玉泉院丸南部の旧地形・造成状況を確認（黒ボク検出なし）
BP-32	平成23年	数寄屋屋敷西堀縁石垣［石垣背面］	5.0	数寄屋屋敷西の石垣背面状況を確認（栗石層）
BP-32-2	平成23年	数寄屋屋敷西堀縁石垣［石垣背面］	5.0	数寄屋屋敷西の石垣背面状況を確認（斜面造成）
BP-33	平成23年	数寄屋屋敷西堀［堀］	6.0	数寄屋屋敷西堀の深度を確認
BP-34	平成23年	玉泉院丸北部池［北部池］	5.0	玉泉院丸北部池や旧堀（北堀）の深度等を確認
BP-35	平成23年	玉泉院丸北部［土蔵 東］	7.0	玉泉院丸北西部の旧地形・造成状況を確認
BP-36	平成23年	玉泉院丸北部池［北部池］	6.0	玉泉院丸北部池や旧堀（北堀）の深度等を確認
BP-37	平成23年	玉泉院丸中央部［紅葉橋西詰］	9.0	玉泉院丸北西部の旧地形・造成状況を確認
BP-38	平成23年	玉泉院丸北東部［松坂T字路］	7.0	玉泉院丸北東部斜面の旧地形・造成状況を確認
BP-39	平成23年	玉泉院丸中央部［紅葉橋東詰］	8.0	玉泉院丸北東部斜面裾の旧堀（北堀）・埋め立て後の造成状況を確認
BP-40	平成23年	玉泉院丸中央部［紅葉橋南 池］	6.0	玉泉院丸中央部池や旧堀（北堀）深度を確認
BP-41	平成23年	玉泉院丸中央部［紅葉橋南西］	9.0	玉泉院丸北西部の旧地形・造成状況を確認
BP-42	平成23年	玉泉院丸中央部［出島北］	6.0	玉泉院丸出島の造成状況を確認（地山掘り残し上に造成）
BP-43	平成23年	玉泉院丸中央部［紅葉橋南 池］	6.0	玉泉院丸庭園の池底高を確認
BP-44	平成23年	玉泉院丸中央部［出島付根］	8.0	玉泉院丸出島造成土下で旧堀（南堀）底と堀埋め立て後の池底を確認
BP-45	平成23年	玉泉院丸中央部［出島南］	6.0	玉泉院丸出島の造成状況を確認（地山掘り残し上に造成）
BP-46	平成23年	玉泉院丸東部［北東斜面裾］	7.0	玉泉院丸東部斜面裾の造成状況を確認
BP-47	平成23年	極楽橋下空堀	5.0	本丸附段北側石垣北面の前面造成状況を確認
BP-48	平成23年	玉泉院丸東部［中島（小）北 岬状の付根］	6.0	玉泉院丸東部の造成状況を確認
BP-49	平成23年	玉泉院丸東部［中島（小）］	10.0	玉泉院丸庭園池の中島（小）造成状況を確認（旧堀→池→中島）
BP-50	平成23年	玉泉院丸中央部［中島（大）］	6.0	玉泉院丸庭園池の中島（大）造成状況を確認（地山掘り残し上に造成）

第34表　ボーリング地点一覧表（2/2）

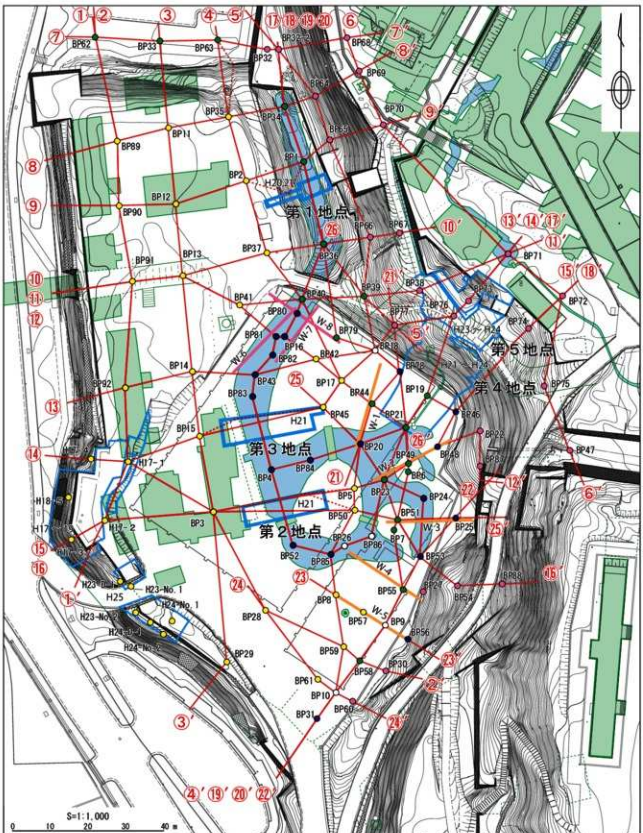
地点	調査年度	位置［絵図上の位置］	深度（m）	特徴・成果等
BP-51	平成23年	玉泉院丸東部［中島（中）］	6.0	玉泉院丸庭園池の中島（中）造成状況を確認（旧堀→池→中島）
BP-52	平成23年	玉泉院丸中央部［池］	7.0	玉泉院丸庭園の池底高さを確認
BP-53	平成23年	玉泉院丸南東部［中島（中）東側斜面］	6.0	玉泉院丸南東部の造成土（池岸付近か）を確認
BP-54	平成23年	玉泉院丸南東部［東側斜面］	5.0	玉泉院丸南東部の斜面造成土を確認
BP-55	平成23年	玉泉院丸南東部［池南方堀中央］	9.0	玉泉院丸庭園池の旧堀（南堀）の深度等を確認
BP-56	平成23年	玉泉院丸南東部［いも坂西側斜面堀］	9.0	玉泉院丸南東部斜面堀の造成状況を確認
BP-57	平成23年	玉泉院丸南東部［池南（高台）］	7.0	玉泉院丸南東部の旧地形・造成状況を確認
BP-58	平成23年	玉泉院丸南東部［池南方堀南］	9.0	玉泉院丸庭園池の旧堀（南堀）の深度等を確認【南堀南端付近】
BP-59	平成23年	玉泉院丸南東部［池南（高台付近）］	9.0	玉泉院丸南東部の旧地形・造成状況を確認
BP-60	平成23年	玉泉院丸南部［東側斜面堀］	5.0	玉泉院丸南部斜面堀の造成状況を確認
BP-61	平成23年	玉泉院丸南部	5.0	玉泉院丸南部の旧地形・造成状況を確認
BP-62	平成24年	数寄屋屋敷西堀［堀］	9.0	数寄屋屋敷西堀の深度を確認
BP-63	平成24年	数寄屋屋敷西堀［堀］	7.0	数寄屋屋敷西堀の深度を確認
BP-64	平成24年	数寄屋門下泉水縁右加［右加背面］	5.0	数寄屋門下泉水縁右加の背面状況を確認（斜面造成）
BP-65	平成24年	数寄屋門下泉水縁右加［右加背面］	6.0	数寄屋門下泉水縁右加の背面状況を確認（斜面造成）
BP-66	平成24年	数寄屋門下泉水縁右加［右加背面］	6.0	数寄屋門下泉水縁右加の背面状況を確認（斜面造成、黒ボク検出）
BP-67	平成24年	二ノ丸南右加屈曲先土蔵下右加［右加斜面］	6.0	二ノ丸南右加斜面の造成状況を確認
BP-68	平成24年	数寄屋屋敷西鉄巻右加［右加背面］	7.0	数寄屋屋敷西鉄巻右加背面の造成状況を確認
BP-69	平成24年	数寄屋屋敷西鉄巻右加［右加背面］	5.0	数寄屋屋敷西鉄巻右加背面の造成状況を確認
BP-70	平成24年	数寄屋屋敷西鉄巻右加［右加背面］	5.0	数寄屋屋敷西鉄巻右加背面の造成状況を確認
BP-71	平成24年	二ノ丸右加切間先門［池］	5.0	二ノ丸南右加背面の造成状況と池底を確認
BP-72	平成24年	二ノ丸右加納戸土蔵［土蔵東］	6.0	二ノ丸南右加背面の造成状況を確認
BP-73	平成24年	玉泉院丸北右加雛壇下段［右加背面］	7.0	玉泉院丸北雛壇右加下段の背面構造を確認（下半部が栗石層）
BP-74	平成24年	二ノ丸南右加納戸土蔵下［右加前面］	7.0	玉泉院丸北右加面取南面右加の背面構造を確認（上部まで栗石層）
BP-75	平成24年	二ノ丸南右加松坂門大将櫓下［松坂門西］	5.0	玉泉院丸北東部の造成状況を確認（松坂）
BP-76	平成24年	玉泉院丸北右加雛壇下段［松坂］	5.0	玉泉院丸北右加前斜面の造成状況を確認
BP-77	平成24年	玉泉院丸北東部［出島付根］	5.0	玉泉院丸北東部斜面の造成状況を確認
BP-78	平成24年	玉泉院丸北東部［出島東］	6.0	玉泉院丸北東部斜面堀の造成状況を確認
BP-79	平成24年	玉泉院丸中央部［出島］	6.0	玉泉院丸中央部の旧堀（北堀）深度等を確認【北堀南端付近】
BP-80	平成24年	玉泉院丸中央部［北部池］	7.0	玉泉院丸中央部の池底高を確認
BP-81	平成24年	玉泉院丸中央部［紅葉橋南 池］	6.0	玉泉院丸中央部の池底高を確認（周囲より高い）
BP-82	平成24年	玉泉院丸中央部［紅葉橋南 池］	6.0	玉泉院丸中央部の池底高を確認
BP-83	平成24年	玉泉院丸中央部［紅葉橋南 池］	6.0	玉泉院丸中央部の池底高を確認
BP-84	平成24年	玉泉院丸中央部［池 出島－中島間］	6.0	玉泉院丸中央部の池底高を確認
BP-85	平成24年	玉泉院丸南部［池 中島（大）南］	5.0	玉泉院丸南部の池底高を確認
BP-86	平成24年	玉泉院丸南東部［池 中島（大）－中間］	7.0	玉泉院丸南東部の近・現代攪乱状況と地山の状況を確認
BP-87	平成24年	本丸附段西側右加下段北縁	5.0	本丸附段西側右加下段前面の造成状況を確認（大きく切り下げられる）
BP-88	平成24年	玉泉院丸東部［東側斜面］	4.0	玉泉院丸東部斜面の造成状況を確認
BP-89	平成25年	玉泉院丸北西土蔵 東］	8.0	玉泉院丸北西部の旧地形・造成状況を確認
BP-90	平成25年	玉泉院丸北西部［北西土蔵 南東］	8.0	玉泉院丸北西部の旧地形・造成状況を確認
BP-91	平成25年	玉泉院丸北西部［鼠多門東］	8.0	玉泉院丸北西部の旧地形・造成状況を確認
BP-92	平成25年	玉泉院丸西部［南土蔵］	8.0	玉泉院丸北西部の旧地形・造成状況を確認

第35表　高密度表面波探査測線一覧表

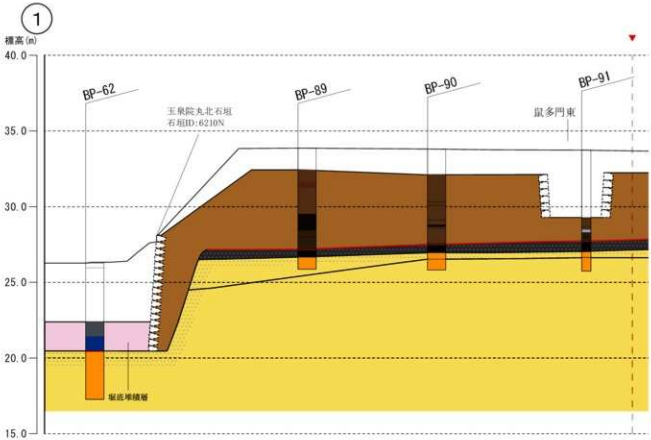
地点	調査年度	位置	測線長（m）	特徴・成果等
W-1	平成23年	玉泉院丸中央部	21	大型遺構（旧南堀）とみられる落ち込みの一角を確認
W-2	平成23年	玉泉院丸東部	23	大型遺構（旧南堀）とみられる落ち込みにほぼ直交。緩やかな落ちを確認
W-3	平成23年	玉泉院丸東部	23	大型遺構（旧南堀）とみられる落ち込みに直交。緩やかな落ちを確認
W-4	平成23年	玉泉院丸東部	30	大型遺構（旧南堀）とみられる落ち込みにほぼ直交。断面V字形状を確認
W-5	平成23年	玉泉院丸東部	24	深い落ち込みを確認（体育館基礎の攪乱か）
W-6	平成24年	玉泉院丸中央部	24	玉泉院丸庭園の池底形状
W-7	平成24年	玉泉院丸中央部	19	玉泉院丸庭園の池底形状
W-8	平成24年	玉泉院丸中央部	23	玉泉院丸庭園の池底形状と大型遺構（旧北堀）の一角



第 98 図　地質調査地点・測線位置図（S=1/1,000）



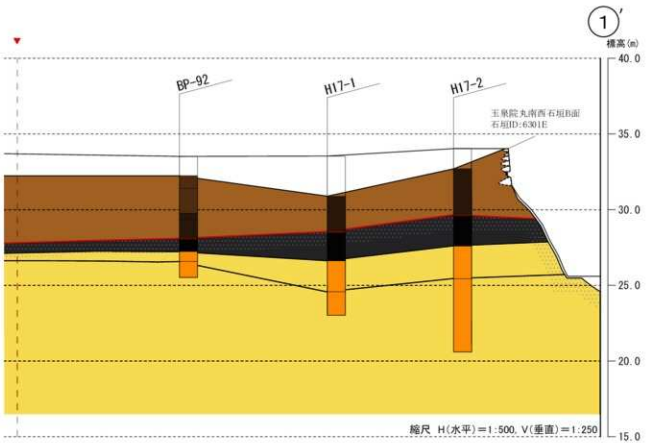
第 100 図　柱状断面配列図位置図（S=1/1,000）



調査地点位置図

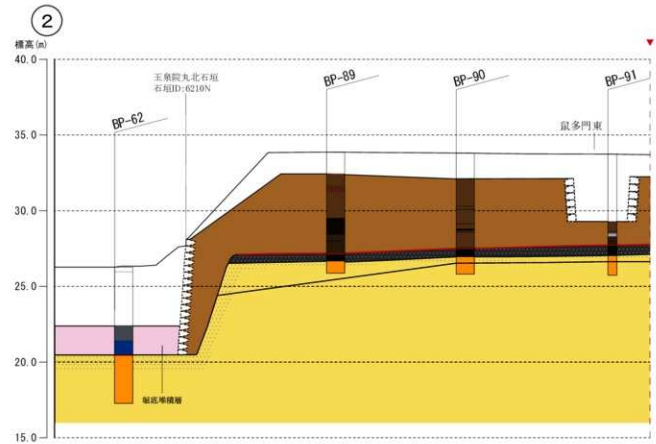
各ボーリングコアの土層凡例は個別詳細柱状図の項を参照されたい

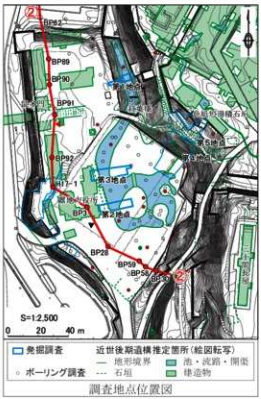
第101図　ボーリング調査地点　柱状断面配列図1（1）



①－①'（数寄屋屋敷西堀－玉泉院丸南西部）

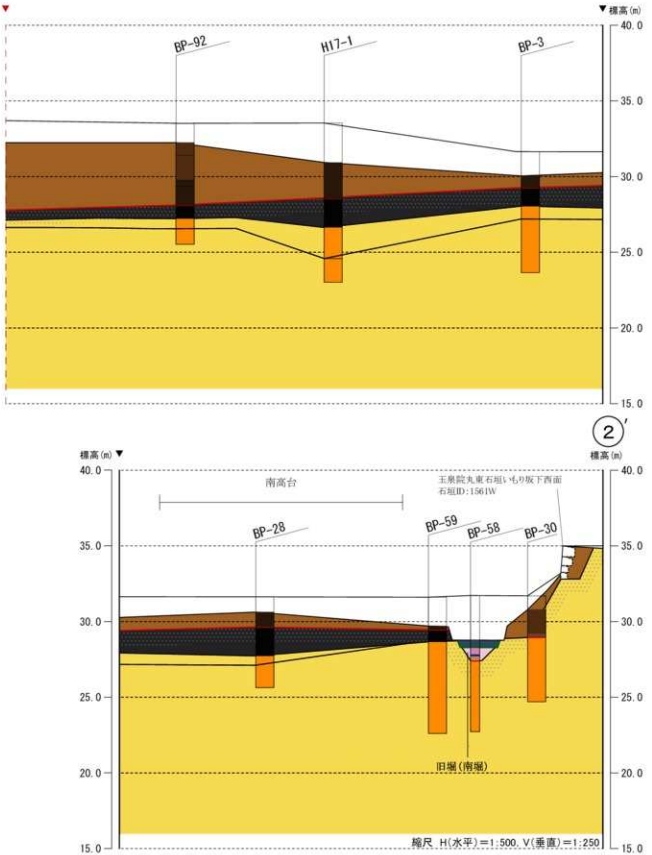
第101図　ボーリング調査地点　柱状断面配列図1（2）





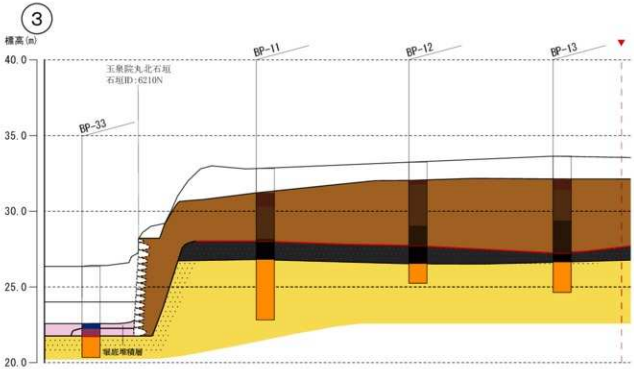
各ボーリングコアの土層凡例は個別詳細柱状図の項を参照されたい

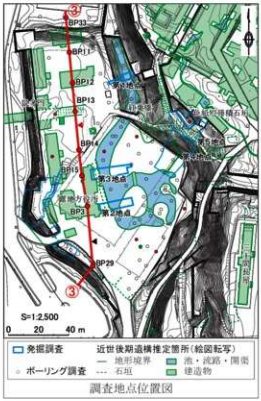
第102図　ボーリング調査地点　柱状断面配列図2（1）



②－②'（玉泉院丸北西部－玉泉院丸南東部）

第102図　ボーリング調査地点　柱状断面配列図2（2）

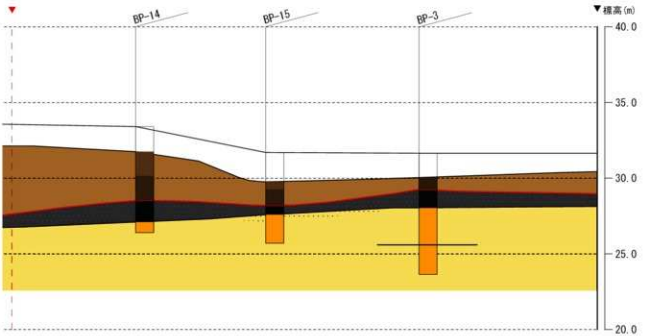


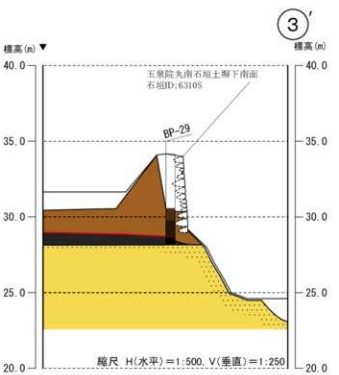


調査地点位置図

各ボーリングコアの土層凡例は個別詳細柱状図の項を参照されたい

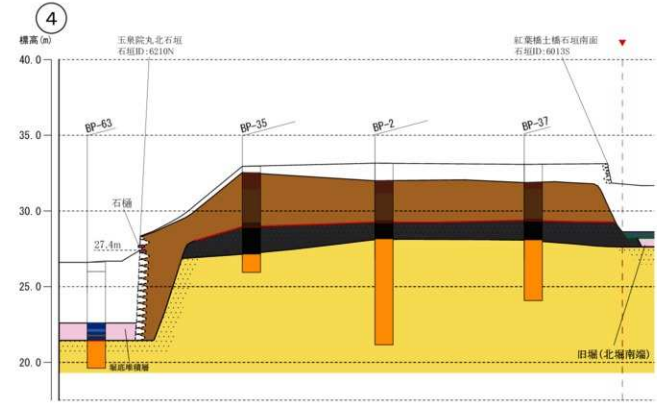
第103図　ボーリング調査地点　柱状断面配列図3（1）





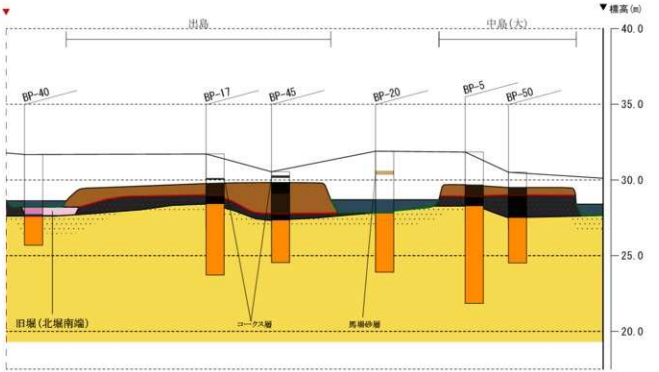
③－③′（玉泉院丸北西部－玉泉院丸南部）

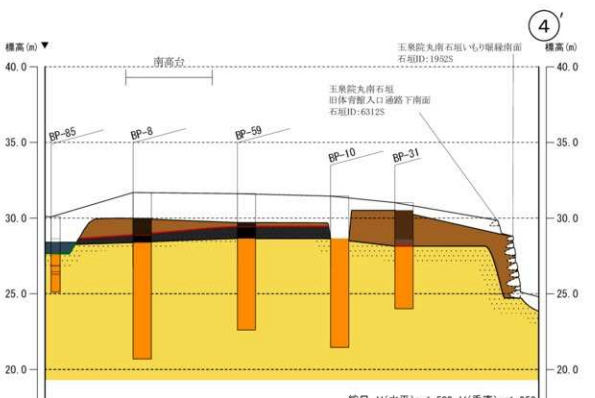
第103図　ボーリング調査地点　柱状断面配列図３（２）



各ボーリングコアの土層凡例は個別詳細柱状図の項を参照されたい

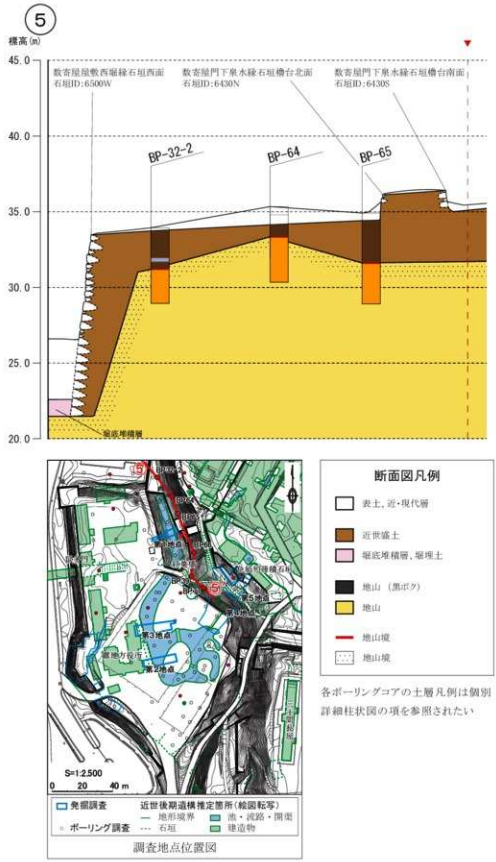
第 104 図　ボーリング調査地点　柱状断面配列図 4 （1）



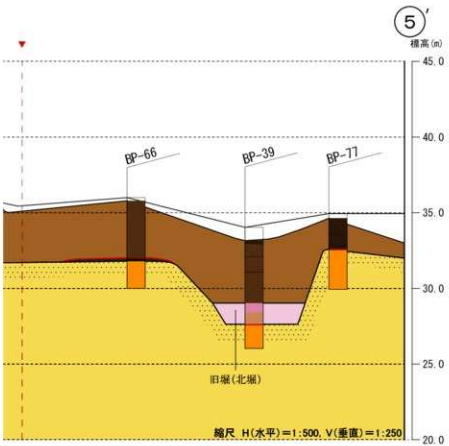


④－④' (玉泉院丸北部－玉泉院丸南部)

第104図　ボーリング調査地点　柱状断面配列図4（2）

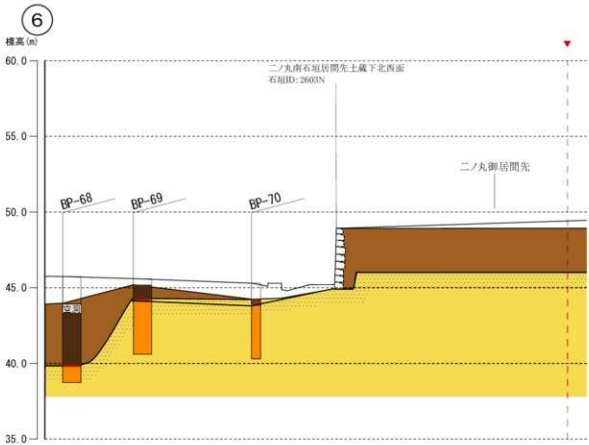


第 105 図　ボーリング調査地点　柱状断面配列図５（１）



⑤－⑤'（数寄屋屋敷西堀縁石垣背面－玉泉院丸北東斜面）

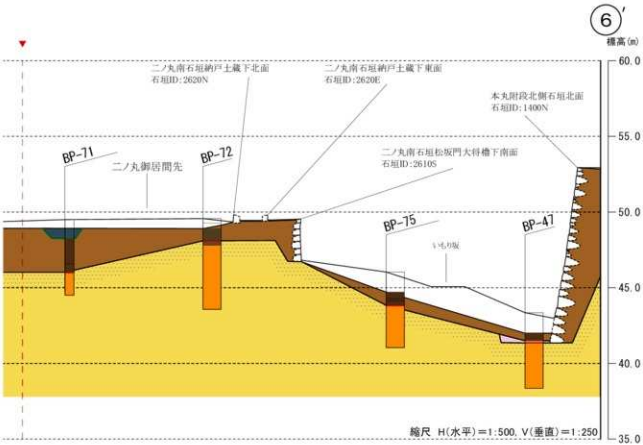
第105図　ボーリング調査地点　柱状断面配列図5（2）



調査地点位置図

各ボーリングコアの土層凡例は個別詳細柱状図の項を参照されたい

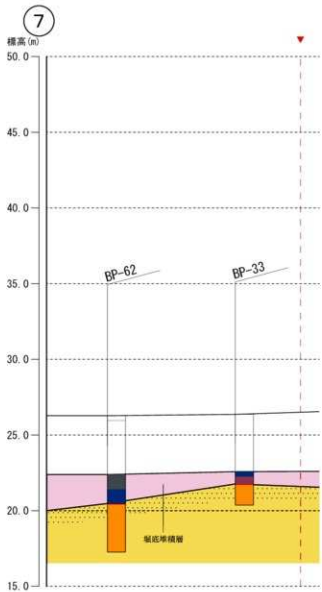
第106図　ボーリング調査地点　柱状断面配列図6（1）



⑥－⑥'（数寄屋屋敷西鉢巻石垣背面－極楽橋下空堀）

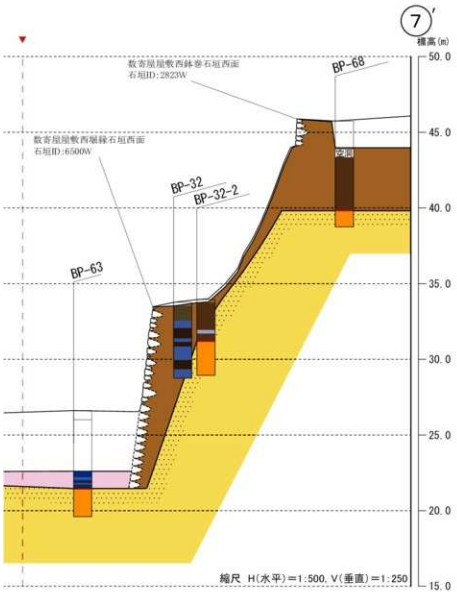
第106図　ボーリング調査地点　柱状断面配列図６（２）

調査地点位置図



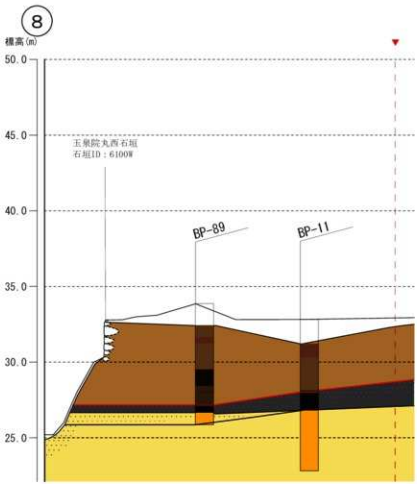
各ボーリングコアの土層凡例は個別詳細柱状図の項を参照されたい

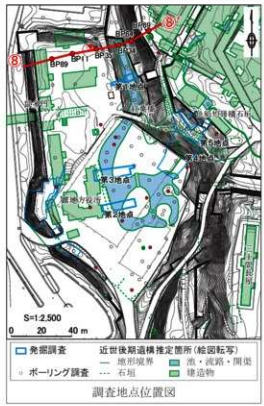
第107図　ボーリング調査地点　柱状断面配列図7（1）



⑦－⑦′（数寄屋屋敷西堀－数寄屋屋敷西鉢巻石垣背面）

第 107 図　ボーリング調査地点　柱状断面配列図７（２）

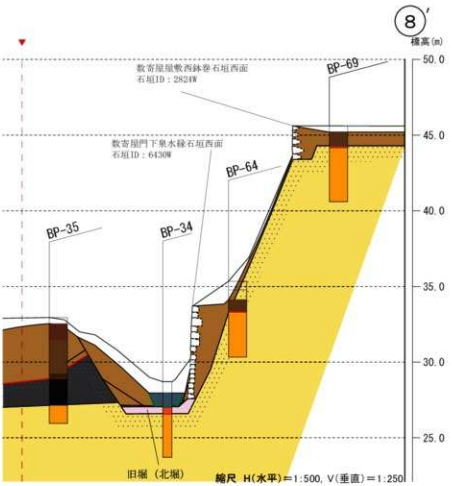




調査地点位置図

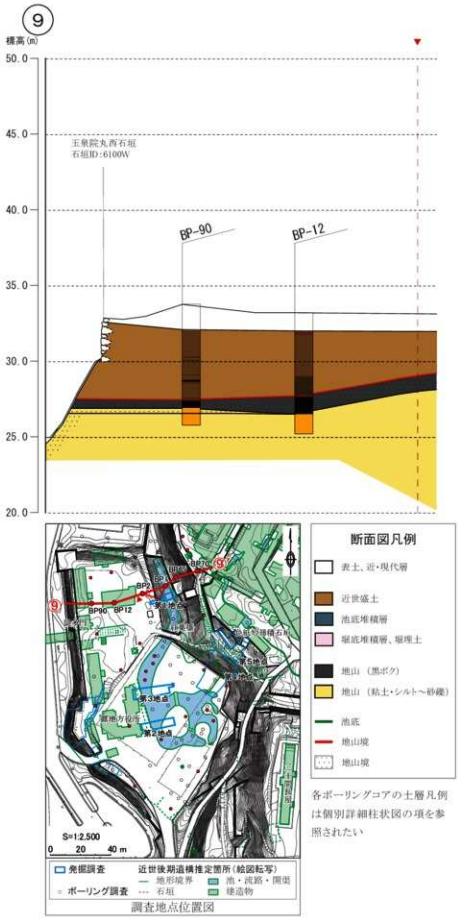
各ボーリングコアの土層凡例は個別詳細柱状図の項を参照されたい

第 108 図　ボーリング調査地点　柱状断面配列図８（１）

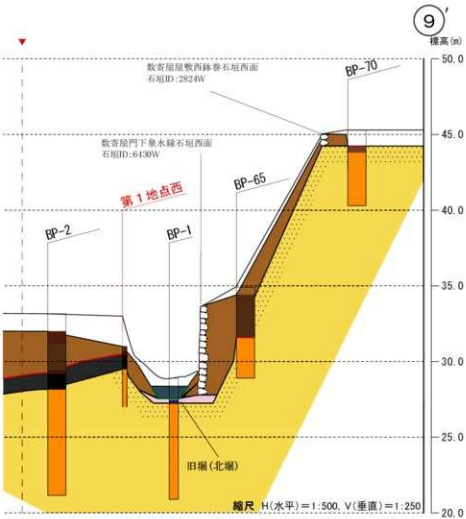


⑧－⑧'（玉泉院丸北西部－数寄屋屋敷西鉢巻石垣背面）

第 108 図　ボーリング調査地点　柱状断面配列図８（２）

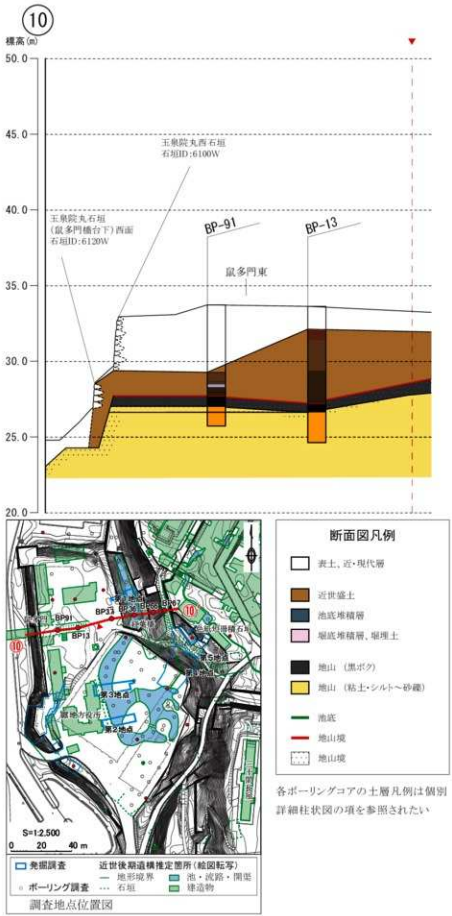


第109図　ボーリング調査地点　柱状断面配列図9（1）

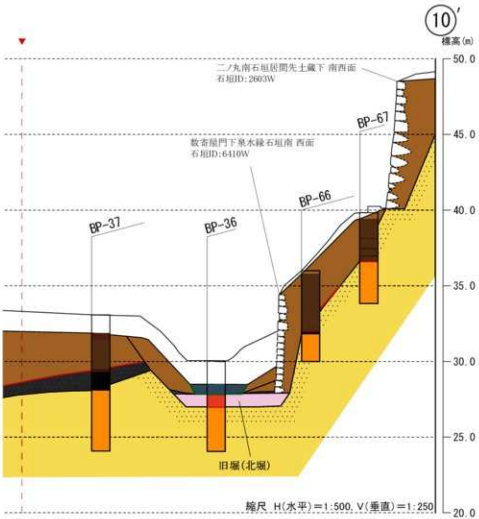


⑨－⑨′（玉泉院丸北西部－数寄屋屋敷西鉢巻石垣背面）

第109図　ボーリング調査地点　柱状断面配列図９（２）

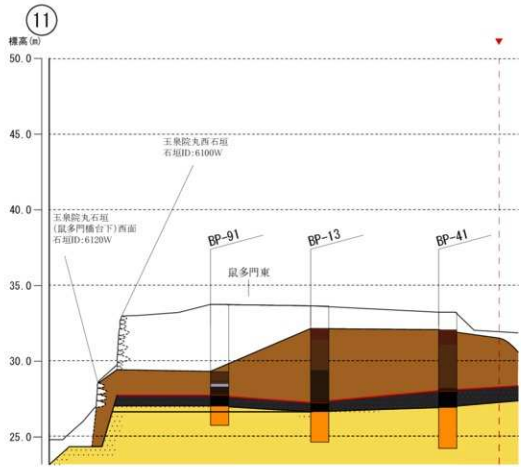


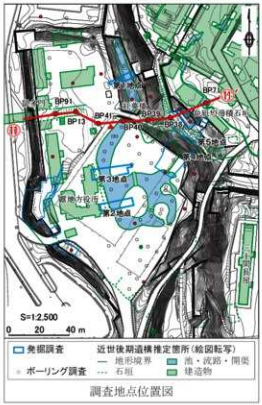
第 110 図　ボーリング調査地点　柱状断面配置図 10（1）



⑱－⑱′（鼠多門東－紅葉橋北－二ノ丸南石垣居間先土蔵下）

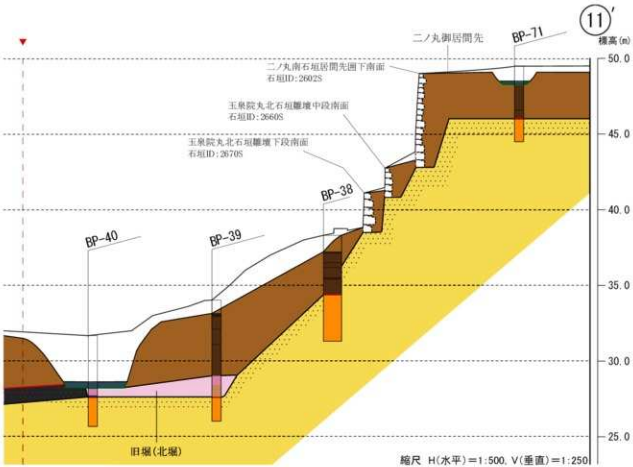
第 110 図　ボーリング調査地点　柱状断面配置図 10（2）





各ボーリングコアの土層凡例は個別詳細柱状図の項を参照されたい

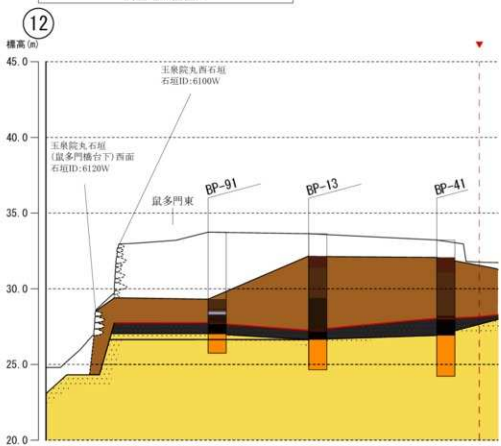
第 111 図　ボーリング調査地点　柱状断面配列図 11（1）



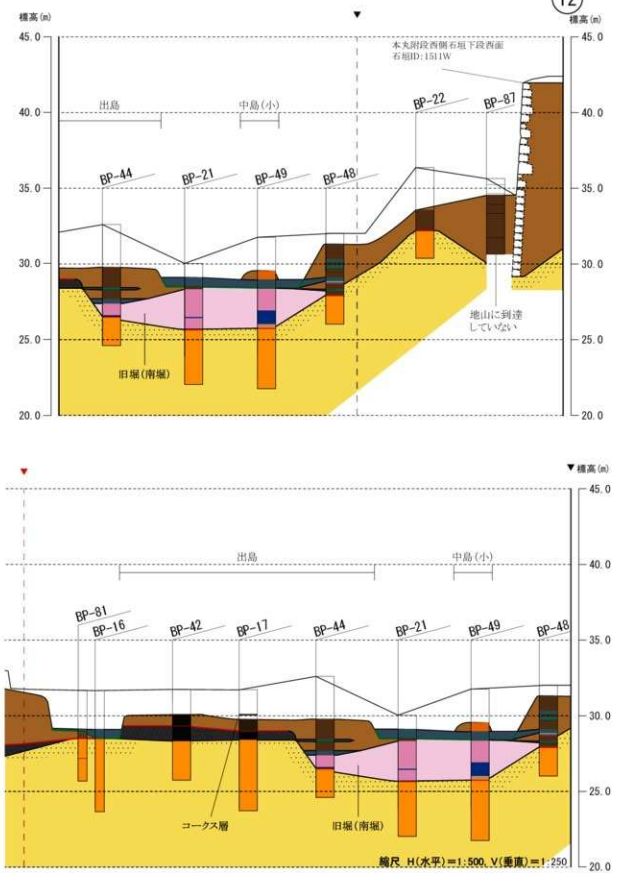
⑪－⑪′（鼠多門東－紅葉橋南－二ノ丸御居間先）

第 111 図　ボーリング調査地点　柱状断面配列図 11（2）

調査地点位置図

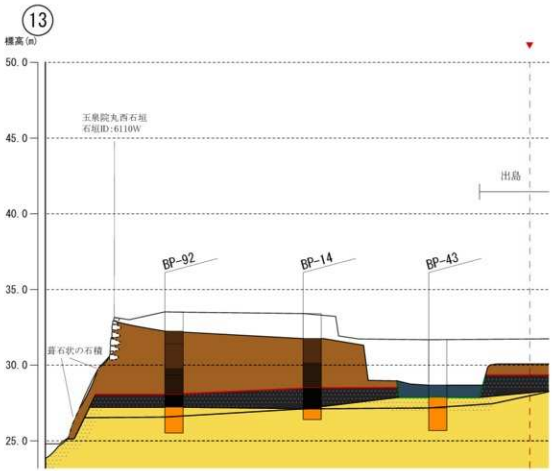


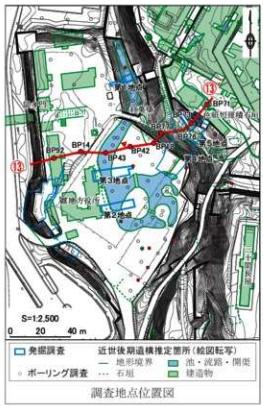
第 112 図　ボーリング調査地点　柱状断面配列図 12（1）



⑫－⑫'（鼠多門東－紅葉橋南－本丸附段西側石垣下段前面）

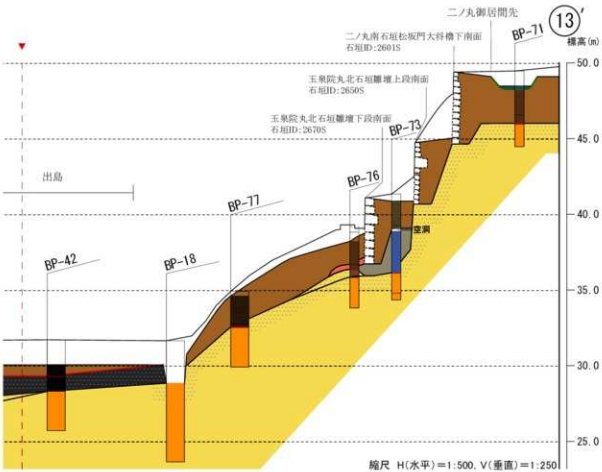
第 112 図　ボーリング調査地点　柱状断面配列図 12（2）





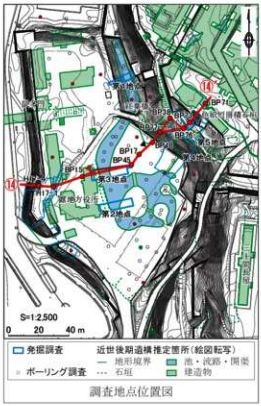
各ボーリングコアの土層凡例は個別詳細柱状図の項を参照されたい

第 113 図　ボーリング調査地点　柱状断面配列図 13（1）



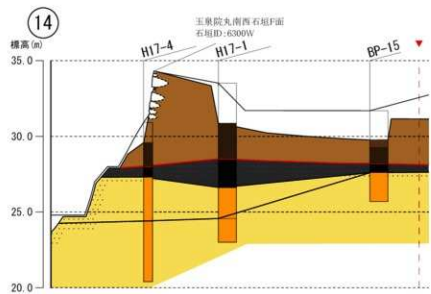
⑬－⑬'（玉泉院丸西部－二ノ丸御居間先）

第 113 図　ボーリング調査地点　柱状断面配列図 13（2）

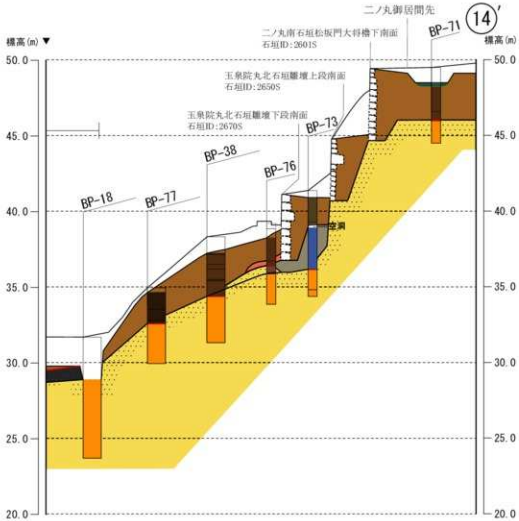


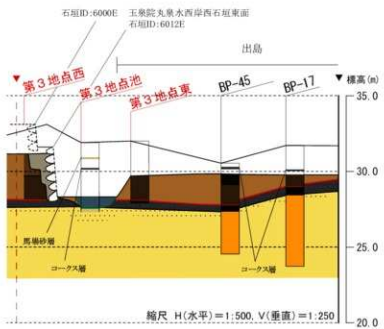
調査地点位置図

各ボーリングコアの土層凡例は個別詳細柱状図の項を参照されたい



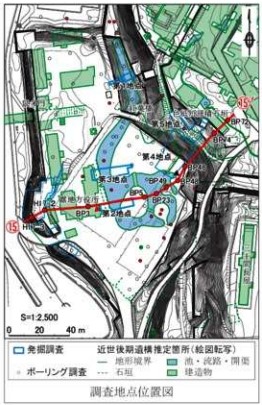
第 114 図　ボーリング調査地点　柱状断面配列図 14（1）





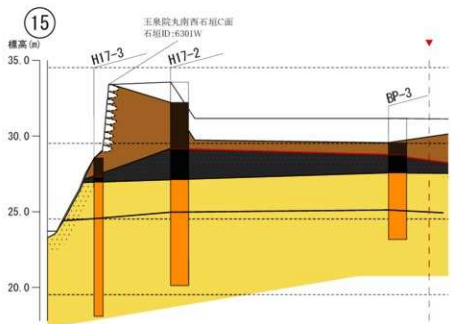
⑭－⑭'（玉泉院丸南西石垣－発掘調査第３地点［池］－二ノ丸御居間先）

第 114 図　ボーリング調査地点　柱状断面配列図 14（２）

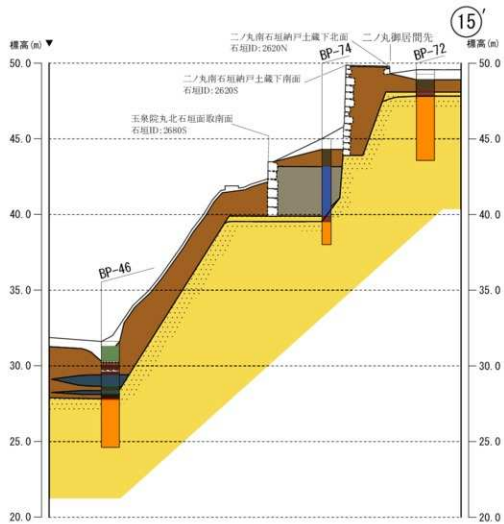


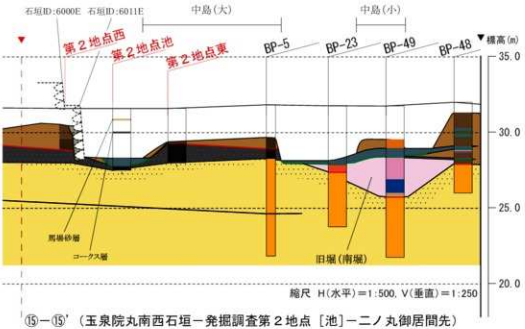
調査地点位置図

各ボーリングコアの土層凡例は個別詳細柱状図の項を参照されたい



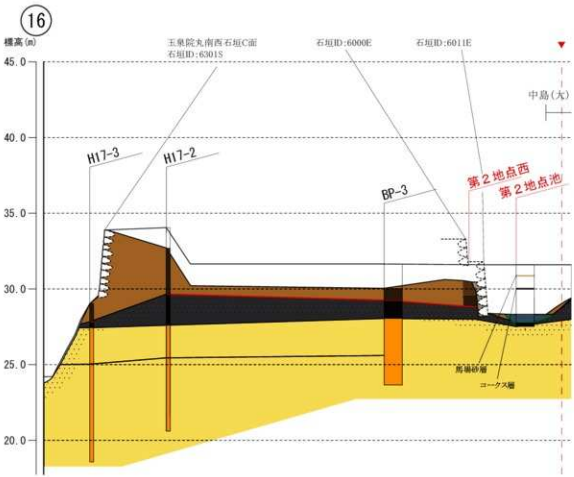
第 115 図　ボーリング調査地点　柱状断面配列図 15（1）

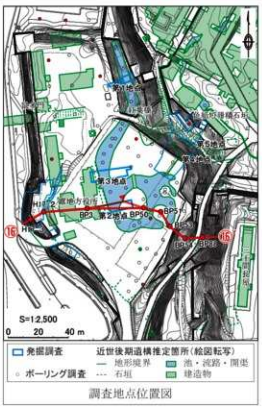




⑮－⑮′（玉泉院丸南西石垣－発掘調査第２地点［池］－二ノ丸御居間先）

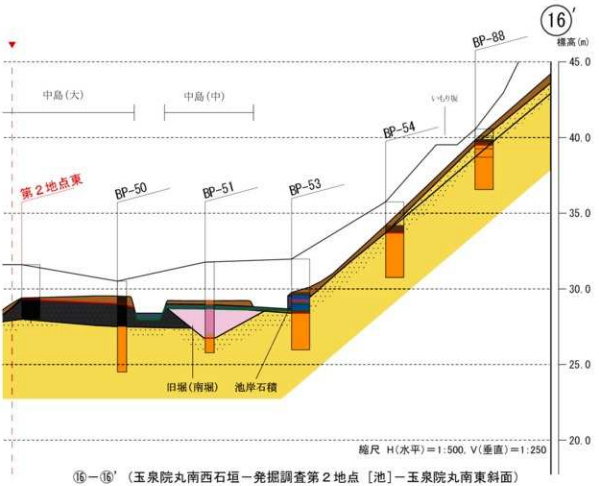
第 115 図　ボーリング調査地点　柱状断面配列図 15（２）





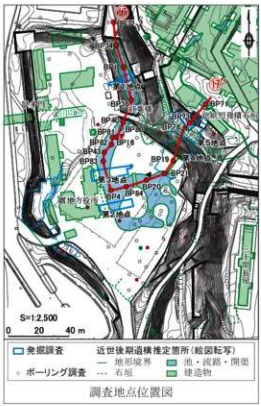
各ボーリングコアの土層凡例は個別詳細柱状図の項を参照されたい

第116図　ボーリング調査地点　柱状断面配列図16（1）

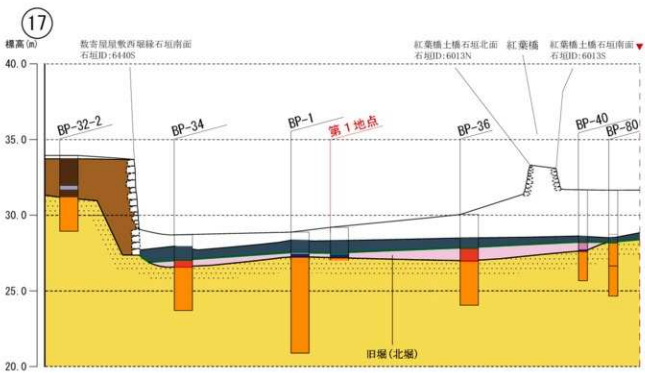


⑮－⑮′（玉泉院丸南西石垣－発掘調査第２地点［池］－玉泉院丸南東斜面）

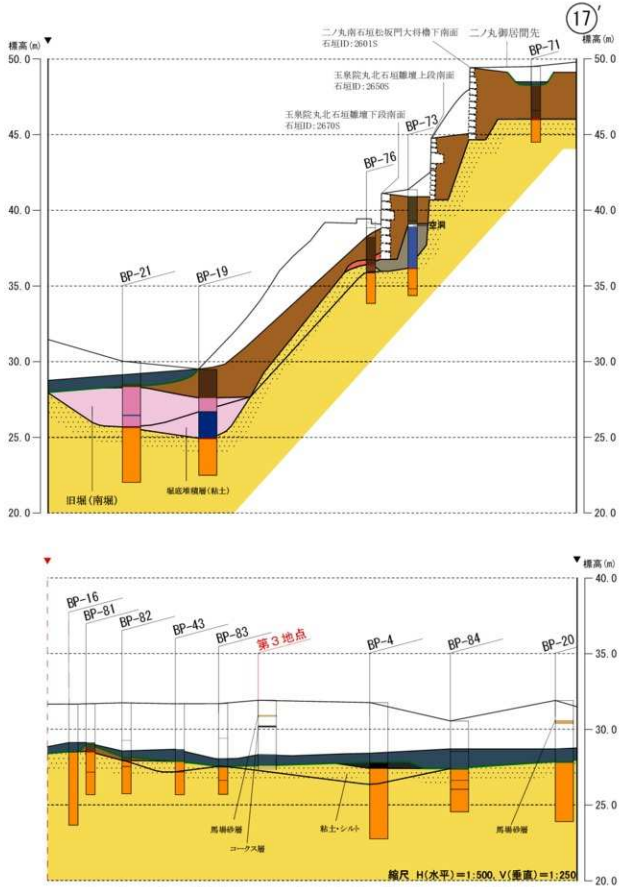
第 116 図　ボーリング調査地点　柱状断面配列図 16（２）



各ボーリングコアの土層凡例は個別詳細柱状図の項を参照されたい

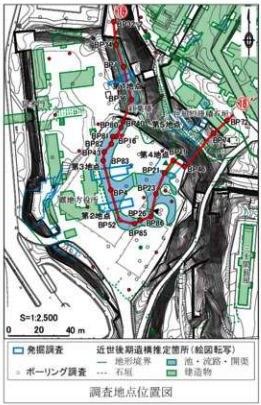


第 117 図　ボーリング調査地点　柱状断面配列図 17（1）

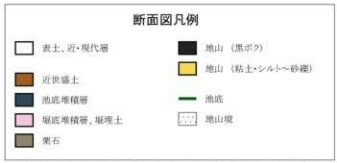


⑰－⑰′（数寄屋屋敷西堀縁石垣－池［中島（大）北回り］－二ノ丸御居間先）

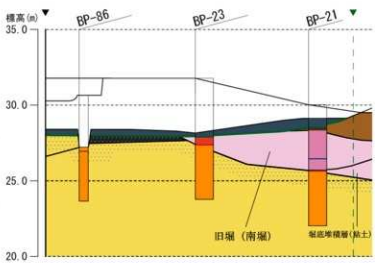
第117図　ボーリング調査地点　柱状断面配列図17（2）

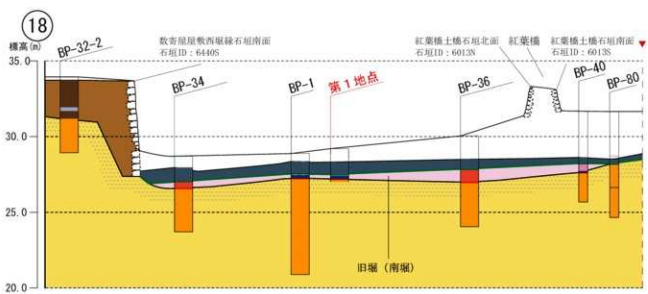


調査地点位置図

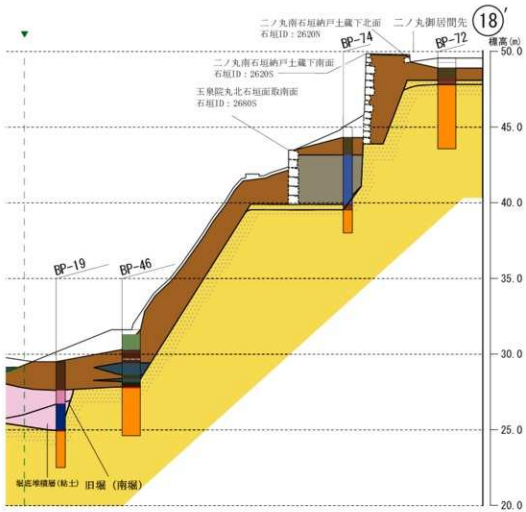


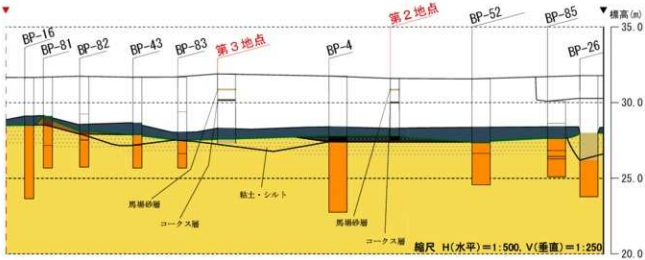
各ボーリングコアの土層凡例は個別詳細柱状図の項を参照されたい





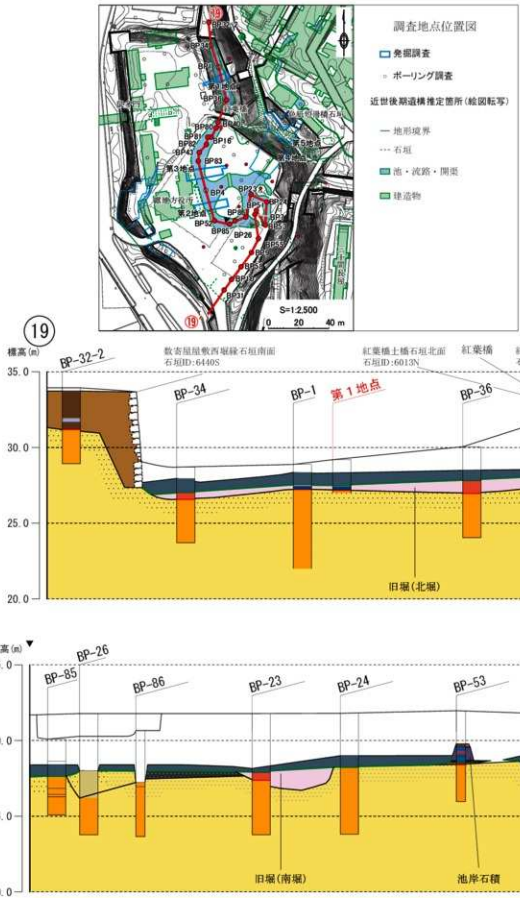
第118図　ボーリング調査地点　柱状断面配列図18（1）



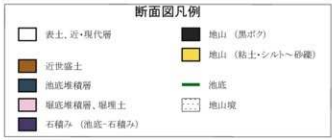


⑱－⑱′（数寄屋屋敷西堀縁石垣－池［中島（大）南回り］－二ノ丸御居間先）

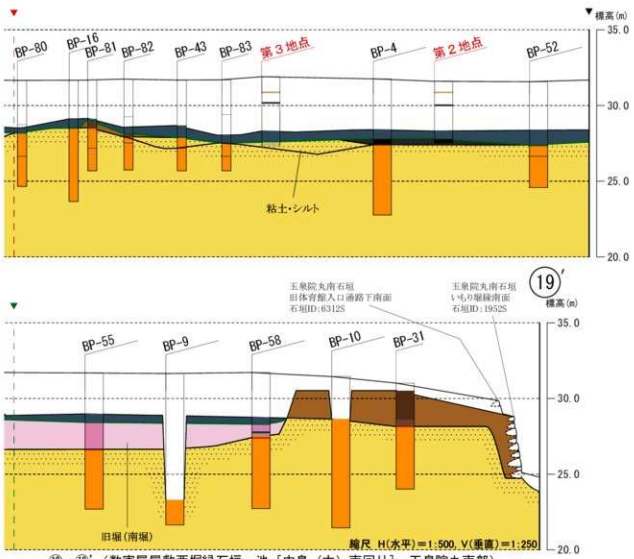
第 118 図　ボーリング調査地点　柱状断面配列図 18（２）



第119図　ボーリング調査地点　柱状断面配列図19（1）

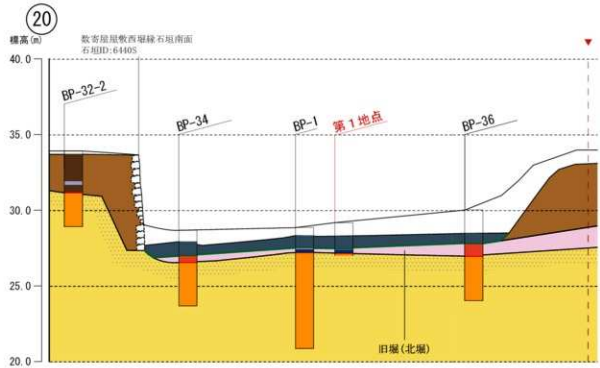


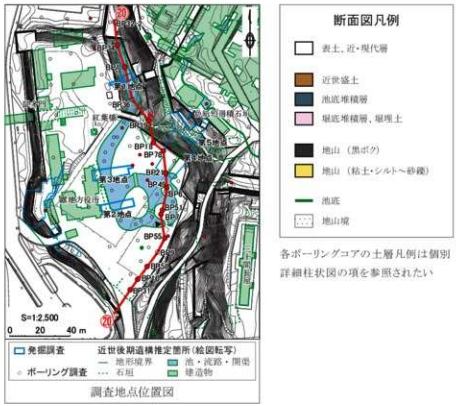
各ボーリングコアの土層凡例は個別詳細柱状図の項を参照されたい



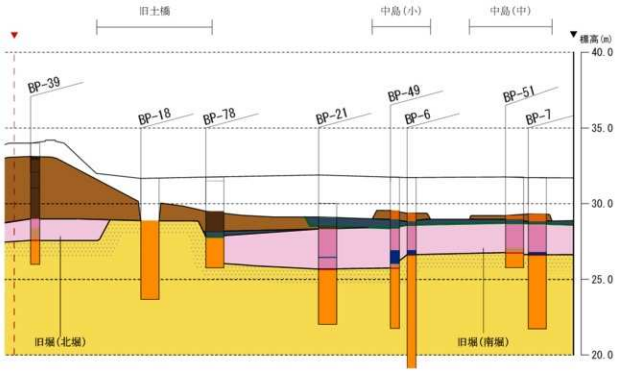
⑲－⑲′（数寄屋屋敷西堀緑石垣－池［中島（大）南回り］－玉泉院丸南部）

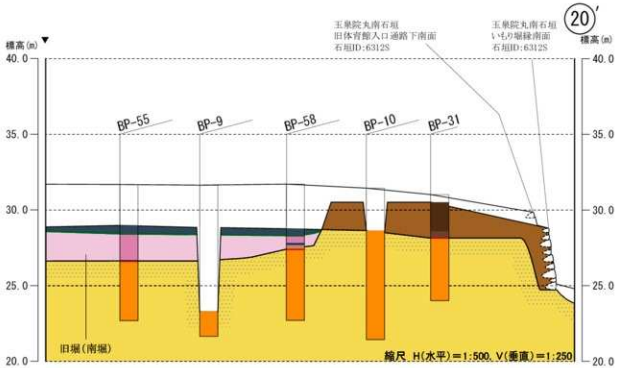
第 119 図　ボーリング調査地点　柱状断面配列図 19（２）





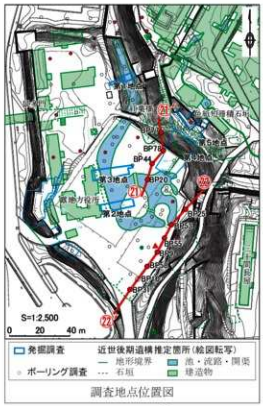
第120図　ボーリング調査地点　柱状断面配列図20（1）

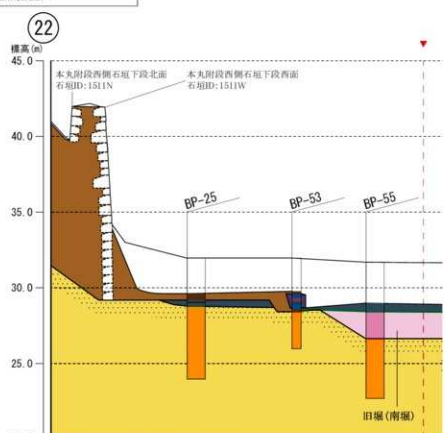




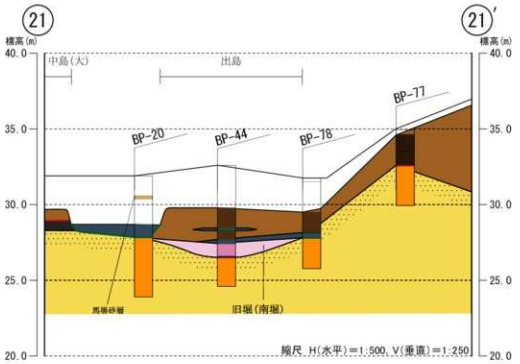
⑳－⑳'（数寄屋屋敷西堀縁石垣－玉泉院丸北東～南東斜面裾－玉泉院丸南部）

第120図　ボーリング調査地点　柱状断面配列図20（2）

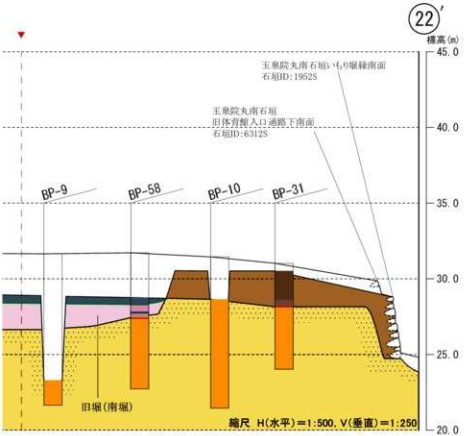




第 121 図　ボーリング調査地点　柱状断面配列 21（1）

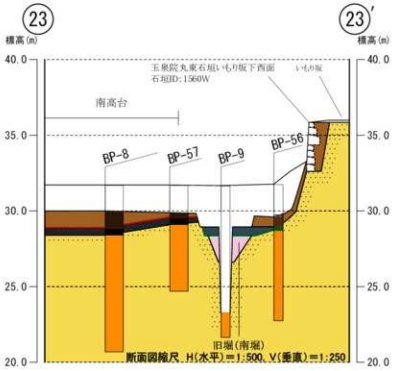


㉑－㉑′（玉泉院丸［池］－玉泉院丸北東部斜面）

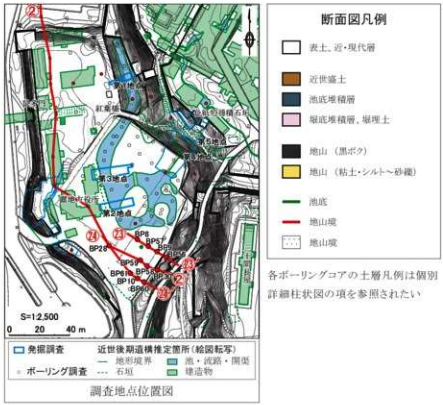


㉒－㉒′（本丸附段西側石垣－玉泉院丸南部）

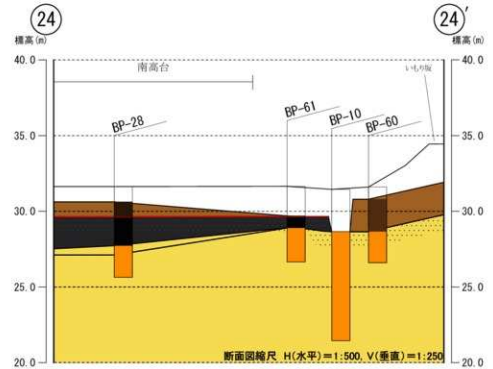
第 121 図　ボーリング調査地点　柱状断面配列図 21（２）



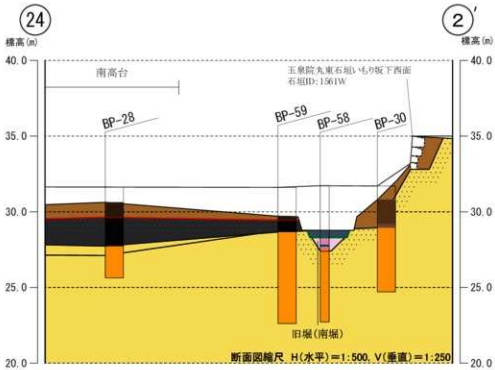
㉓－㉓′　（玉泉院丸南東部－玉泉院丸南東斜面）



第 122 図　ボーリング調査地点　柱状断面配列図 22（1）

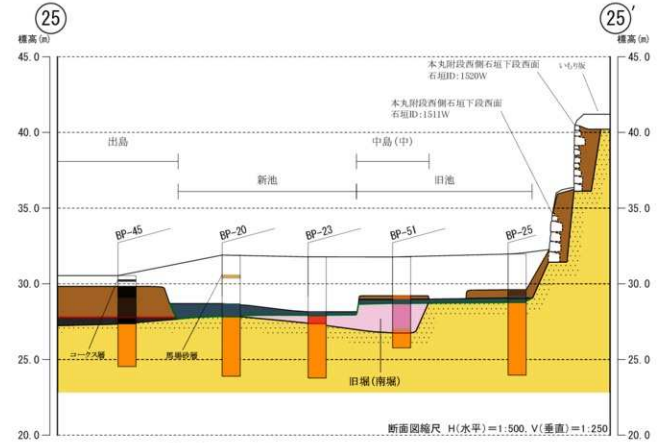


㉔－㉔′ （玉泉院丸南東部－玉泉院丸南東斜面）

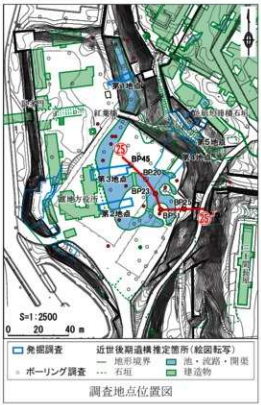


㉔－②′ （玉泉院丸南東部－玉泉院丸南東斜面）

第 122 図　ボーリング調査地点　柱状断面配列図 22（2）

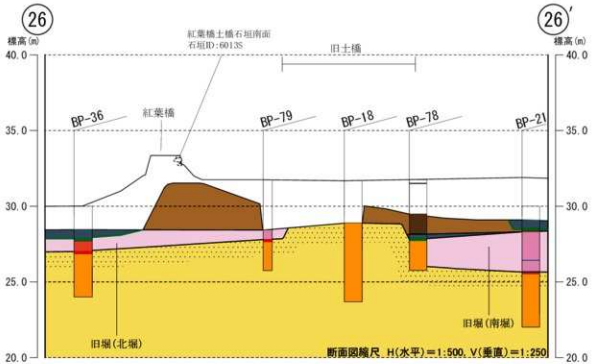


㉕－㉕′ （玉泉院丸［出島－池］－本丸附段西側石垣）

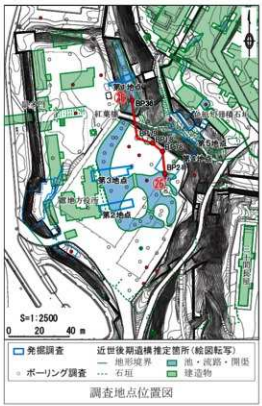


各ボーリングコアの土層凡例は個別詳細柱状図を参照されたい

第 123 図　ボーリング調査地点　柱状断面配列図 23



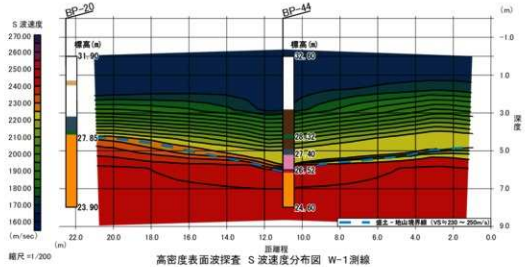
㉖－㉖′ （玉泉院丸紅葉橋北－玉泉院丸北東部池）



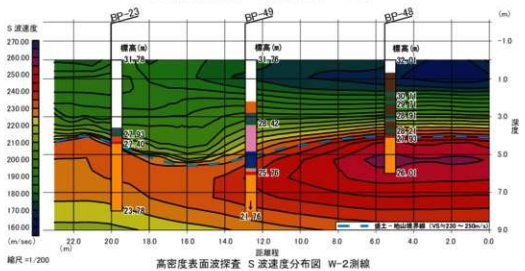
調査地点位置図

各ボーリングコアの土層凡例は個別詳細柱状図を参照されたい

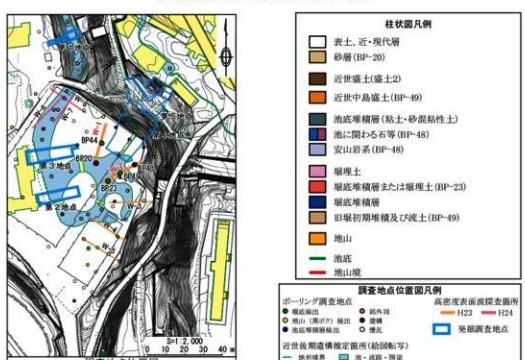
第 124 図　ボーリング調査地点　柱状断面配列図 24



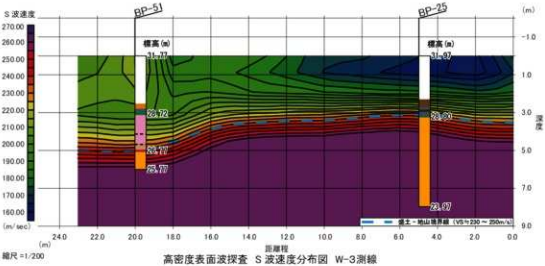
高密度表面波探査　S 波速度分布図　W-1測線



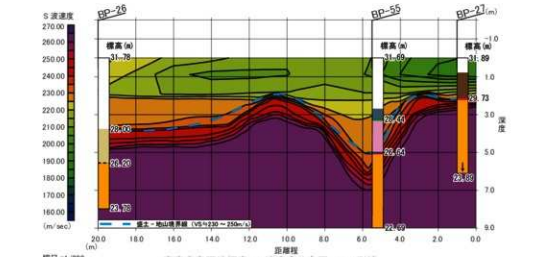
高密度表面波探査　S 波速度分布図　W-2測線



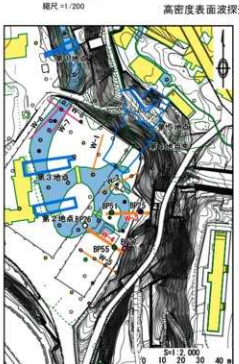
第 125 図　高密度表面波探査　断面図 1 （W － 1 ・ 2）



高密度表面波探査　S 波速度分布図　W-3測線

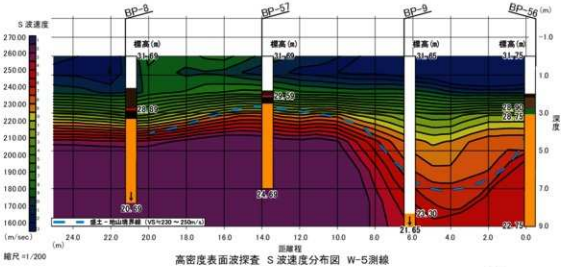


高密度表面波探査　S 波速度分布図　W-4測線

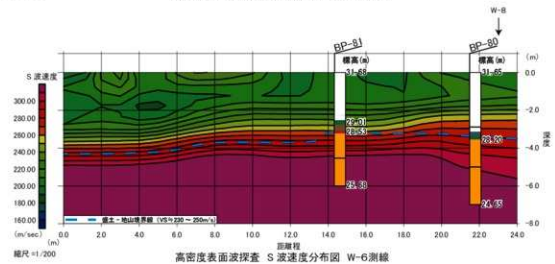


調査地点位置図

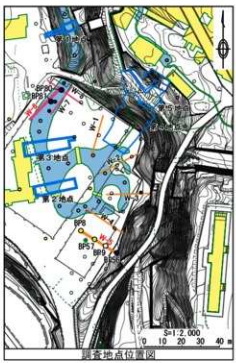
第 126 図　高密度表面波探査　断面図２（W － 3 ・ 4）



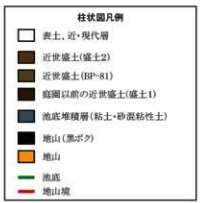
高密度表面波探査 S 波速度分布図 W-5測線



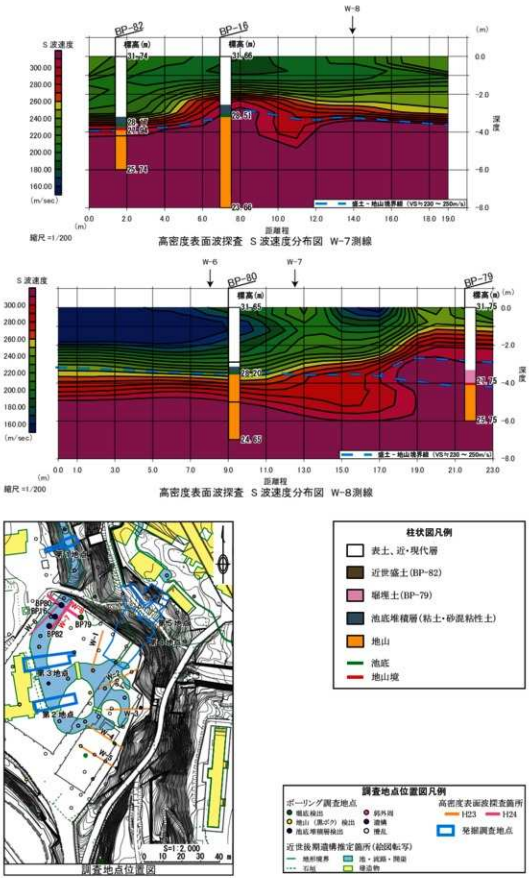
高密度表面波探査 S 波速度分布図 W-6測線



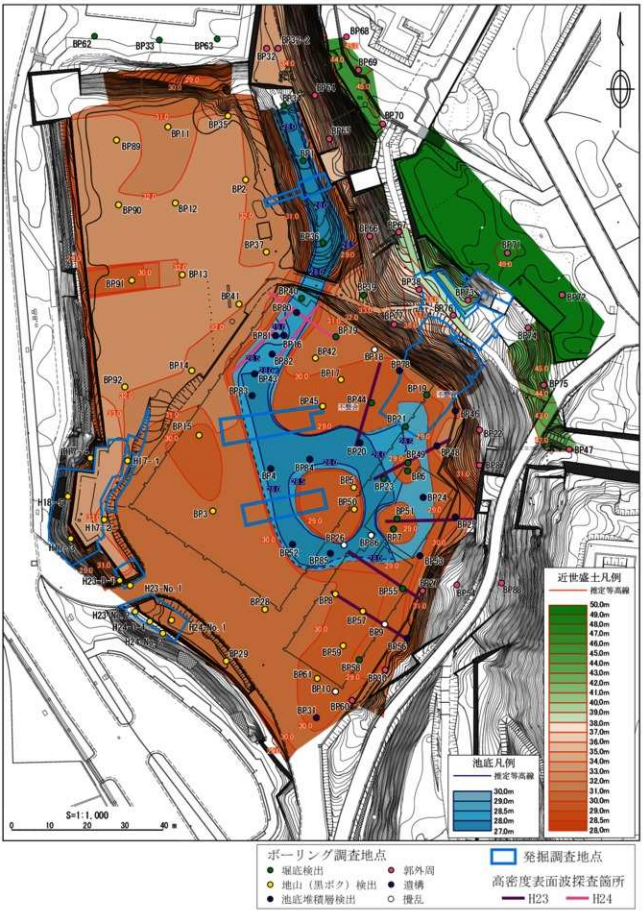
調査地点位置図



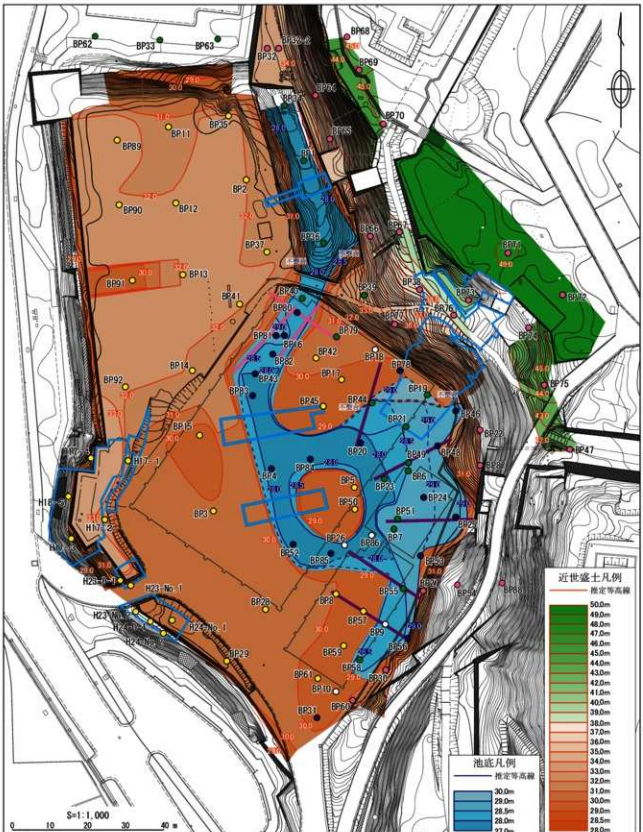
第 127 図　高密度表面波探査　断面図 3（W－5・6）



第 128 図　高密度表面波探査　断面図 4 （W － 7 ・ 8）

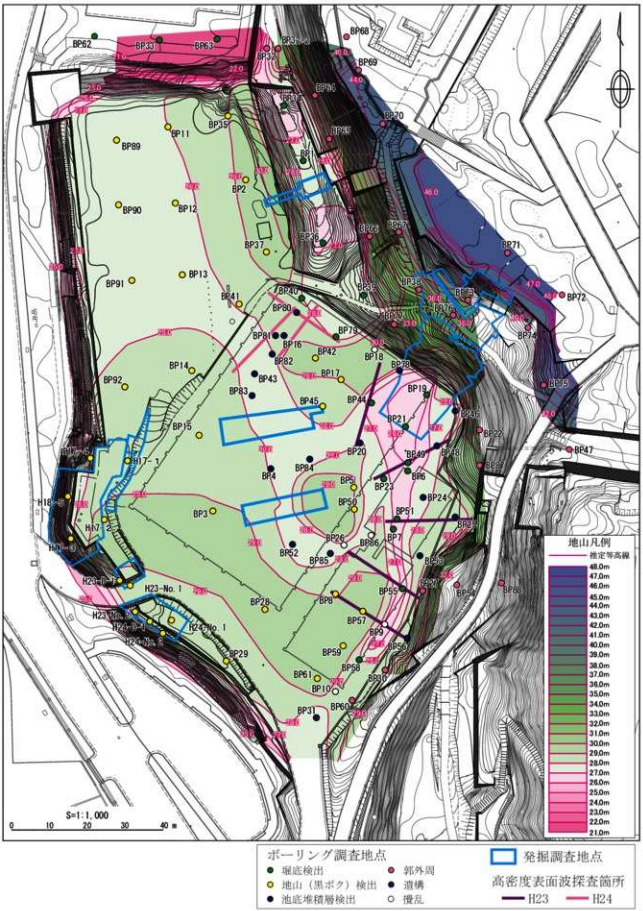


第 129 図　玉泉院丸における池底推定等高線（新相）



第 130 図　玉泉院丸における池底推定等高線（古相）

第 131 図　大型遺構範囲推定等平面図



第 132 図　玉泉院丸における地山推定等高線

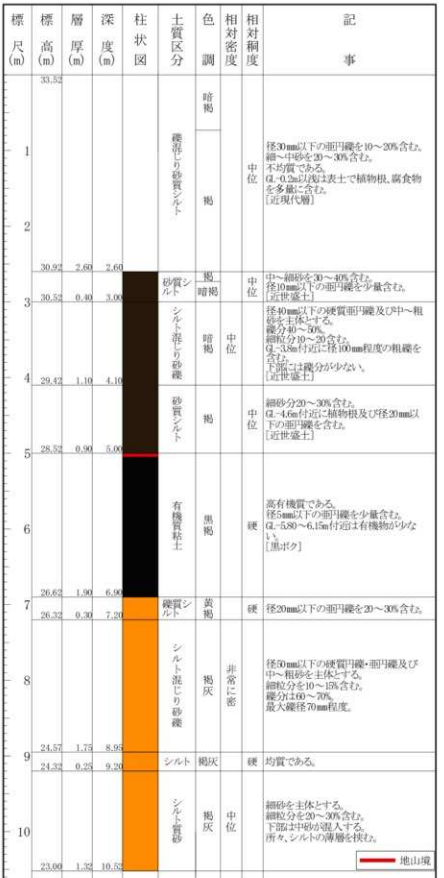
ボーリング調査　H17-1地点

ボーリング調査　BP-34地点

ボーリング調査　BP-47地点

ボーリング調査　BP-52地点

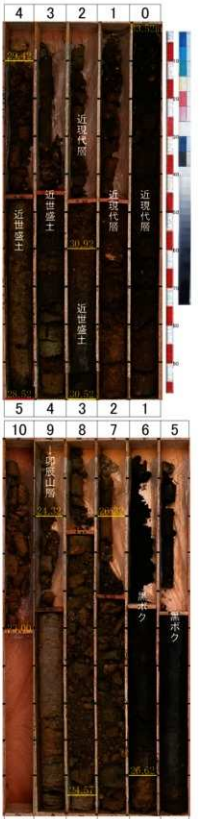
第 133 図　地質調査作業風景写真



ボーリングコア柱状図　H17－1（S＝1/50H）

北緯 36° 33′ 56.0000″
東経136° 39′ 24.0000″

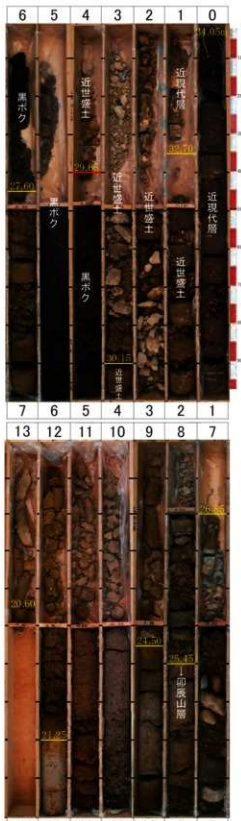
[玉泉院丸南西石垣背面]



ボーリングコア写真

第134図　ボーリングコア詳細柱状図1（H17－1地点）

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事
1	34.05				礫混り粘土	暗褐		硬	中砂を10～20%含む。 GL-0.2m以浅は表土で植物根を多く含む。 GL-0.2～1.35m間は表土で植物根を多く含む。 径40mm以下の亜円礫を10～20%含む。 [近現代層]
	32.70	1.35	1.35						
2					シルト混じり砂礫	暗褐	中位		径50mm以下の硬質亜円礫及び中砂を主体とする。 礫分は50～70%。 最大礫径は100mm程度。 不均質である。 細粒分をわずかに含む。 [近世盛土]
3	30.15	2.55	3.90						
4	29.65	0.50	4.40		砂質シルト	黄褐		硬	細砂を20～30%含む。 均質である。[近世盛土]
5					有機質粘土	黒褐		硬	所々径30mm以下の硬質亜円礫を少量含む。 高有機質である。 [黒ボク]
6	27.60	2.05	6.45						
7	26.85	0.75	7.20		シルト質砂	黄褐	中位		上部はやや細粒分を含む。 細砂を主体とし、細粒分を20～40%含む。
8	25.45	1.40	8.60		シルト混じり砂礫	暗褐	中位～非常に		径80mm以下の硬質亜円礫及び中砂を主体とする。 礫分は50～60%。 細粒分をわずかに含む。
9	24.50	0.95	9.55		砂質シルト	褐灰		硬	細砂を20～30%含む。 [卯辰山層]
10					シルト質砂	褐灰	中位		細～中砂を主体とする細粒分は30～40%含む。 GL-9.65～9.8m間は細粒分がやや多い。 均質である。 深度11.8m以深は褐色を呈する。
11									
12	21.25	3.25	12.80			褐			
13	20.60	0.65	13.45		シルト	灰		硬	均質である。 低含水で硬い。



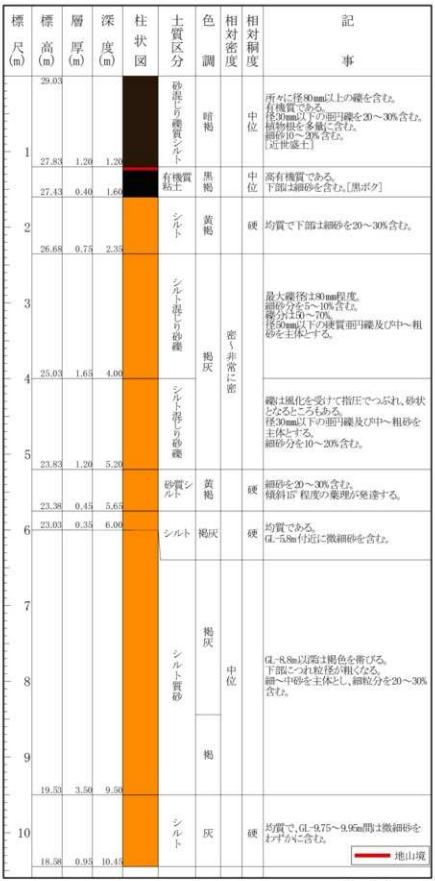
ボーリングコア写真

ボーリングコア柱状図　H17－2（S＝1/60H）

[玉泉院丸南西石垣背面]
北緯 36° 33′ 55.0000″
東経136° 39′ 24.0000″

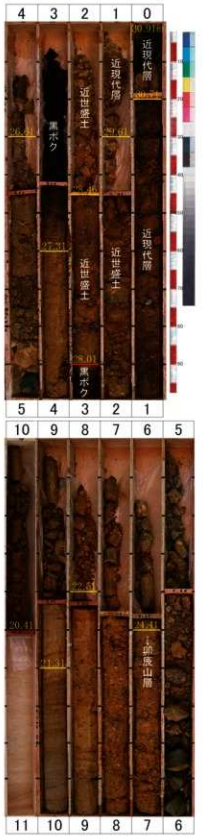
地山境

第135図　ボーリングコア詳細柱状図２（H17 － ２地点）



第 136 図　ボーリングコア詳細柱状図３（H17 － 3 地点）

標尺(m)	標高(m)	層厚(m)	深度(m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事
	30.91				礫	暗褐	密		径100mm以下の円礫。[近現代層]
1	30.71	0.20	0.20		礫混じり砂質シルト	暗褐～褐		硬	GL-0.5m付近にレンガ片を含む。不均質である。上部に植物根を少量含む。砂分を20～30%含む。径30mm以下の亜円礫を5～10%含む。[近現代層]
	29.61	1.10	1.30						
2	28.46	1.15	2.45		シルト混じり砂礫	褐	中位		細粒分を5～15%含む。礫分は40～60%。径50mm以下の硬質亜円礫及び中砂を主体とする。[近世盛土]
	28.01	0.45	2.90		礫混じり砂質シルト	褐	中位		細砂20～30%含む。径30mm以下の亜円礫を10～20%含む。[近世盛土]
3	27.31	0.70	3.60		有機質粘土	黒褐	中位		径5mm以下の亜円礫を少量含む。高有機質である。[黒ボク]
4	26.61	0.70	4.30		砂質シルト	黄褐	中位		細砂を30～50%含む。
5					シルト混じり砂礫	褐灰	密～非常に密		径60mm以下の硬質亜円礫及び中～粗砂を主体とする。最大礫径は80mm程度。細粒分を5～10%含む。礫分は50～70%。
6	24.41	2.20	6.50						
7					シルト質砂礫	褐	中位～密		礫は、風化を受けて軟質化し、指圧でつぶれて砂状になる部分もある。細粒分を20%程度含む。径30mm以下の亜円礫及び中～粗砂を主体とする。
8	22.51	1.90	8.40						
9					砂混じりシルト	褐灰		非常に硬	所々、細砂の薄層を挟む。細砂を5～10%含む。
	21.31	1.20	9.60						
10	20.41	0.90	10.50		シルト質砂	灰	中位		傾斜20°程度の葉理が発達する。細粒分を20～30%含む。細～中砂を主体とする。



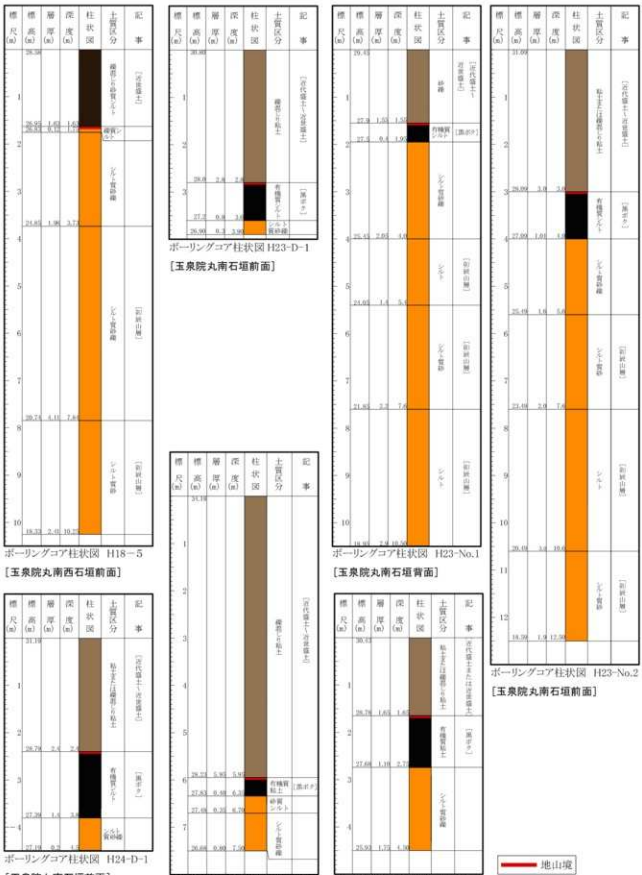
ボーリングコア写真

ボーリングコア柱状図　H17－4　（S＝1/50H）

[玉泉院丸南西石垣前面]

北緯36° 33′ 56.0000″
東経136° 29′ 23.0000″

第137図　ボーリングコア詳細柱状図4（H17 － 4地点）



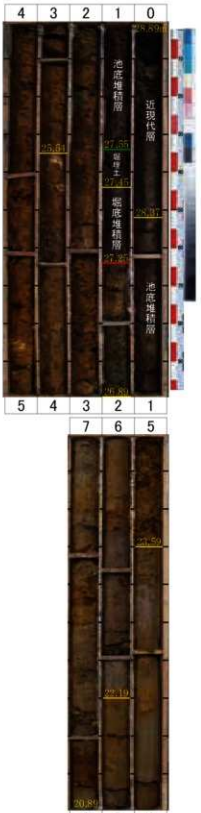
第 138 図　ボーリングコア詳細柱状図 5（玉泉院丸南西石垣、南石垣周辺 S=1/80 H）

標尺(m)	標高(m)	層厚(m)	深度(m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事
	28.89								
	28.37	0.52	0.52		礫混じりシルト	暗褐		軟	[近現代層]
1					礫混じり粘土	暗褐		軟	径5～10mmの亜角礫を10%程含む。 上部は有機物を多量に含む。 [池底堆積層]
	27.55	0.82	1.34						
	27.34	0.16	1.54		礫混じり粘土	暗灰			下部は礫分をやや多く含む。 [堀埋土]
	27.25	0.20	1.64		礫混じり粘土	暗灰			[堀底堆積層]
2	26.89	0.36	2.00		礫質粘土	暗灰		軟	径5～10mmの亜円礫を20%程含む。
3	25.54	1.35	3.35		礫混じりシルト質砂	暗褐		緩	細粒分を20～40%含む細～中砂。 含有礫は風化により軟質化しており、 指圧で容易につぶれる。
4					シルト質砂礫	褐	中位		径20～40mmの亜円礫及び中～粗砂からなる。 細粒分は5～60%。 含有礫は大部分が風化により軟質化しており、指圧で容易につぶれる。
5	23.59	1.95	5.30						
6	22.19	1.40	6.70		シルト	褐灰	中位		均質。 GL-6.25～6.40m間にシルト質細砂を挟む。
7	20.89	1.30	8.00		シルト混じり砂	褐灰	中位		細粒分を10%程含む細～中砂。 均質。 所々、シルトの薄層を挟む。
8									
9									

池底
地山境

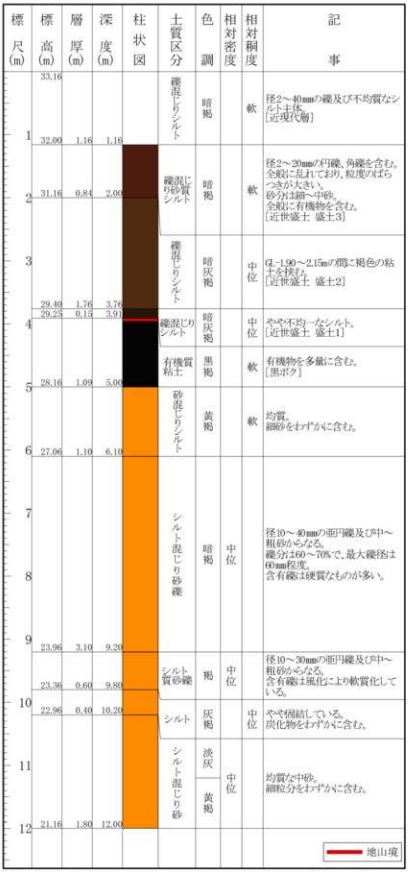
ボーリングコア柱状図　BP－1　(S＝1/50H)
[玉泉院丸北郭　池]

北緯36° 33' 46.6970"
東経136° 39' 36.9220"



ボーリングコア写真

第139図　ボーリングコア詳細柱状図6（BP－1地点）



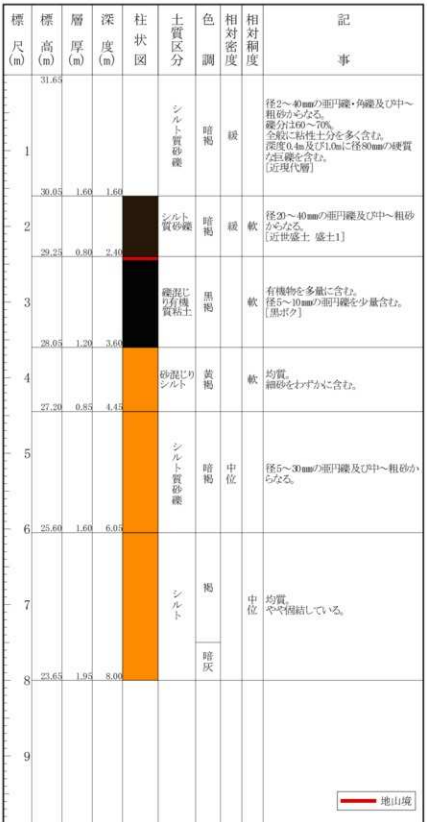
ボーリングコア写真

ボーリングコア柱状図　BP－2（S＝1/60H）

[玉泉院丸北西部　武具役所]

北緯 36° 33' 46.5280"
東経136° 39' 36.3100"

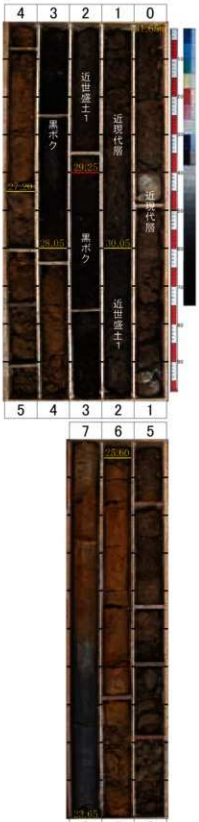
第140図　ボーリングコア詳細柱状図7（BP－2地点）



ボーリングコア柱状図　BP－３（S＝1/50H）

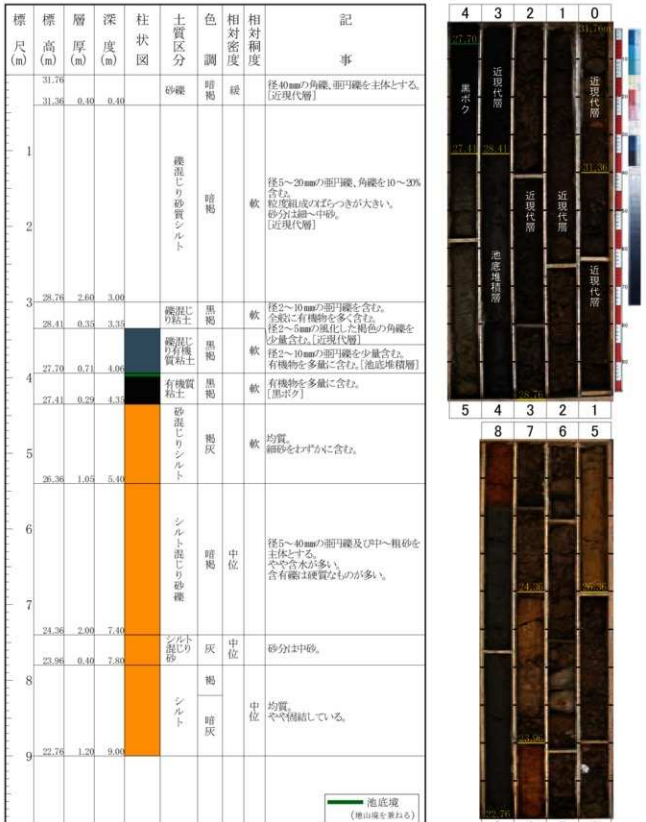
[玉泉院丸南西部　露地方役所]

北緯36° 33′ 43.6910″
東経136° 39′ 35.9820″



ボーリングコア写真

第141図　ボーリングコア詳細柱状図８（BP－３地点）



ボーリングコア柱状図　BP－4（S＝1/50H)

[玉泉院丸中央部　池]

北緯36° 33' 44.0540"
東経136° 39' 36.5800"

ボーリングコア写真

第142図　ボーリングコア詳細柱状図9（BP－4地点）

標尺(m)	標高(m)	層厚(m)	深度(m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事
1	31.84				シルト質砂礫	暗褐	緩		径5～20mmの亜円礫、角礫及び中～粗砂からなる。 全般に粘性土分を多量に含む。 GL-0.9m付近に瓦片を含む。 GL-1.2m付近に径120mmの硬質礫を含む。 GL-1.95～2.10m間は礫混じり中砂を挟む。 GL-2.10m付近にコンクリート片を含む。 [近現代層]
2	29.69	2.15	2.15						
	28.94	0.75	2.90		礫混じり有機質粘土	暗褐		軟	有機物を多量に含む。 径2～10mmの亜円礫を少量含む。 GL-2.15mに含まれる径80mmの亜円礫は中島の庭石の可能性が高い。 [近世盛土]
3	28.29	0.65	3.55		有機質粘土	黒褐		軟	有機物を多量に含む。 径2～10mmの風化した亜円礫を少量含む。 [黒ボク]
4	27.14	1.15	4.70		礫混じり粘土	暗灰		軟	径2～5mmの亜円礫を含む。 含水が高く軟らかい。 有機物を多く含む。
5	26.54	0.60	5.30		砂質シルト	灰		軟	細砂を20%程含む。
6					シルト質砂礫	青灰	中位		径10～40mmの亜円礫及び中～粗砂からなる。 全般に粘土分を多く含む。 GL-6.5m付近で湧水する。
7	24.64	1.90	7.20						
	23.74	0.90	8.10		礫混じりシルト	褐灰	中位	中位	均質。 一部径2～5mmの礫が混入する。
8									
9					シルト質砂礫	褐灰	中位		径2～20mmの亜円礫及び中～粗砂からなる。 含有礫は風化により軟質化し、指圧で容易につぶれる。
10	21.84	1.90	10.00						

地山境

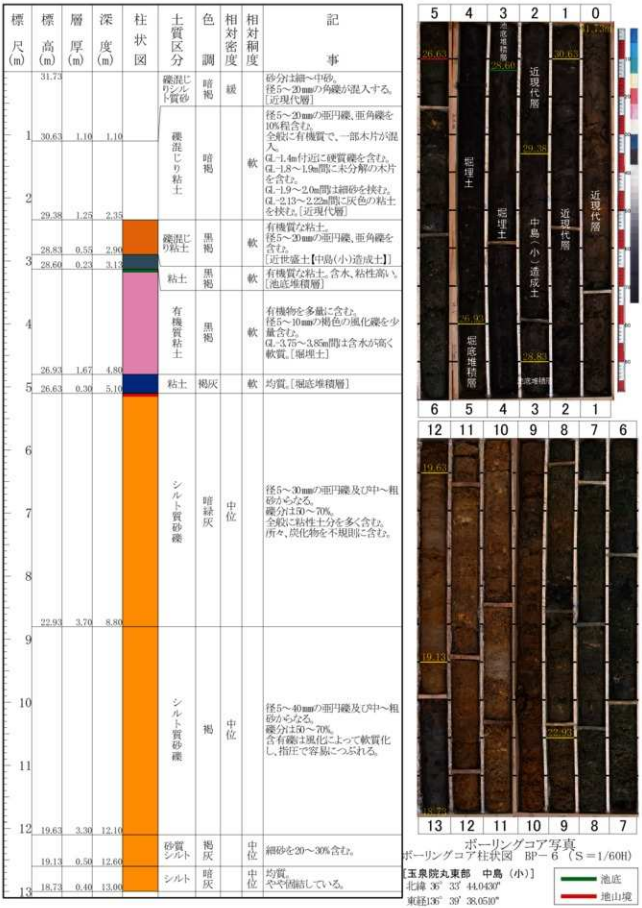
ボーリングコア柱状図　BP－5　（S＝1/50H）

北緯 36° 33' 43.8980"
東経 136° 39' 37.4790"

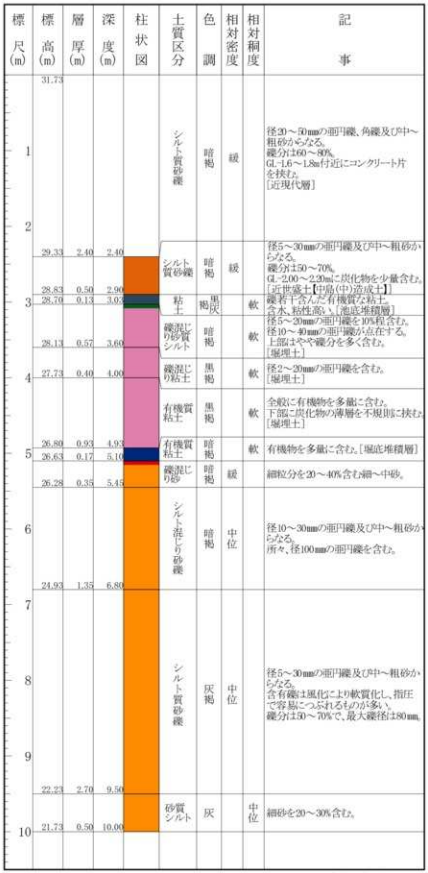
[玉泉院丸東部　中島（大）]

ボーリングコア写真

第143図　ボーリングコア詳細柱状図10（BP－5地点）



第144図 ボーリングコア詳細柱状図11（BP－6地点）



ボーリングコア写真

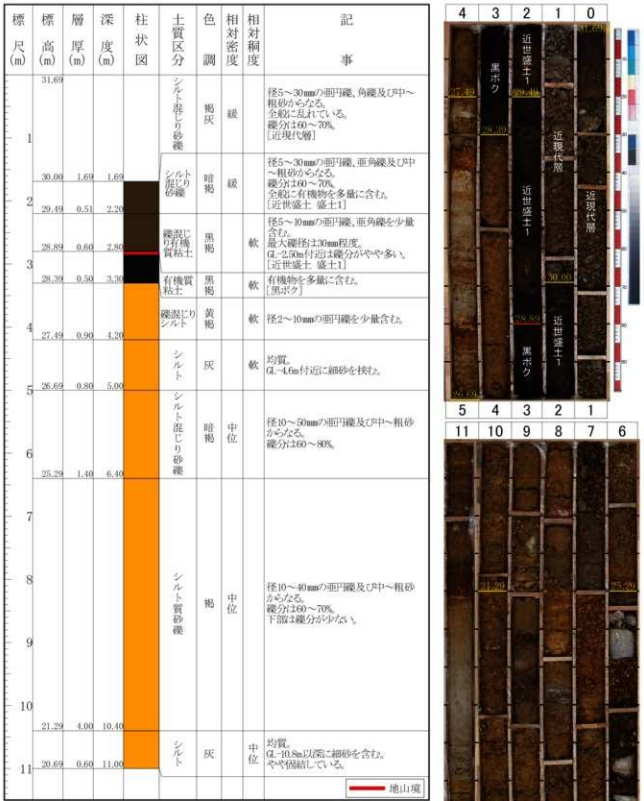
ボーリングコア柱状図　BP－7　(S＝1/50H)

[玉泉院丸東郭　中島（中）]

北緯 36° 33' 43.5420"
東経136° 39' 37.9010"

池底
地山境

第 145 図　ボーリングコア詳細柱状図 12（BP －7 地点）



ボーリングコア柱状図　BP－8（S＝1/60H）

[玉泉院丸南東部　池南（高台）]

北緯 36° 37' 42.7240"
東経 136° 39' 37.8150"

ボーリングコア写真

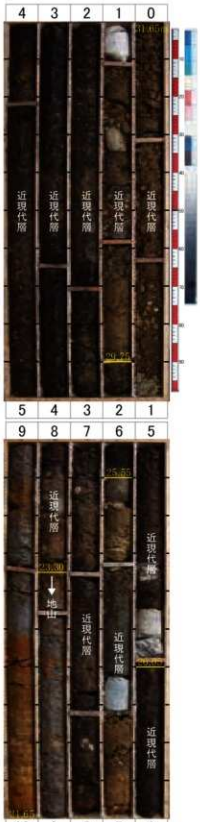
第146図　ボーリングコア詳細柱状図13（BP－8地点）

標尺(m)	標高(m)	層厚(m)	深度(m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事
1	31.65								
					礫混じり砂	褐	緩		砂分は細～中砂。 所々、径20～50mmの亜円礫を含む。 [近現代層]
	29.75	1.90	1.90						
2					礫混じり粘土	黒褐		軟	径5～10mmの亜円礫を10～20%含む。 全般に有機物を多量に含む。 GL-4.2m付近に針金を含む。 GL-5.4～5.6m間にコンクリート片を含む。 [近現代層]
3									
4									
5									
	26.05	3.70	5.60						
6	25.55	0.50	6.10		礫混じり粘土	黒褐		軟	径2～5mmの亜円礫を少量含む。 有機物を多量に含む。 [近現代層]
7					シルト質砂礫	灰褐～暗灰	中位		径5～20mmの亜円礫及び中～粗砂からなる。 礫分は50～70%。 径50～100mmの硬質な亜円礫が点在する。 GL-7.4m以深はやや有機質。 [近現代層]
8	23.30	2.25	8.35						
9					シルト	灰	中位		均質。 所々、細砂を薄く挟む。 やや固結している。
						褐			
10	21.65	1.65	10.00						

ボーリングコア柱状図　BP－9（S＝1/50H）

北緯 36° 33' 42.7240"
東経136° 39' 37.8150"

［玉泉院丸南東部　撹乱］



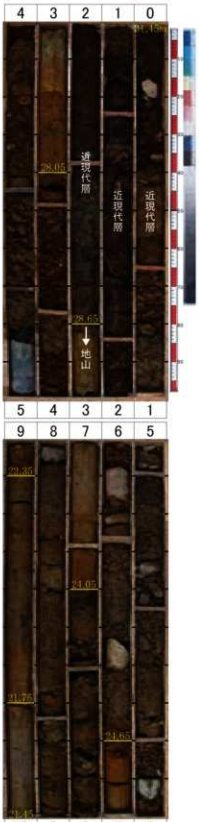
ボーリングコア写真

第147図　ボーリングコア詳細柱状図14（BP－9地点）

標尺(m)	標高(m)	層厚(m)	深度(m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事
	31.45								
1					礫・砂質シルト	暗褐		軟	径30～40mmの亜角礫20～30%含む。 GL-1.1～1.3m間土有機物を多く含む。 GL-0.9～1.1mに均質な中砂を含む。 GL-1.45m, 1.7m付近に瓦片を含む。 [近現代層]
2									
	28.65	2.80	2.80						
3					砂質シルト	褐灰褐		軟	中～粗砂を20～40%含む。
	28.05	0.60	3.40						
4									
5					砂礫	褐灰	中位		径20～40mmの亜円礫及び粗砂からなる。 礫分は60～70%で最大礫径は140mm。 礫は礫質なものが多い。
6									
	24.65	3.40	6.80						
7					シルト	褐灰	中位		均質。 やや固結している。
	24.05	0.60	7.40						
8					シルト混じり砂礫	暗褐	中位		径30～40mmの亜円礫及び粗砂からなる。 礫分は50～70%。 一部、礫が風化によって軟質化している。
9	22.35	1.70	9.10						
	21.75	0.60	9.70		シルト質砂	褐灰	中位		細粒分を20～30%含む細砂。 均質。
10	21.45	0.30	10.00		砂質シルト	褐灰	中位		微細砂を20%含む。 均質。

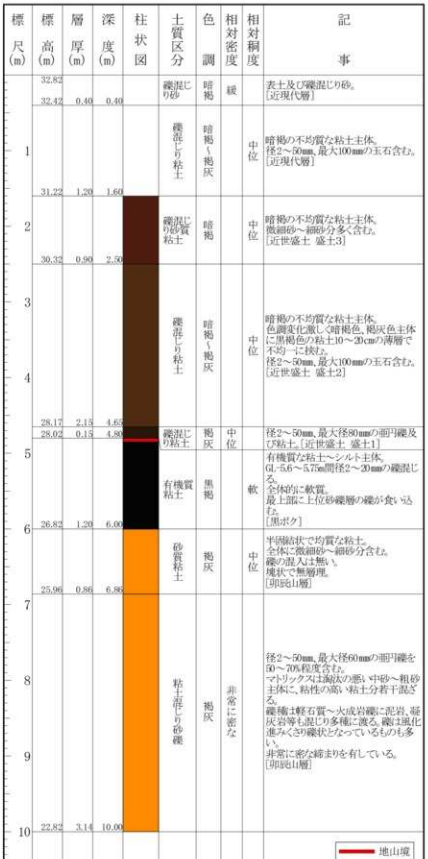
ボーリングコア柱状図　BP－10（S＝1/50H）
[玉泉院丸南部　東側斜面裾]

北緯 36° 33' 42.1460"
東経136° 39' 37.2940"



ボーリングコア写真

第148図　ボーリングコア詳細柱状図15（BP－10地点）



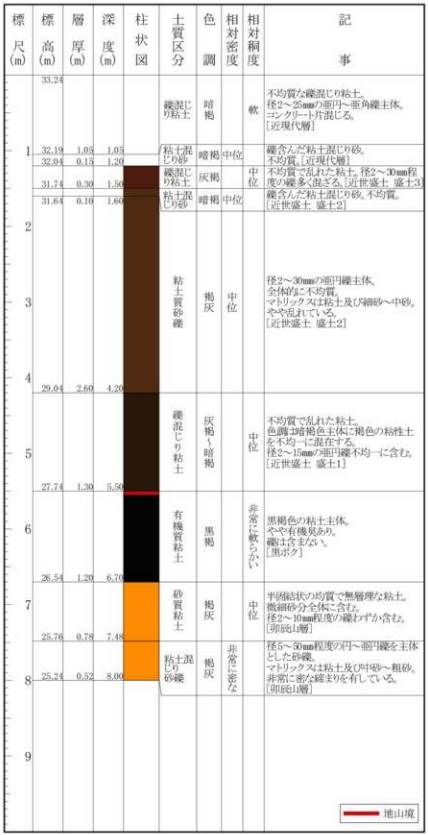
ボーリングコア柱状図　BP－11（S＝1/50H）

[玉泉院丸北西部　土蔵南]

北緯 36° 33' 58"
東経136° 39' 25"

ボーリングコア写真

第149図　ボーリングコア詳細柱状図16（BP－11地点）



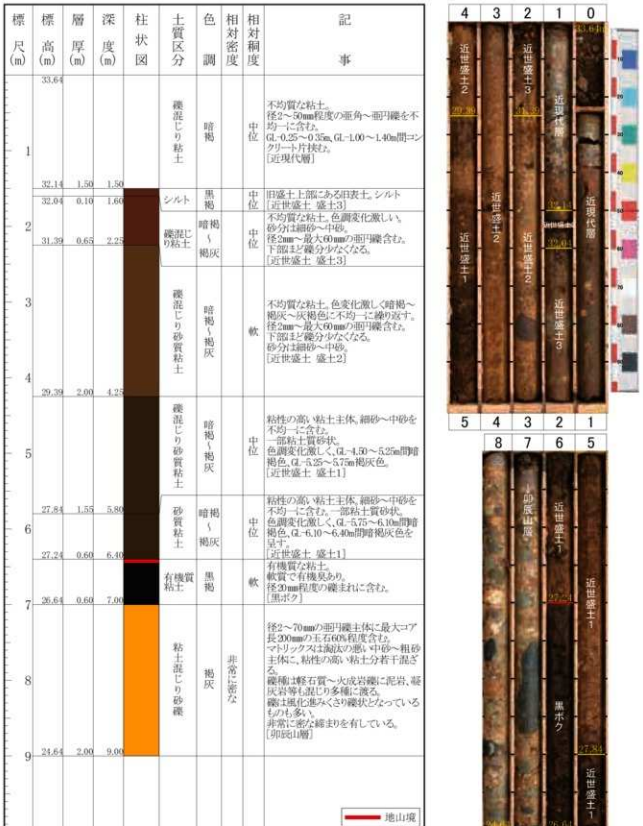
ボーリングコア柱状図　BP－12（S＝1/50H）

[玉泉院丸北西部　武具役所]

北緯36° 35' 56"
東経136° 39' 25"

ボーリングコア写真

第 150 図　ボーリングコア詳細柱状図 17（BP － 12 地点）



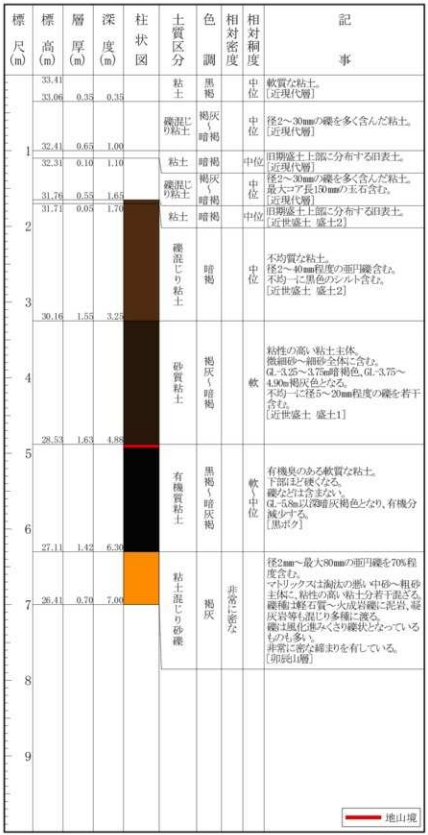
ボーリングコア柱状図　BP－13（S＝1/50H）

北緯 36° 33′ 57″
東経 136° 39′ 25″

［玉泉院丸北西部　鼠多門東］

ボーリングコア写真

第 151 図　ボーリングコア詳細柱状図 18（BP － 13 地点）



ボーリングコア柱状図　BP－14（S＝1/50H）

[玉泉院丸北西部　露地方役所北]

北緯 36° 35' 57"
東経 136° 39' 25"

ボーリングコア写真

第 152 図　ボーリングコア詳細柱状図 19（BP － 14 地点）

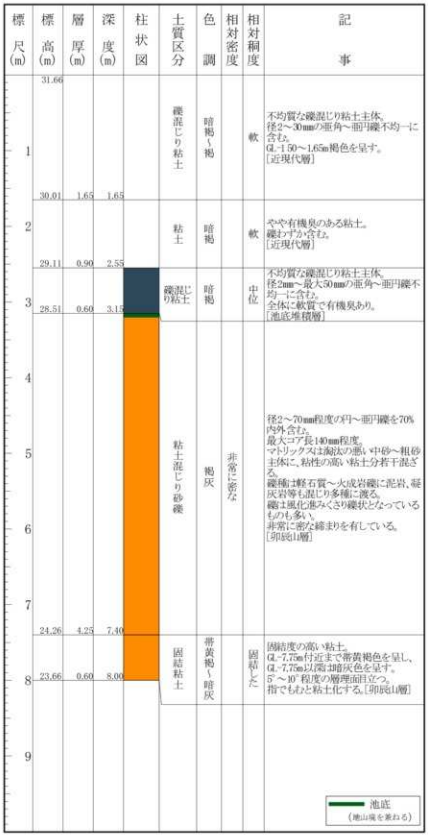
標尺(m)	標高(m)	層厚(m)	深度(m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事
	31.70				礫混じり粘土	暗褐		軟	含水の低い粘土主体。 径2～40mmの亜角～亜円礫多く含む。 [近現代層]
	30.87	0.83	0.83						
1					礫混じり砂	暗褐	緩		含水の低い細砂～中砂。 径2～50mmの礫不均一に含む。 一部粘土をブロック状に不均一に含む。 [近現代層]
	29.77	1.10	1.93						
2					礫混じり粘土	褐灰		軟	不均質で軟質な粘土主体。 粘性高い。 径10～50mm程度の礫分30%内外含む。[近世盛土 盛土2]
	29.27	0.50	2.43						
					礫混じり粘土	黒褐～暗灰褐		中位	粘性の高い粘土主体に、径10～40mmの亜円礫を30%内外混じる。 色調変化激しく、GL-2.43～3.05mまで黒褐、GL-3.05～3.50mまで暗灰褐色を示す。 [近世盛土 盛土1]
3									
	28.20	1.07	3.50						
					粘土	黒褐		中位	黒褐色を呈す粘土主体。 礫混ざる。 [黒ボク]
4	27.60	0.60	4.10						
					固結粘土	褐灰		硬	固結度の高い泥質な粘土。 一部径5～10mm程度の亜円礫混じる。 GL-4.5m以深砂分、礫分多くなる。 [卵読山層]
	26.85	0.75	4.85						
5					粘土混じり砂礫	褐灰			径2～60mmの円～亜円礫を70%程度含む。最大径70mm程度。 マトリックスは淘汰の悪い中砂～粗砂主体に、粘性の高い粘土分若干混ざる。 礫種は軽石質～火成岩礫に泥岩、凝灰岩等も混じり多種に渡る。 礫は風化進みくさり礫状となっているものも多い。 非常に密な締まりを有している。 [卵読山層]
	25.70	1.15	6.00						
6									
7									
8									
9									

地山境

ボーリングコア柱状図　BP－15（S＝1/50H）
北緯 36° 33′ 57″
東経 136° 39′ 25″
[玉泉院丸中央部　露地方役所]

ボーリングコア写真

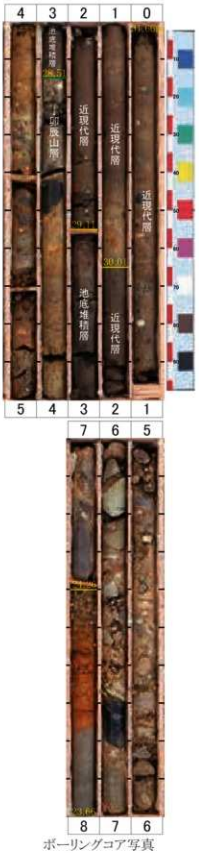
第 153 図　ボーリングコア詳細柱状図 20（BP － 15 地点）



ボーリングコア柱状図　BP－16（S＝1/50H）

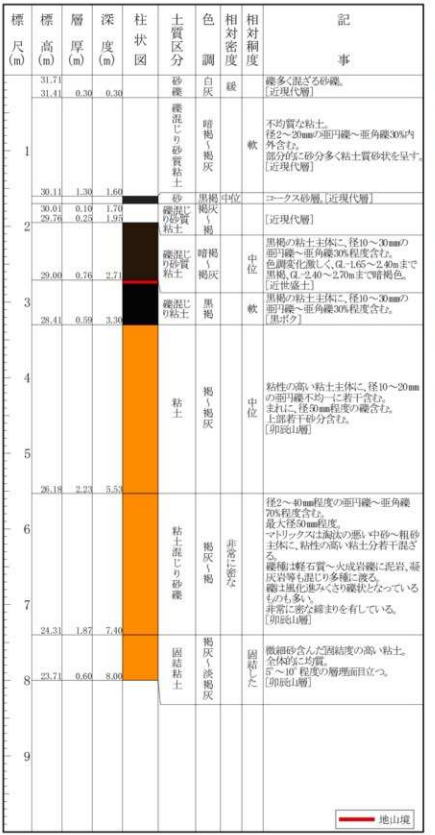
［玉泉院丸中央部　紅葉橋南池］

北緯 36° 35′ 57″
東経 136° 39′ 26″



ボーリングコア写真

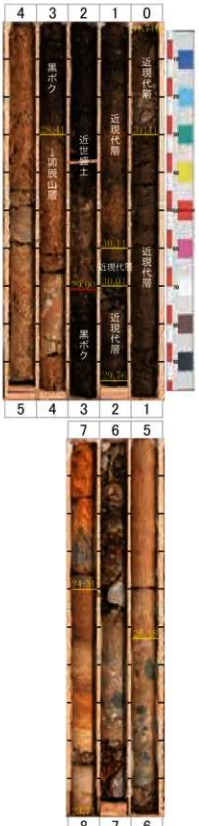
第 154 図　ボーリングコア詳細柱状図 21（BP － 16 地点）



ボーリングコア柱状図　BP－17（S＝1/50H）

北緯 36° 33' 56"
東経 136° 39' 26"

[玉泉院丸中央部　出島]



ボーリングコア写真

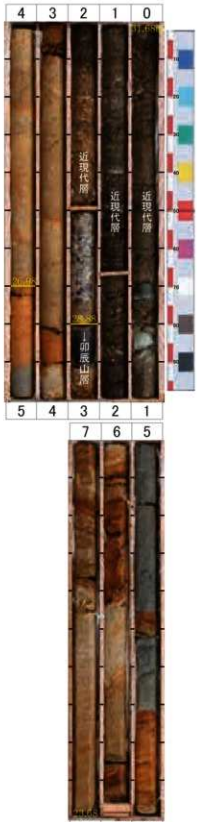
第 155 図　ボーリングコア詳細柱状図 22（BP － 17 地点）

標尺(m)	標高(m)	層厚(m)	深度(m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事
1	31.68				礫混じり粘土	暗褐～褐灰～黒褐		中位	不均質な粘土。 径2～40mmの亜角礫～亜円礫不均一に含む。 色調変化激しく、GL-2.1mまで黒褐色～暗褐色、GL-2.5mまで褐灰色を呈す。 GL-2.5～2.9m間コンクリート片及び玉石挟む。 [近現代層]
2	28.88	2.80	2.80						
3					シルト質砂	褐灰～灰褐	密な		細砂～中砂を主体とし、部分的に微細砂となる。 5～10cmの層理面目立つ。 [卯辰山層]
4	26.98	1.90	4.70						
5					固結粘土	褐～暗灰～淡灰		固結した	均質な固結粘土。 一部風化で固結度高い細砂～中砂挟む。 5cm～10cm程度の層理面目立つ。 GL-6.1～6.5m間砂層となる。 GL-6.9～7.5m砂層となる。 色調変化激しく0.5m程度の層厚で変化する。 [卯辰山層]
6									
7									
8	23.68	3.30	8.00						
9									

ボーリングコア柱状図　BP－18（S＝1/50H）

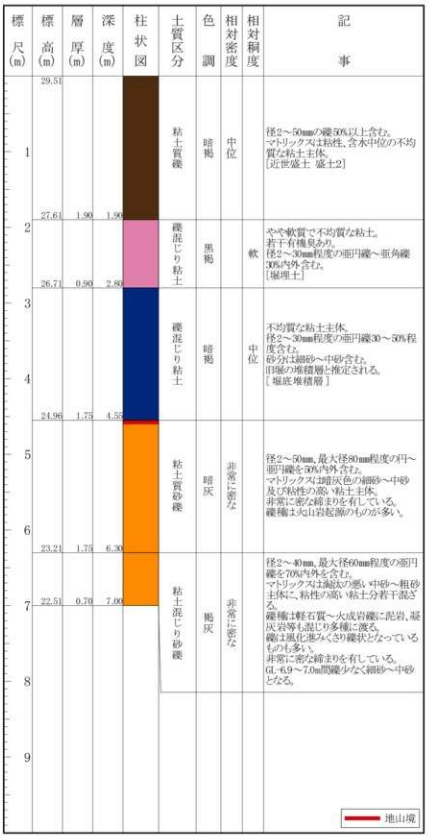
[玉泉院丸東部　出島北東～園路]

北緯 36° 33′ 57″
東経 136° 39′ 27″



ボーリングコア写真

第 156 図　ボーリングコア詳細柱状図 23（BP － 18 地点）



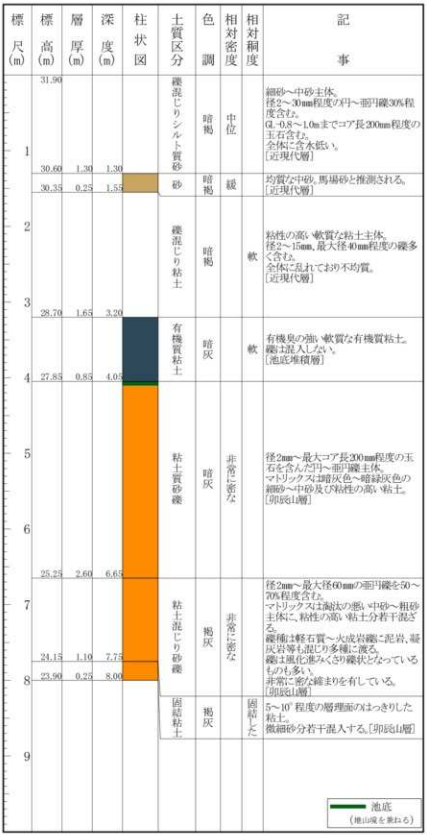
ボーリングコア柱状図　BP－19（S＝1/50H）

北緯 36° 33' 56"
東経 136° 39' 27"

【玉泉院丸東部　池岸】

ボーリングコア写真

第 157 図　ボーリングコア詳細柱状図 24（BP － 19 地点）



ボーリングコア柱状図　BP－20（S＝1/50H）

[玉泉院丸中央部　池]

北緯36° 33' 56"
東経136° 39' 26"

ボーリングコア写真

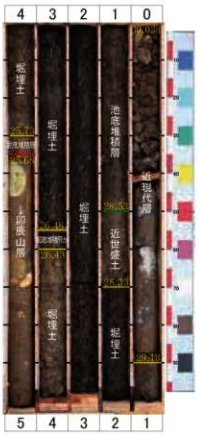
第 158 図　ボーリングコア詳細柱状図 25（BP － 20 地点）

標尺(m)	標高(m)	層厚(m)	深度(m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事
	30.03				シルト混じり砂礫	暗褐	緩		現代の埋土。 礫、玉石及びコンクリート片多く混ざる砂礫。 [近現代層]
	29.13	0.90	0.90						
1					礫混じり粘土～粘土	暗褐		軟	不均一な粘土。層相変化激しい。 GL-1.1mまで径5～30mmの礫含む粘土。 GL-1.5mまで礫含まない粘土。 [池底堆積層]
	28.53	0.60	1.50						
	28.33	0.20	1.70		礫混じり粘土	灰褐		軟	径2～15mmの亜円礫含む粘土。 [近世盛土]
2					礫混じり粘土	黒褐		軟	軟質で含水の高い粘土。 やや有機臭あり。 底改修時の粘土と推定。 径2～20mm、最大径50mmの円～亜円礫30%、細砂～中砂不均一に含む。 [堀埋土]
3									
	26.48	1.85	3.55		粘土	暗褐		軟	軟質な粘土。有機臭あり。 [堀底堆積層小]
	26.43	0.05	3.60		礫混じり粘土	暗褐～褐灰		中位	不均質な粘土。 色調変化激しく、局所的に暗灰～褐灰の粘土挟む。 径2～40mm程度の亜円礫を不均一に含む。粘性高い。 旧堀の堆土と推定される。[堀埋土]
4									
	25.73	0.70	4.30						
	25.68	0.05	4.35		粘土	暗褐		軟	旧堀の堆積物。粘土主体。 [堀底堆積層]
5					粘土混じり砂礫	暗灰	非常に密な		径2mm～最大コア長100mmの亜円礫を50～70%含む。 マトリックスは淘汰の悪い中砂～粗砂主体に、粘性の高い粘土分若干混ざる。 色調は暗灰色～亜緑灰色となる。
6									
	23.03	2.65	7.00						
7					粘土混じり砂礫	褐灰	非常に密な		径2mm～最大コア長100mmの亜円礫を50～70%含む。 マトリックスは淘汰の悪い中砂～粗砂主体に、粘性の高い粘土分若干混ざる。 礫種は軽石質～火成岩礫に泥岩、凝灰岩等も混じり多種に渡る。 礫は風化進んでくさり礫状となっているものも多い。 非常に密な締まりを有している。
8	22.03	1.00	8.00						
9									

池底
池山境

ボーリングコア柱状図　BP－21（S＝1/50H）
［玉泉院丸東部　池］

北緯36° 33' 56"
東経136° 39' 27"



ボーリングコア写真

第159図　ボーリングコア詳細柱状図26（BP－21地点）

標尺(m)	標高(m)	層厚(m)	深度(m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事
	36.37				礫混じり粘土	暗褐		中位	含水の低い半固結状の粘性土。 径5～40mmの亜円礫30%程度含む。 全体的に不均質で層境界は不明瞭。 [近現代層]
1	35.37	1.00	1.00						
2	33.57	1.80	2.80		礫混じり粘土	暗褐灰		軟	軟質で不均質な粘土。 径2～30mmの亜円礫主体50%内外含む。 [近現代層]
3	32.20	1.37	4.17		粘土質礫	褐灰	中位		径2～30mmの亜円礫主体50%内外含む。 褐灰の粘土を主体とし、所々赤褐や黒褐の粘土塊を不均一に含むなど乱れた層相を呈している。 GL-3.0～3.2m間礫少なく粘土となる。 GL-3.6m付近いちじん有り。 [近世盛土 盛土2]
5	31.02	1.18	5.35		固結粘土	褐灰		固結した	均質で粘性の高い粘土。 コアは棒状で採取されるが指でもわと容易に粘土化する。 GL-5.0m以深砂分増加する。
6	30.37	0.65	6.00		粘土混じり砂礫	褐灰	非常に密な		径2～50mm程度の円～亜円礫を50～70%含む。 マトリックスは粘土及び淘汰の悪い中砂～粗砂。 GL-5.35～5.55m間礫少なく、以深礫多くなる。
7									
8									
9									

地山境

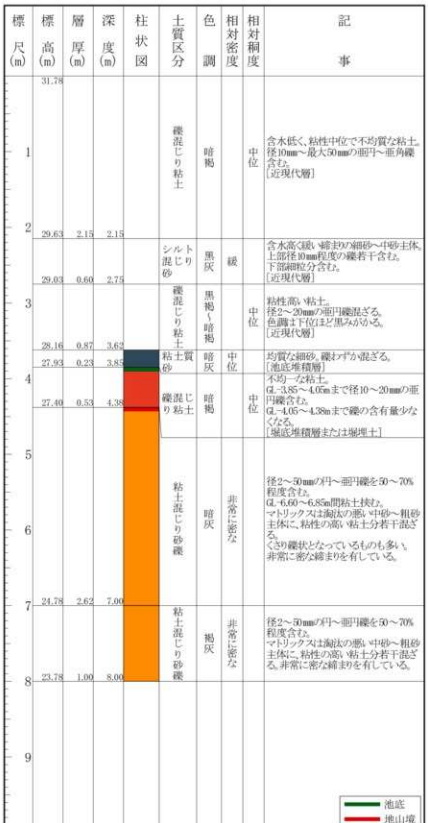
ボーリングコア柱状図　BP－22（S＝1/50H）

北緯 36° 33' 56"
東経 136° 39' 28"

[本丸附段西側右堀下段北斜面]

ボーリングコア写真

第 160 図　ボーリングコア詳細柱状図 27（BP － 22 地点）



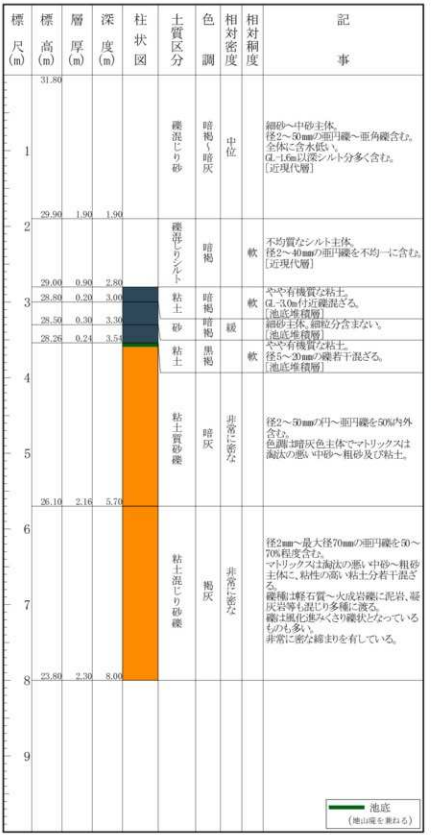
ボーリングコア柱状図　BP－23（S＝1/50H）

[玉泉院丸東部　池]

北緯 36° 35' 57"
東経 136° 39' 26"

ボーリングコア写真

第 161 図　ボーリングコア詳細柱状図 28（BP － 23 地点）

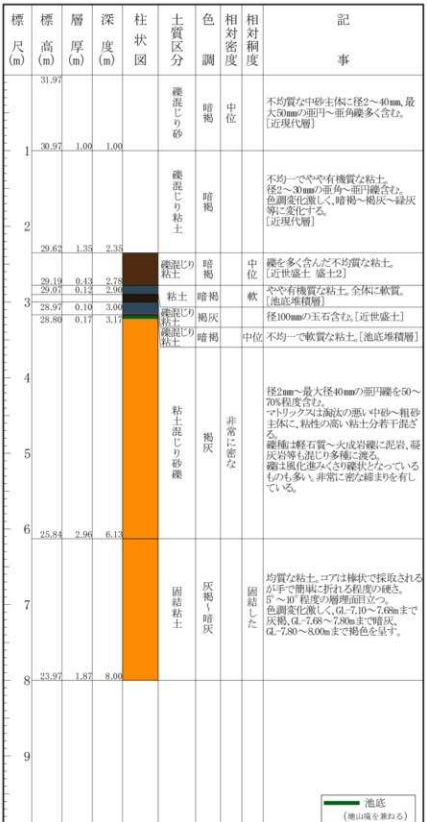


ボーリングコア柱状図　BP－24（S＝1/50H）
[玉泉院丸東部　池]

北緯36° 35' 56"
東経136° 39' 27"

ボーリングコア写真

第162図　ボーリングコア詳細柱状図29（BP－24地点）



第163図　ボーリングコア詳細柱状図30（BP－25地点）

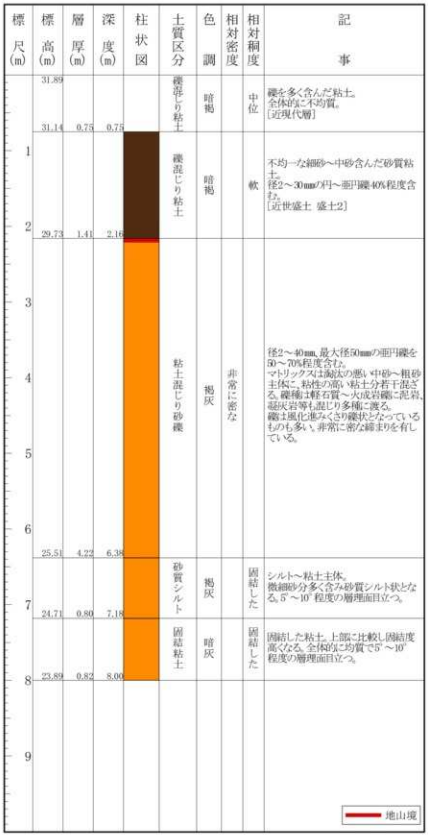
標尺(m)	標高(m)	層厚(m)	深度(m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事
1	31.78				礫混じり粘土質砂	暗褐	緩		含水、粘性の低い細砂～中砂。 径2～30mm程度の亜角～亜円礫30%内外含む。 全体的に不均質。 [近現代層]
	30.68	1.10	1.10		砂	褐灰			細砂～中砂主体。 [近現代層]
	30.28	0.40	1.50		礫混じり粘土質砂	暗褐	緩		細砂～中砂主体。 径2～30mm程度の亜円～亜角礫含む。 粘土分不均一にブロック状に含む。 [近現代層]
2	29.78	0.50	2.00						
3	28.00	1.78	3.78		礫混じり粘土	暗褐		軟	粘性の高い不均一な粘土。 径2～30mm程度の亜角～亜円礫含む。 最大径130mm程度の玉石含む。 [近現代層]
4									
5	26.20	1.80	5.58		砂質粘土	暗灰～褐灰		軟	暗灰色の微細砂混ざった粘土主体に褐灰色の粘土を不均一に含む。 GL-4.5～5.0m以深やや中砂分多くなる。 GL-6.35m以深微細砂分多くなる。
6					粘土質砂礫	暗灰	非常に密な		径2～40mm程度の亜円礫50%内外含む。 マトリックスは暗灰色の粘土及び中砂～粗砂主体。
7	24.68	1.52	7.10						
8	23.78	0.90	8.00		粘土混じり砂礫	褐灰	非常に密な		径2mm～最大径70mmの亜円礫を50～70%程度含む。 マトリックスは淘汰の悪い中砂～粗砂主体に、粘性の高い粘土分若干混ざる。非常に密な締まりを有している。
9									

ボーリングコア柱状図　BP－26（S＝1/50H）
[玉泉院丸南東部　池]

北緯 36° 33′ 55″
東経 136° 39′ 26″

ボーリングコア写真

第 164 図　ボーリングコア詳細柱状図 31（BP － 26 地点）



ボーリングコア柱状図　BP－27（S＝1/50H）

[玉泉院丸南東部　東側斜面裾]

北緯36° 33′ 54″
東経136° 39′ 28″

ボーリングコア写真

第165図　ボーリングコア詳細柱状図32（BP－27地点）

標尺(m)	標高(m)	層厚(m)	深度(m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事
	31.63				礫混じり砂	暗褐	中位		細い細～中砂主体。 [近現代層]
	31.33	0.30	0.30		礫混じり粘土	暗褐		中位	径2～40mm、最大径50mm程度の円～亜円礫含んだ粘土。 マトリックスは粘性の高い不均質な粘土。 [近現代層]
1	30.63	0.70	1.00		礫混じり粘土	褐灰		中位	礫を含んだ不均質な粘土。 一部黒褐色を呈す。 [近世盛土 盛土1]
2	29.63	1.00	2.00		有機質粘土	黒褐～暗褐		軟	黒褐色の有機質な粘土主体。 有機臭あり。 径5～10mm程度の礫まれに含む。 色調は下位ほど暗褐色に漸移的に変化する。 [黒ボク]
3	27.73	1.90	3.90						
4	27.11	0.62	4.52		粘土	褐灰		軟	粘性の高い粘土。 微細砂～シルト分若干混ざる。 礫はほとんど含まない。
5	25.63	1.48	6.00		粘土混じり砂礫	褐灰	非常に密な		径2mm～最大径60mmの亜円礫を50～70%程度含む。 最大100mm程度。 マトリックスは腐植の悪い中砂～粗砂主体に、粘性の高い粘土分若干混ざる。礫種は軽石質～火成岩礫に泥岩、凝灰岩等も混じり多種に渡る。 礫は風化進みくさり礫状となっているものも多い。 非常に密な締まりを有している。
6									
7									
8									
9									

地山域

ボーリングコア柱状図　BP－28（S＝1/50H）
[玉泉院丸南部　高台]

北緯 36° 33' 54"
東経 136° 39' 25"

ボーリングコア写真

第 166 図　ボーリングコア詳細柱状図 33（BP － 28 地点）

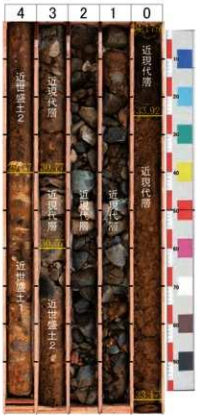
標尺(m)	標高(m)	層厚(m)	深度(m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事
	34.17								
	33.92	0.25	0.25		表土	黒褐		軟	草根混りのシルト。[近現代層]
					シルト混り砂	黒褐灰	緩		細砂主体にシルト含む。 含水低い。 礫は含まない。 [近現代層]
1	33.17	0.75	1.00						
2					礫	暗灰	密な		径20～80mmの円～亜円礫がほとんどを占める。 マトリックスはほとんど無い。 (L=2.95～3.40mまで粘土～シルト多くなり礫混じり粘土状を呈す。 [近現代層]
3	30.77	2.40	3.40						
	30.57	0.20	3.60		コンクリート	白灰			コンクリート片あり。[近現代層]
4					礫混じり粘土	暗褐		中位	径2～30mmの円～亜円礫を含んだ不均質な粘土。 所々均一に黒褐色の粘土～褐色の粘土を挟む。 [近世盛土 盛土2]
	29.77	0.80	4.40						
5					粘土混じり砂礫	褐灰～暗褐	中位		径2～50mm、最大径80mmの円～亜円礫主体。 マトリックスは中砂～粗砂及び粘土。 所々均一に黒褐色の粘土～褐色の粘土を挟む。 [近世盛土 盛土1]
	28.70	1.07	5.47						
6	28.17	0.53	6.00		礫混じりシルト	黒褐	中位		径2～10mmの小礫を含んだシルト主体。 植物根含む。 [黒ボク]
7									
8									
9									

地山境

ボーリングコア柱状図　BP－29（S＝1/50H）

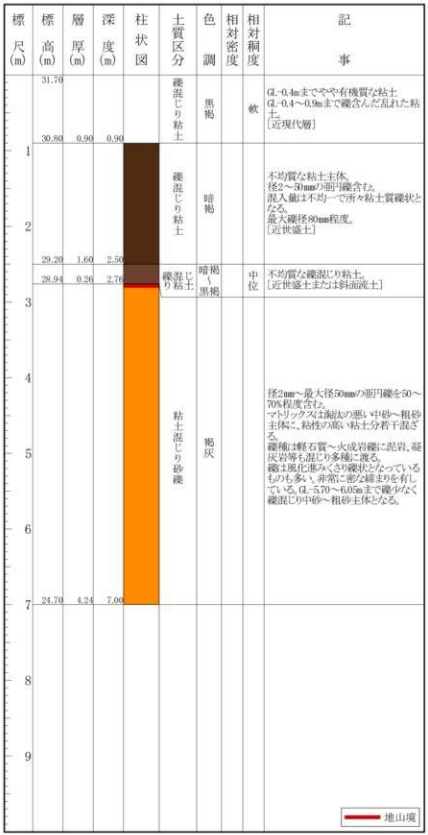
北緯 36° 33′ 54″
東経 136° 39′ 24″

[玉泉院丸南石垣土塀下背面]



ボーリングコア写真

第 167 図　ボーリングコア詳細柱状図 34（BP － 29 地点）



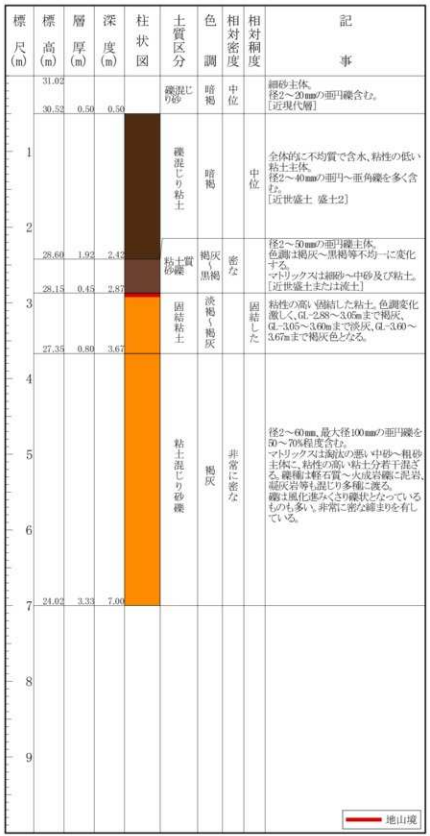
ボーリングコア柱状図　BP－30（S＝1/50H）

北緯 36° 35' 53"
東経 136° 39' 26"

[玉泉院丸南部　南部斜面]

ボーリングコア写真

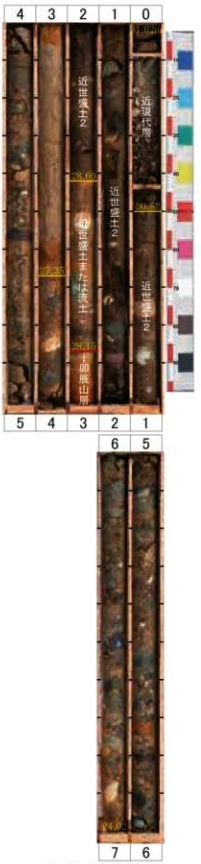
第 168 図　ボーリングコア詳細柱状図 35（BP － 30 地点）



ボーリングコア柱状図　BP－31（S＝1/50H）

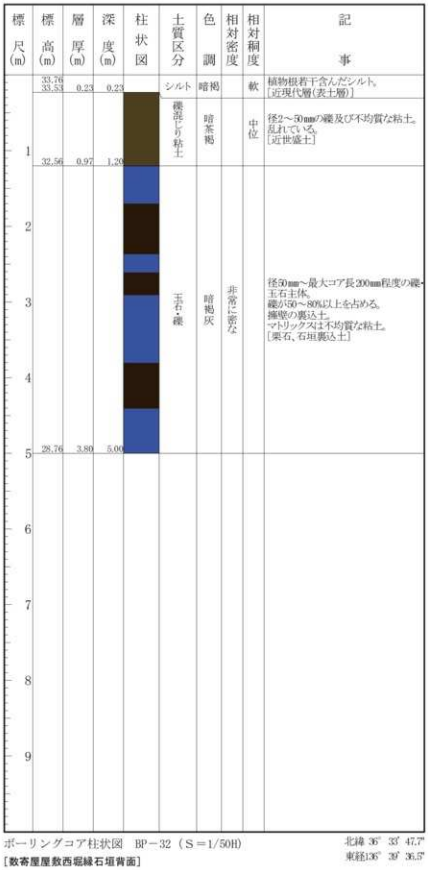
北緯 36° 33' 53"
東経 136° 39' 26"

[玉泉院丸南石垣土塀下背面]



ボーリングコア写真

第 169 図　ボーリングコア詳細柱状図 36（BP － 31 地点）



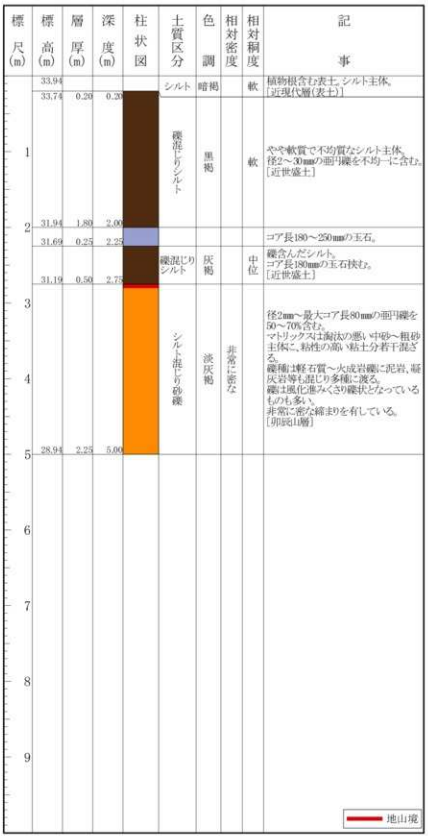
ボーリングコア柱状図　BP－32（S＝1/50H）

[数寄屋屋敷西堀縁石垣背面]

北緯 36° 33' 47.7"
東経 136° 39' 36.5"

ボーリングコア写真

第 170 図　ボーリングコア詳細柱状図 37（BP － 32 地点）



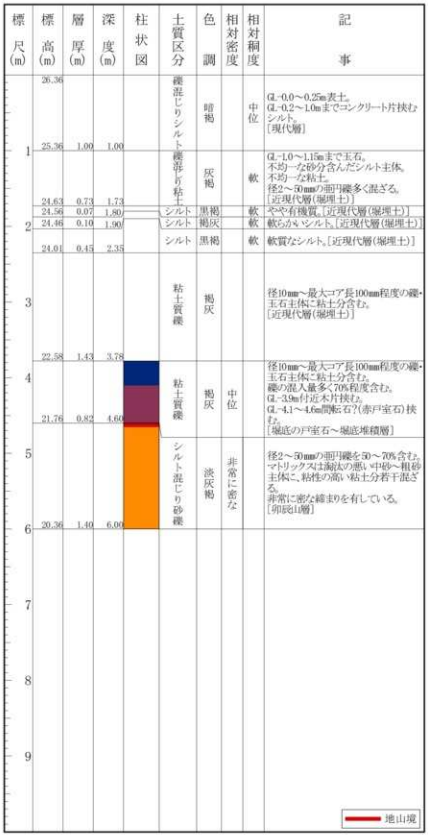
ボーリングコア柱状図　BP－32－2　（S＝1/50H）

北緯 36° 35′ 47.7″
東経136° 39′ 36.5″

[敷寄屋屋敷西堀緑石垣背面]

ボーリングコア写真

第 171 図　ボーリングコア詳細柱状図 38（BP － 32 － 2 地点）



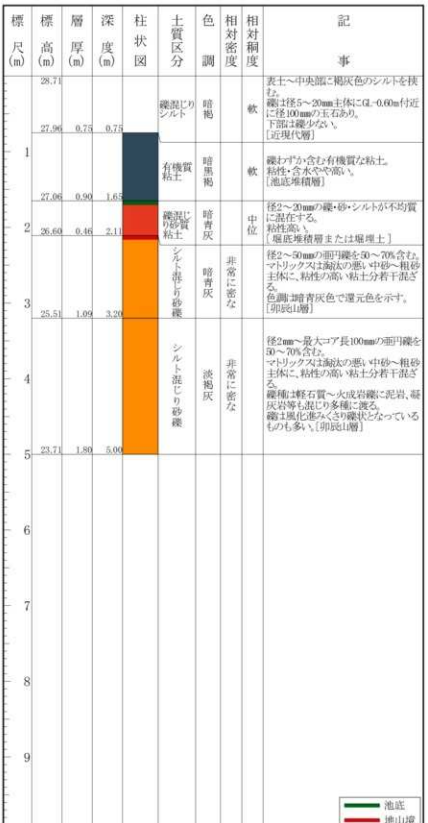
ボーリングコア柱状図　BP－33（S＝1/50H）

北緯 36° 33′ 47.6″
東経136° 39′ 35.4″

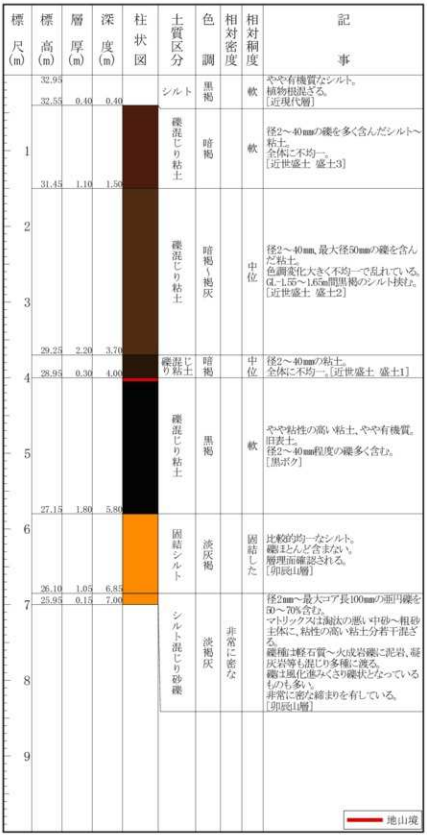
[数寄屋屋敷西堀]

ボーリングコア写真

第 172 図　ボーリングコア詳細柱状図 39（BP － 33 地点）



第173図　ボーリングコア詳細柱状40（BP－34地点）



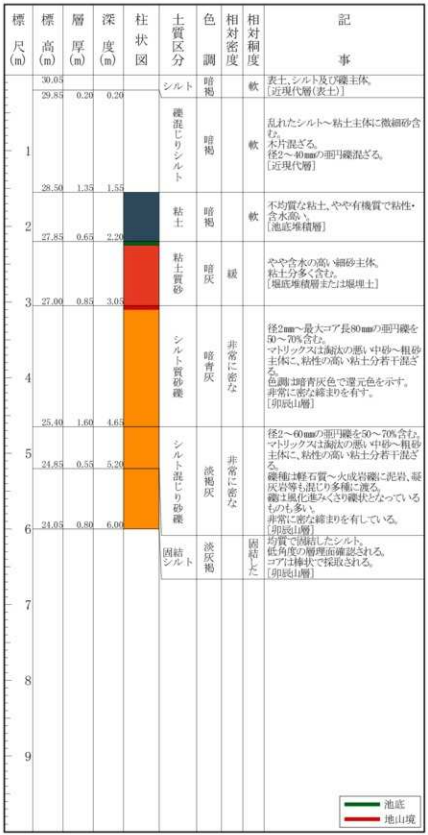
ボーリングコア柱状図　BP－35（S＝1/50H）

北緯 36° 33' 47.1"
東経 136° 39' 36.1"

[玉泉院丸北部　土蔵東]

ボーリングコア写真

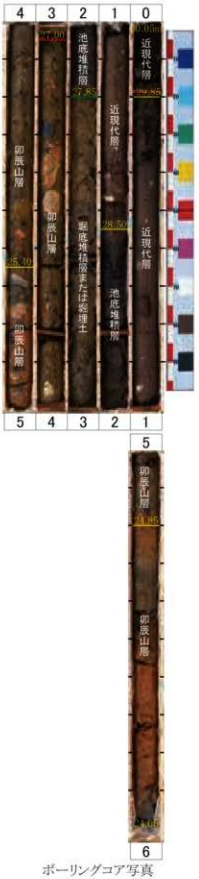
第 174 図　ボーリングコア詳細柱状図 41（BP － 35 地点）



ボーリングコア柱状図　BP－36（S＝1/50H）

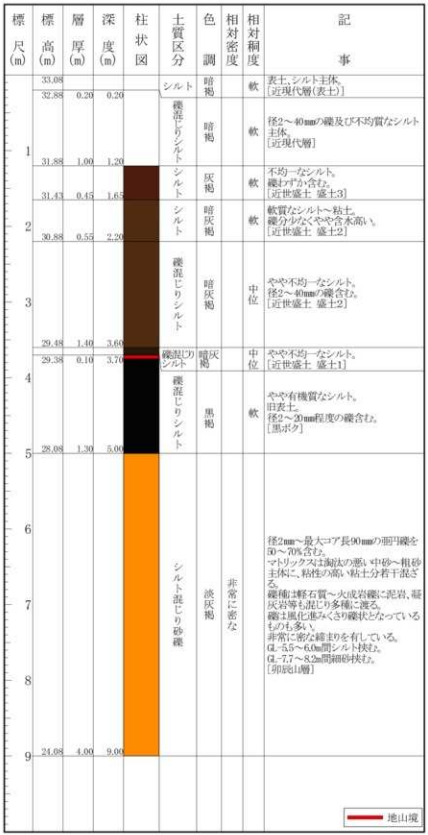
北緯36° 33' 46.0"
東経136° 39' 37.1"

[玉泉院丸北郎　池]



ボーリングコア写真

第175図　ボーリングコア詳細柱状図42（BP－36地点）

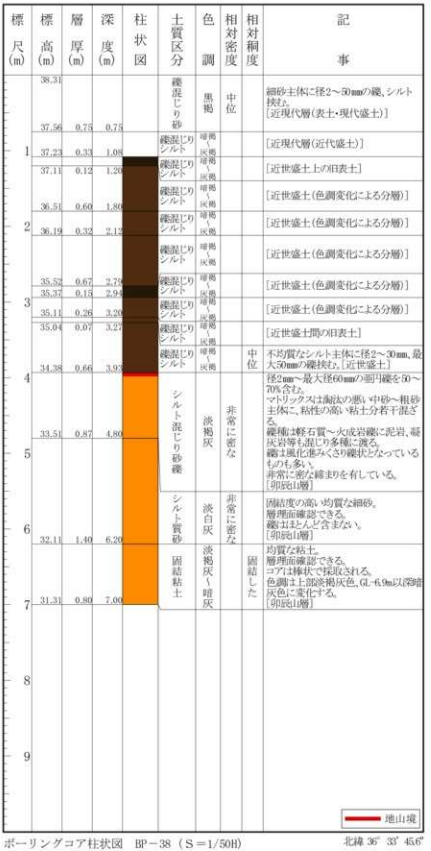


ボーリングコア柱状図　BP－37（S＝1/50H）
[玉泉院丸中央部　紅葉橋西詰]

北緯 36° 33' 46.0"
東経 136° 39' 36.7"

ボーリングコア写真

第 176 図　ボーリングコア詳細柱状図 43（BP － 37 地点）



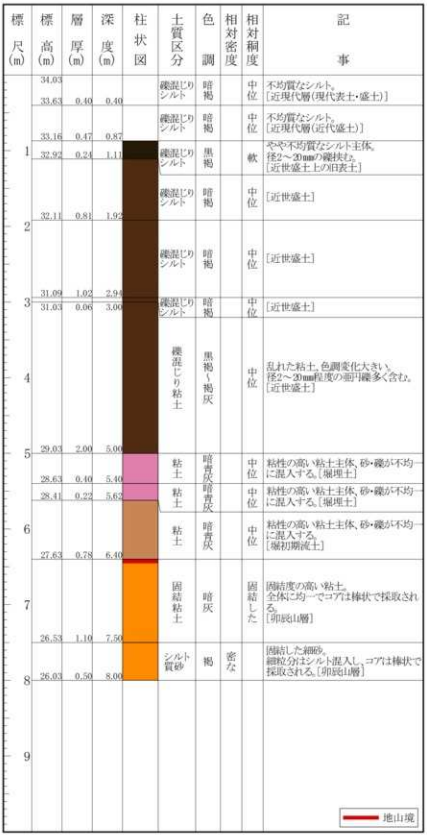
ボーリングコア柱状図　BP－38（S＝1/50H）

北緯 36° 33' 45.6"
東経 136° 39' 38.1"

[玉泉院丸北東部　松坂Ⅰ字路]

ボーリングコア写真

第 177 図　ボーリングコア詳細柱状図 44（BP － 38 地点）



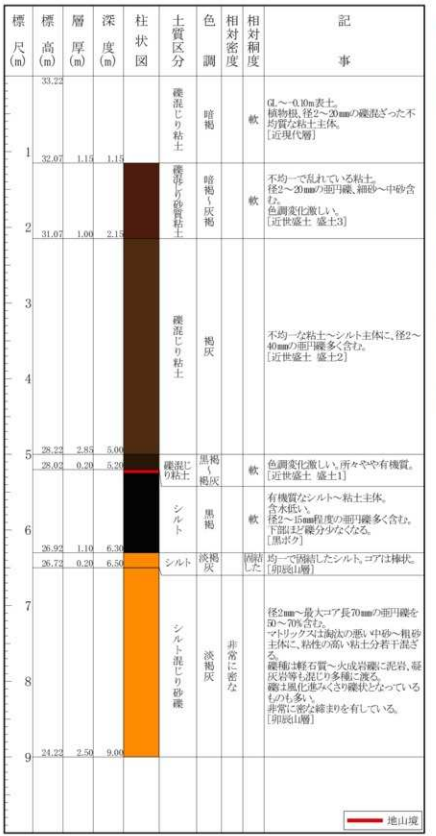
第178図　ボーリングコア詳細柱状図45（BP－39地点）

ボーリングコア柱状図　BP－40（S＝1/50H）
[玉泉院丸中央部　紅葉橋南池]

北緯 36° 35′ 45.5″
東経 136° 39′ 36.9″

ボーリングコア写真

第 179 図　ボーリングコア詳細柱状図 46（BP － 40 地点）

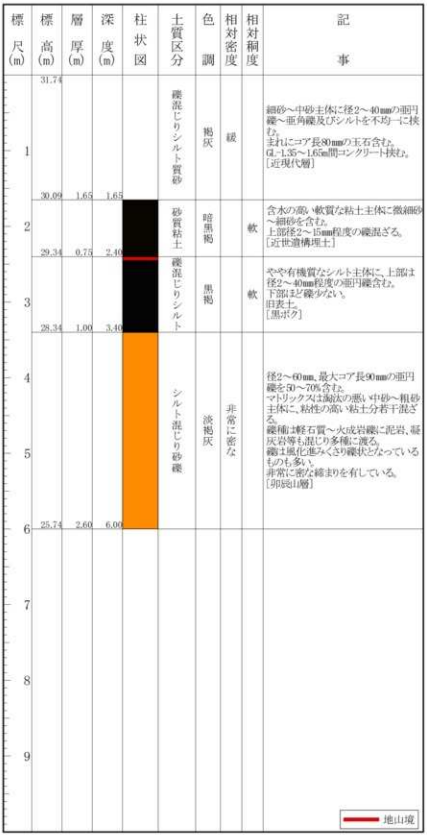


ボーリングコア柱状図　BP－41（S＝1/50H）
[玉泉院丸中央部　紅葉橋南西]

北緯36° 33' 45.5"
東経136° 39' 36.2"

ボーリングコア写真

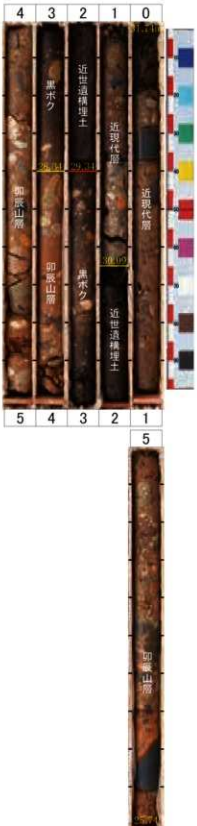
第180図　ボーリングコア詳細柱状図47（BP－41地点）



ボーリングコア柱状図　BP－42（S＝1/50H）

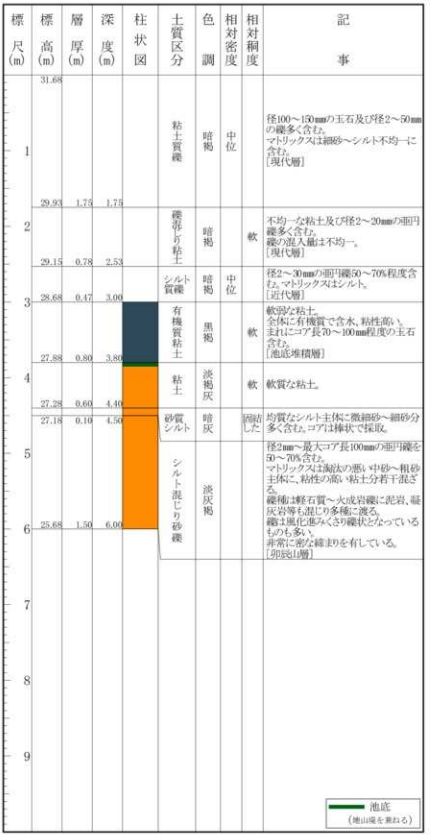
[玉泉院丸中央部　出島北]

北緯36° 33' 45.0"
東経136° 39' 37.1"



ボーリングコア写真

第181図　ボーリングコア詳細柱状図48（BP－42地点）



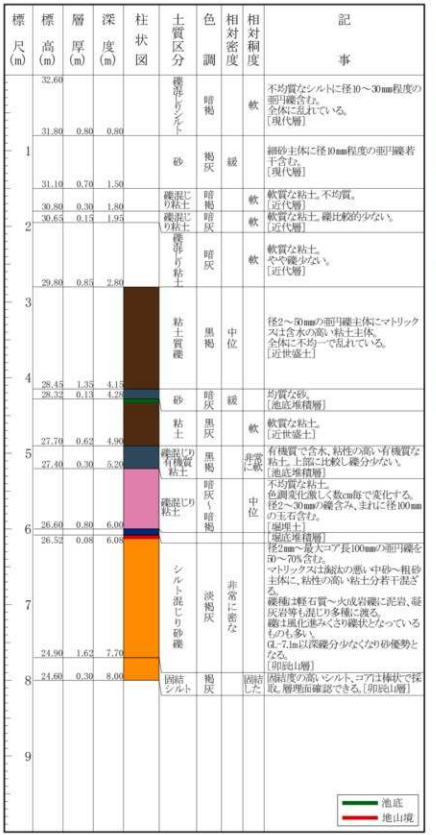
ボーリングコア柱状図　BP－43（S＝1/50H)

[玉泉院丸中央部　紅葉橋南池]

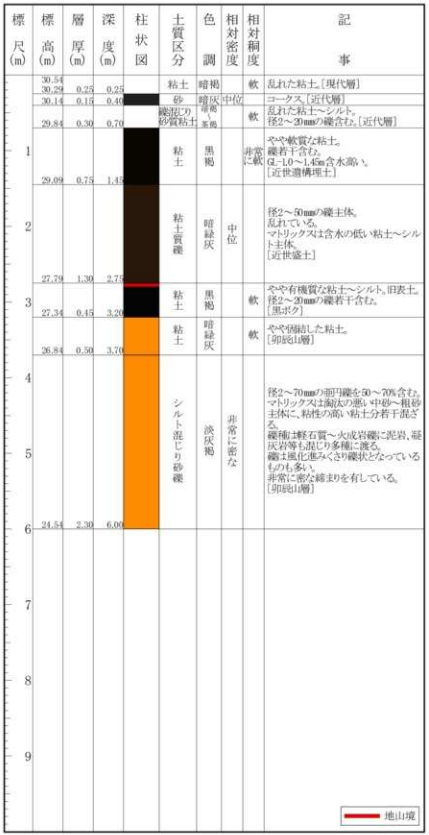
北緯36° 33' 44.9"
東経136° 39' 36.4"

ボーリングコア写真

第 182 図　ボーリングコア詳細柱状図 49（BP － 43 地点）



第183図　ボーリングコア詳細柱状図50（BP－44地点）



ボーリングコア柱状図　BP－45（S＝1/50H）

[玉泉院丸中央部　出島南]

北緯 36° 33′ 44.6″
東経 136° 39′ 37.1″

ボーリングコア写真

第 184 図　ボーリングコア詳細柱状図 51（BP － 45 地点）

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事
	31.62 31.32	0.30	0.30		礫混じり粘土	暗黒褐		軟	乱れの大きい粘土主体に径2～40mmの礫含む。全体に有機質。[現代層]
1	30.32	1.00	1.30		礫混じり粘土	暗褐			[近代層(地すべり堆積層)]
	29.82	0.50	1.80		礫混じり粘土	暗褐			GL-1.30～1.37m間で径5～10mm、GL-1.46～1.52m間で径2～10mmの玉石層を挟む。[近世盛土]
2	29.62	0.20	2.00		礫混じり粘土	暗青灰		軟	GL-1.88～2.0m間で径6～20mmの玉石層を挟む。[近世盛土]
	29.42	0.20	2.20		礫混じり粘土	暗褐			[近世盛土]
	28.62	0.80	3.00		粘土	暗褐			[池底堆積層]
3	28.37	0.25	3.25		礫混じり粘土	暗褐			[近世盛土]
	28.17	0.20	3.45		粘土	暗褐			[池底堆積層]
	27.82	0.35	3.80		礫混じりシルト質砂	暗灰～暗褐灰	緩		細砂～中砂主体に径2～30mmの亜円礫及びシルト不均一に混ざる。全体に含水高く緩い締まりを有す。[近世盛土]
4 5	26.32	1.50	5.30		シルト混じり砂礫	暗青灰	非常に密な		径2～60mmの亜円礫を50%内外含む。マトリックスは淘汰の悪い中砂～粗砂主体に、粘性の高い粘土分若干混ざる。色調は暗青灰色で還元色を示す。[卯辰山層]
6 7	24.62	1.70	7.00		シルト混じり砂礫	淡褐灰	非常に密な		径2～60mmの亜円礫を50%内外含む。マトリックスは淘汰の悪い中砂～粗砂主体に、粘性の高い粘土分若干混ざる。礫種は軽石質～火成岩礫に泥岩、凝灰岩等も混じり多種に渡る。礫は風化進みくさり礫状となっているものも多い。GL-5.5～5.6m間シルト挟む。[卯辰山層]
8									
9									

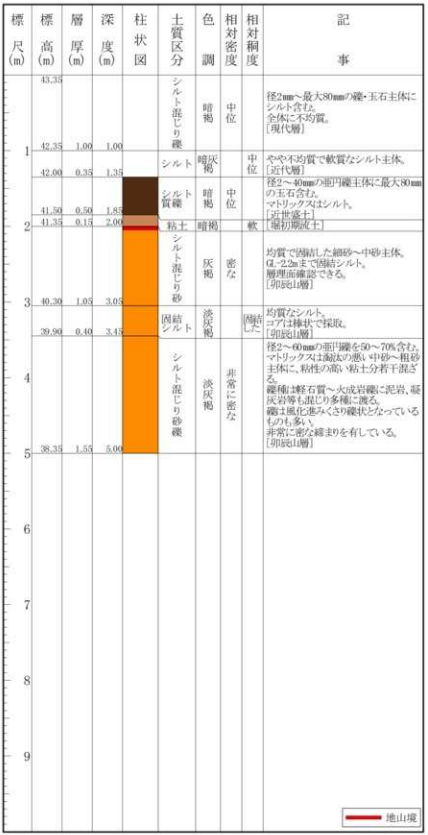
池底
地山境

ボーリングコア柱状図　BP－46（S＝1/50H）
[玉泉院丸東部　北東斜面裾]

北緯 36° 33′ 44.6″
東経136° 39′ 38.6″

ボーリングコア写真

第185図　ボーリングコア詳細柱状図52（BP － 46地点）

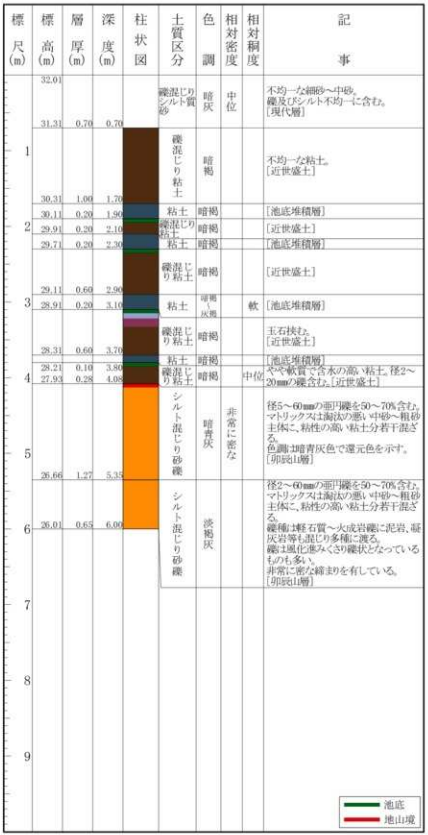


ボーリングコア柱状図　BP－47（S＝1/50H）

[極楽橋下空堀]

北緯36° 33' 44.2"
東経136° 29' 36.8"

第186図　ボーリングコア詳細柱状図53（BP－47地点）



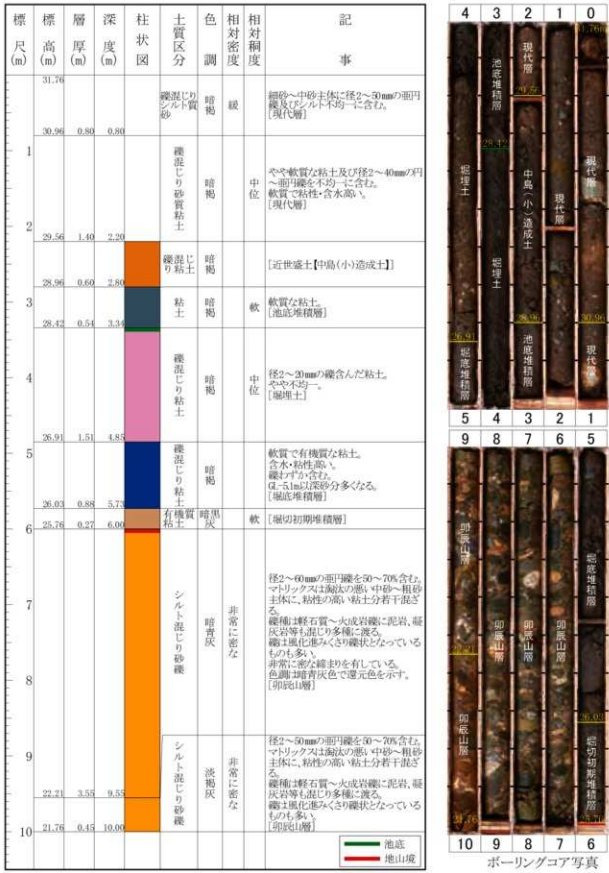
ボーリングコア柱状図　BP－48（S＝1/50H）

【玉泉院丸東部　中島（小）北　岬伏の付根】

北緯 36° 33′ 44.3″
東経 136° 39′ 38.4″

ボーリングコア写真

第 187 図　ボーリングコア詳細柱状図 54（BP － 48 地点）



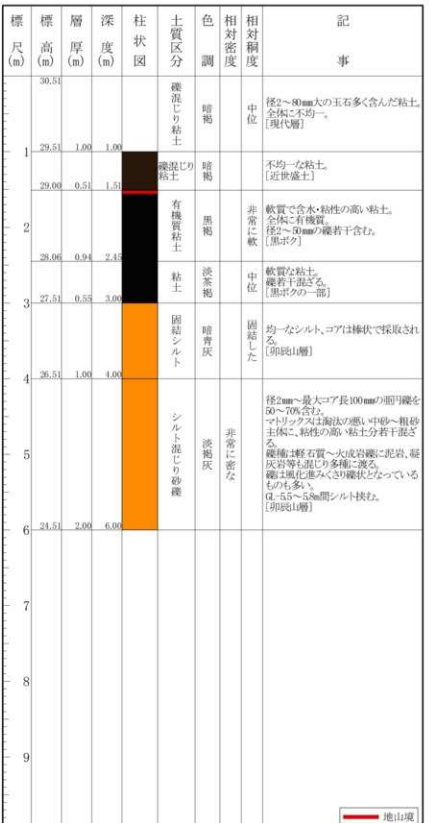
ボーリングコア柱状図　BP－49（S＝1/50H）

[玉泉院丸東部　中島（小）]

北緯 36° 33' 44.1"
東経 136° 39' 38.1"

ボーリングコア写真

第 188 図　ボーリングコア詳細柱状図 55（BP － 49 地点）

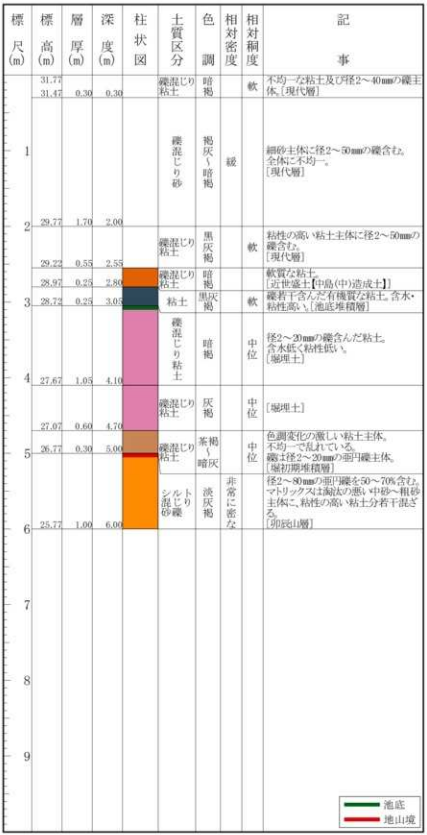


ボーリングコア柱状図　BP－50（S＝1/50H）
【玉泉院丸中央部　中島（大）】

北緯36° 35′ 43.7″
東経136° 39′ 37.5″

ボーリングコア写真

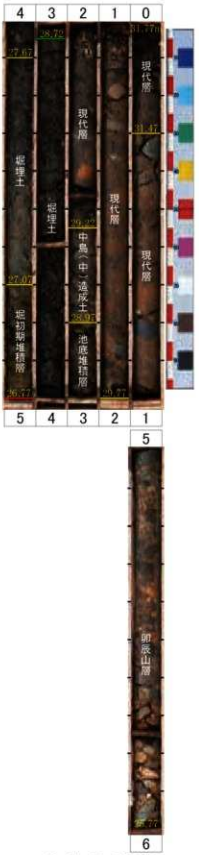
第189図　ボーリングコア詳細柱状図56（BP－50地点）



ボーリングコア柱状図　BP－51（S＝1/50H）

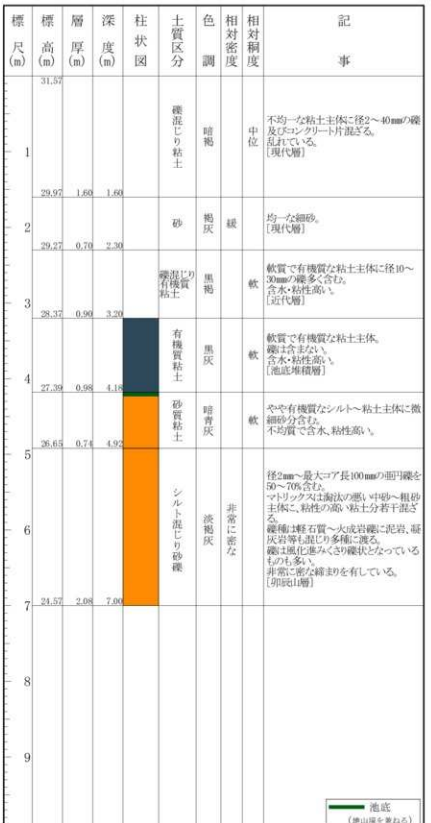
[玉泉院丸東郎　中島（中）]

北緯 36° 33' 43.6"
東経136° 39' 37.9"

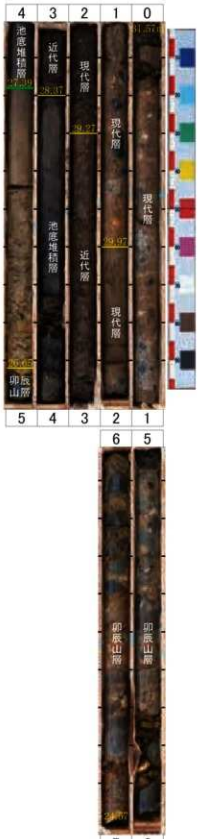


ボーリングコア写真

第 190 図　ボーリングコア詳細柱状図 57（BP － 51 地点）

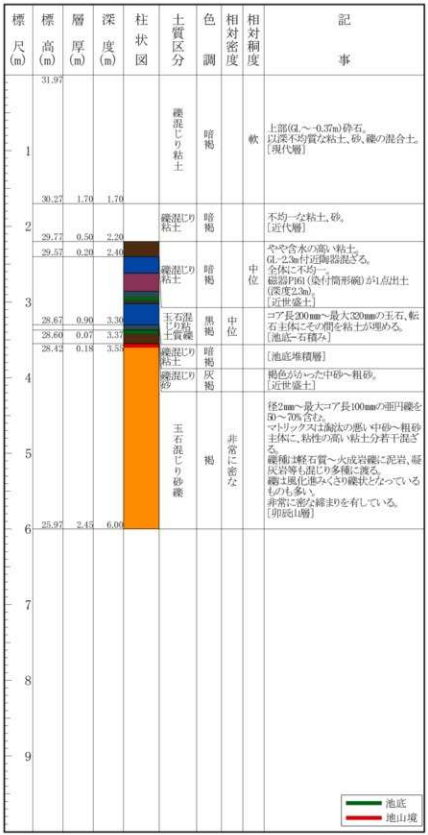


ボーリング柱状図　BP－52（S＝1/50Ⅱ）
[玉泉院丸中央部　池]
北緯 36° 35′ 43.4″
東経 136° 39′ 36.8″



ボーリングコア写真

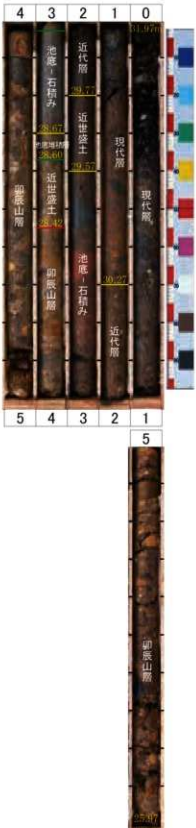
第 191 図　ボーリングコア詳細柱状図 58（BP － 52 地点）



ボーリングコア柱状図　BP－53（S＝1/50Ⅱ）

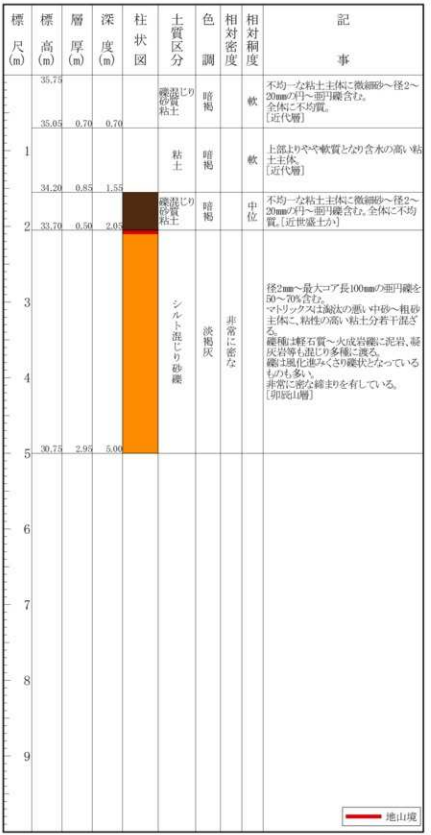
[玉泉院丸南東部　中島（中）東側岸辺]

北緯36° 33' 43.3"
東経136° 39' 38.2"



ボーリングコア写真

第192図　ボーリングコア詳細柱状図59（BP－53地点）



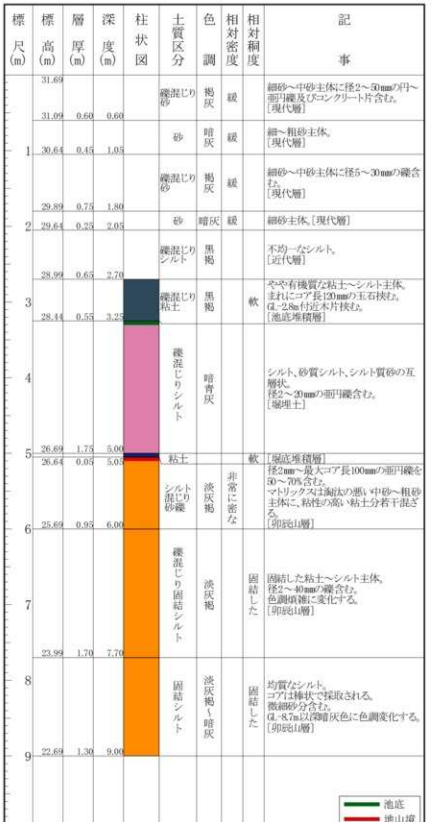
ボーリングコア写真

ボーリングコア柱状図　BP－54（S＝1/50H）

北緯 36° 33' 43.1"
東経136° 29' 38.5"

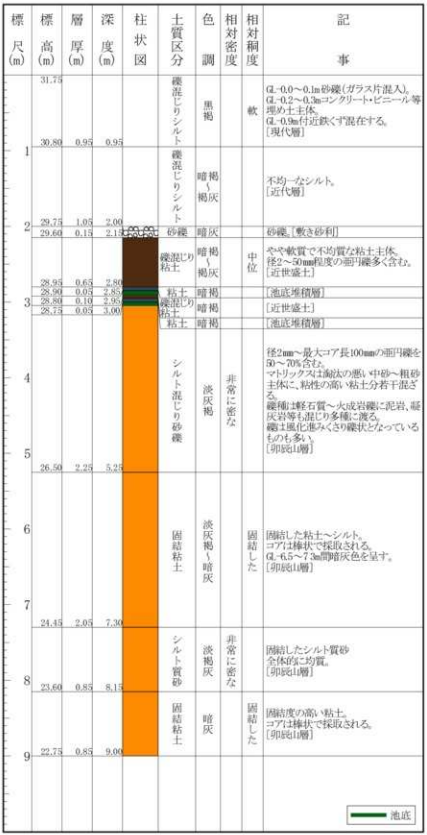
[玉泉院丸南東部　東側斜面]

第 193 図　ボーリングコア詳細柱状図 60（BP － 54 地点）



ボーリングコア写真

第194図　ボーリングコア詳細柱状図61（BP－55地点）



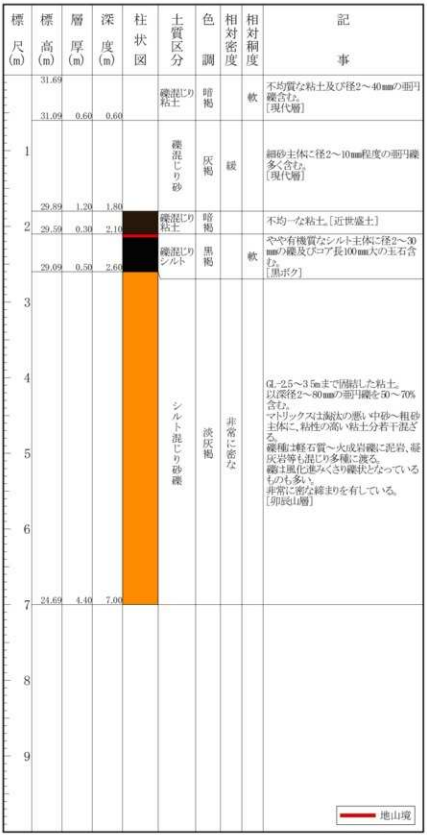
ボーリングコア柱状図　BP−56（S＝1/50H）

[玉泉院丸南東部　いもり坂西側斜面裾]

北緯 36° 33' 42.6"
東経 136° 39' 38.1"

ボーリングコア写真

第 195 図　ボーリングコア詳細柱状図 62（BP − 56 地点）

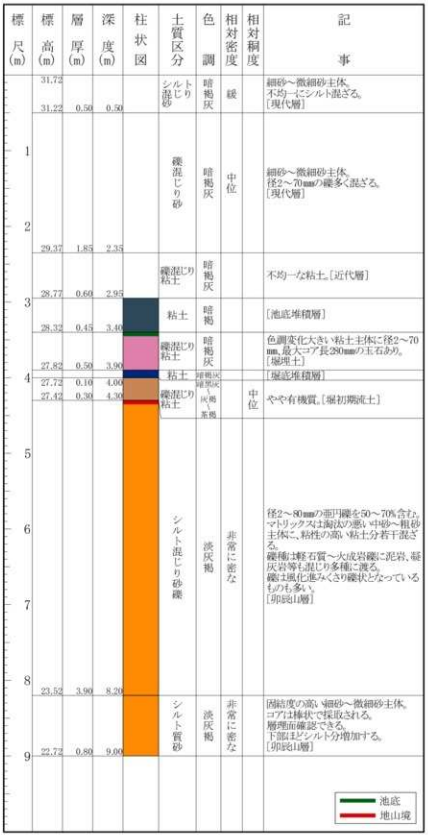


ボーリングコア柱状図　BP－57（S＝1/50H）
[玉泉院丸南東部　池南（高台）]

北緯36° 33' 42.8"
東経136° 39' 37.6"

ボーリングコア写真

第196図　ボーリングコア詳細柱状図63（BP－57地点）

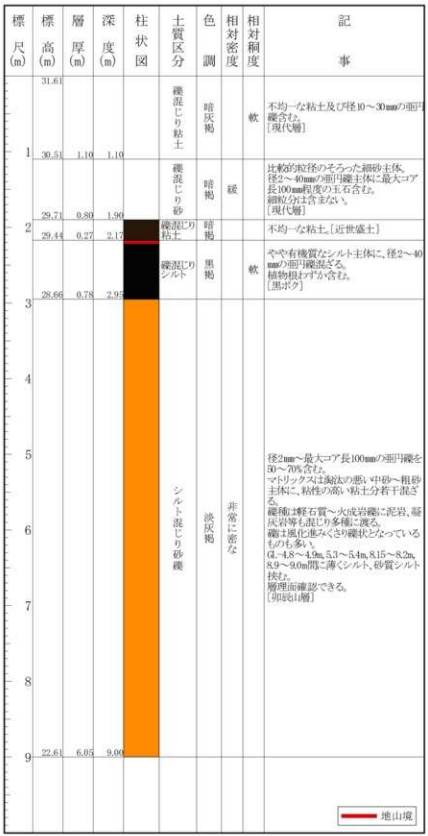


ボーリングコア柱状図　BP－58（S＝1/50H）

北緯 36° 33′ 42.4″
東経 136° 39′ 37.5″

[玉泉院丸南東部　池南方堀南]

第 197 図　ボーリングコア詳細柱状図 64（BP － 58 地点）



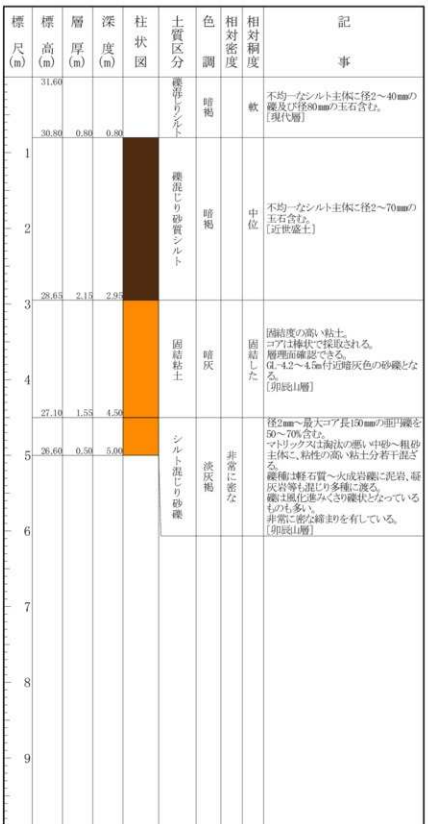
ボーリングコア柱状図　BP－59（S＝1/50Ⅱ）

[玉泉院丸南東部　池南（高台近）]

北緯36° 33' 42.5"
東経136° 39' 37.4"

ボーリングコア写真

第198図　ボーリングコア詳細柱状図65（BP－59地点）



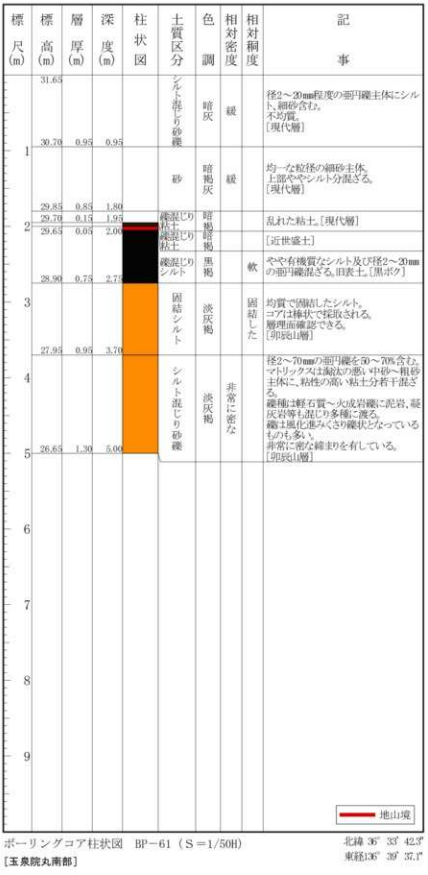
ボーリングコア柱状図　BP－60（S＝1/50Hl）

[玉泉院丸南部東側斜面裾]

北緯 36° 35′ 42.1″
東経136° 39′ 37.6″

ボーリングコア写真

第 199 図　ボーリングコア詳細柱状図 66（BP － 60 地点）



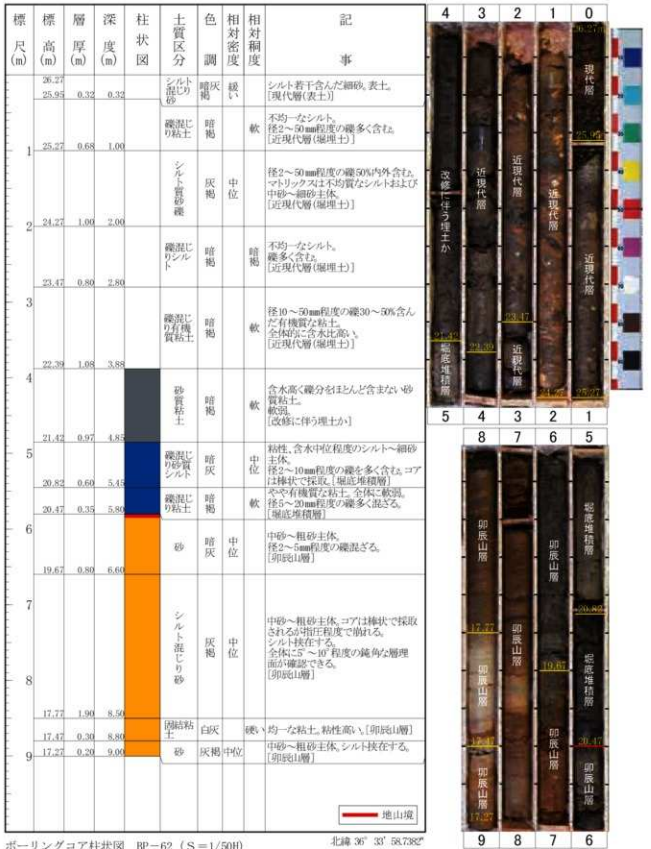
ボーリングコア写真

ボーリングコア柱状図　BP－61（S＝1/50H）

[玉泉院丸南部]

北緯36° 33' 42.3"
東経136° 39' 37.1"

第200図　ボーリングコア詳細柱状図67（BP－61地点）



ボーリングコア柱状図　BP－62（S＝1/50H）

北緯 36° 33' 58.738"
東経 136° 39' 23.802"

[数奇屋屋敷西堀]

ボーリングコア写真

第 201 図　ボーリング詳細柱状図 68（BP － 62 地点）

ボーリングコア柱状図　BP－63（S＝1/50H)

北緯 36° 33' 58.7204"
東経136° 39' 25.1053"

[数奇屋屋敷西堀]

ボーリングコア写真

第 202 図　ボーリングコア詳細柱状図 69（BP － 63 地点）

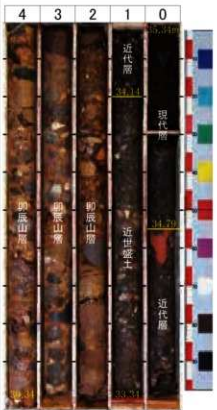
標尺(m)	標高(m)	層厚(m)	深度(m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事
	35.34								
	34.79	0.55	0.55		シルト	暗褐		軟	径20mm程度の礫を含んだシルトを主体とした表土。 [現代層(表土)]
1	34.14	0.65	1.20		シルト	暗褐		軟	径20mm程度の礫を含んだシルト主体。 [近代層(郷隊期)]
	33.34	0.80	2.00		シルト質砂礫	暗褐	中位		シルト、砂分を不均一に含んだ砂礫。全体に乱れている。 径2～40mm、最大60mm程度の礫を50%内外含んでいる。 [近世盛土]
2									
3					シルト混じり砂礫	灰褐	非常に密な		径2～60mm、最大コア長80mmの亜円礫を50～70%含む。 マトリックスは淘汰の悪い中砂～粗砂主体に、粘性の高い粘土分若干混ざる。 礫種は軽石質～火成岩礫に泥岩、凝灰岩等も混じり多種に渡る。 礫は風化進みくさり礫状となっているものも多い。 非常に密な締まりを有している。 [卯辰山層]
4									
5	30.34	3.00	5.00						
6									
7									
8									
9									

地山境

ボーリングコア柱状図　BP－64（S＝1/50Ht）

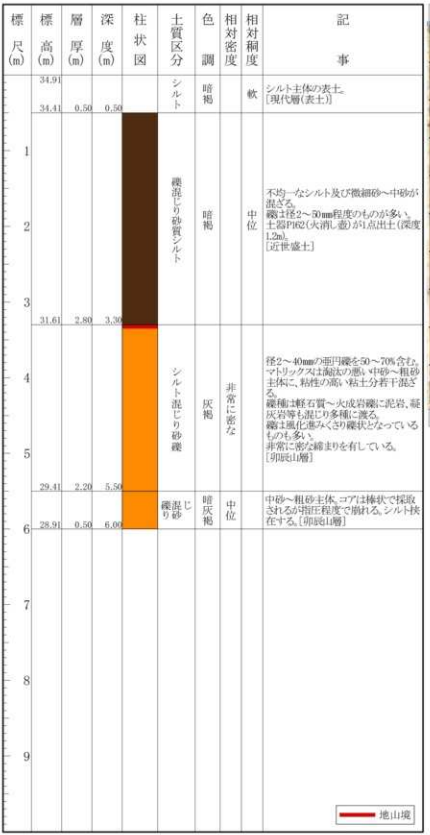
[数寄屋門下泉水縁石垣背面]

北緯 36° 35' 58.2428"
東経 136° 39' 26.1474"



ボーリングコア写真

第 203 図　ボーリングコア詳細柱状図 70（BP － 64 地点）



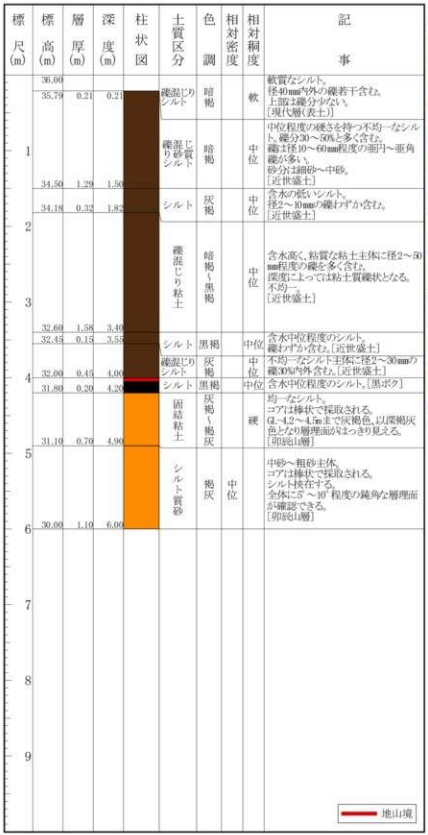
ボーリングコア柱状図　BP－65（S＝1/50H）

[数寄屋門下泉水縁石垣背面]

北緯 36° 33′ 57.8680″
東経 136° 39′ 26.3004″

ボーリングコア写真

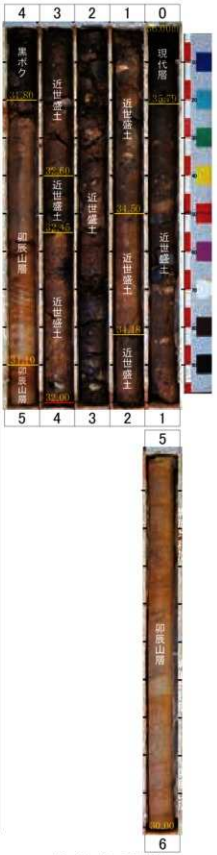
第 204 図　ボーリングコア詳細柱状図 71（BP － 65 地点）



ボーリングコア柱状図　BP－66（S＝1/50H）

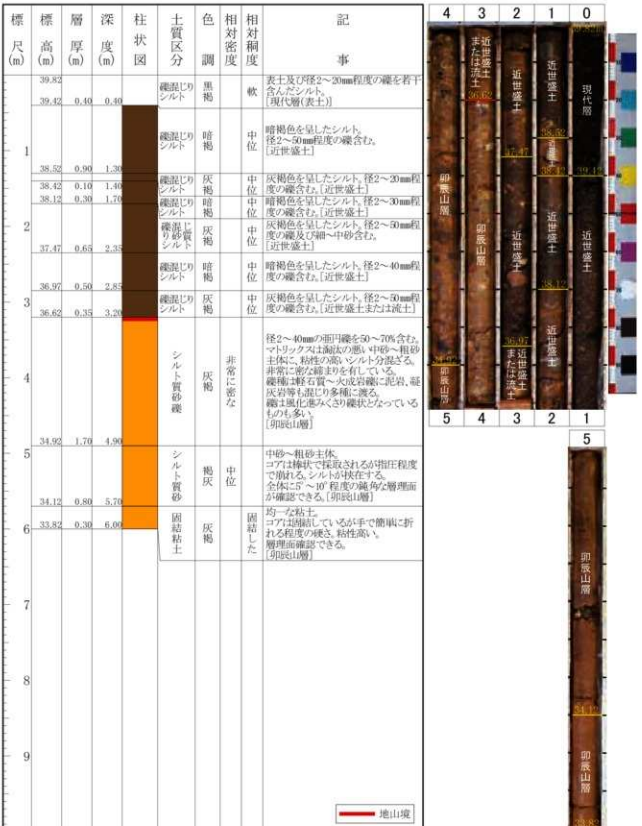
北緯 36° 33′ 57.035″
東経 136° 39′ 25.739″

[数寄屋門下泉水縁石垣背面]



ボーリングコア写真

第 205 図　ボーリングコア詳細柱状図 72（BP － 66 地点）



ボーリングコア柱状図　BP－67（S＝1/50Ⅱ）

[二ノ丸南石垣居間先土蔵下石垣前斜面]

北緯 36° 33′ 57.0744″
東経 136° 39′ 27.0458″

ボーリングコア写真

第 206 図　ボーリングコア詳細柱状図 73（BP － 67 地点）

標尺(m)	標高(m)	層厚(m)	深度(m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事
	45.74				シルト	淡褐		軟	シルト主体の表土。 [現代盛(表土)]
	45.54	0.20	0.20		礫混り砂質シルト	暗褐灰		軟	全体的に不均一で乱れたシルト。 中砂～細砂及び径2～30mmの礫不均一に含む。 [近現代層(攪乱)]
1	44.44	1.10	1.30						
	43.98	0.46	1.76		礫混じり有機質シルト	黒灰		軟	やや有機質なシルト。 径30mm程度の礫若干含む。 [近現代層(攪乱)]
2	43.89	0.09	1.85		礫混じりシルト	暗褐		中位	径2～20mm程度の礫及び不均一なシルト。[近世盛土]
	43.34	0.55	2.40		空洞				55cm程度の空洞あり。
3									
4					シルト質砂礫	暗褐	中位		全体に乱れた砂礫。 径2～30mmの礫を主体にシルト、砂を不均一に含む。 コアは棒状で採取されるが、指で簡単に崩れる程度。 礫五分9点(平五6点、丸五3点)出土(深度2.55m、2.95m、3.45m、3.82m、3.95m、4.80m、4.92m)。 [近世盛土]
5									
	39.84	3.50	5.90						
6					シルト混じり砂礫	灰褐	非常に密な		径2～40mmの亜円礫を50～70%含むマトリックスは強力の悪い中砂～粗砂主体に、粘性の高い粘土分若干混ざる。 礫種は軽石質～火成岩礫に泥岩、凝灰岩等も混じり多種に渡る。 非常に密な締まりを有している。 [印旛山層]
	38.74	1.10	7.00						
7									
8									
9									

地山境

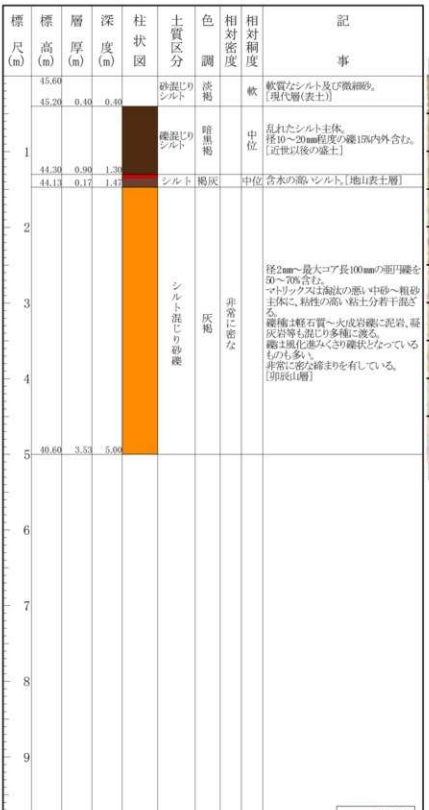
ボーリングコア柱状図　BP－68（S＝1/50H)

[数寄屋屋敷西鉢巻石垣背面]

北緯36° 33' 58.7455"
東経136° 39' 25.4777"

ボーリングコア写真

第207図　ボーリングコア詳細柱状図74（BP－68地点）



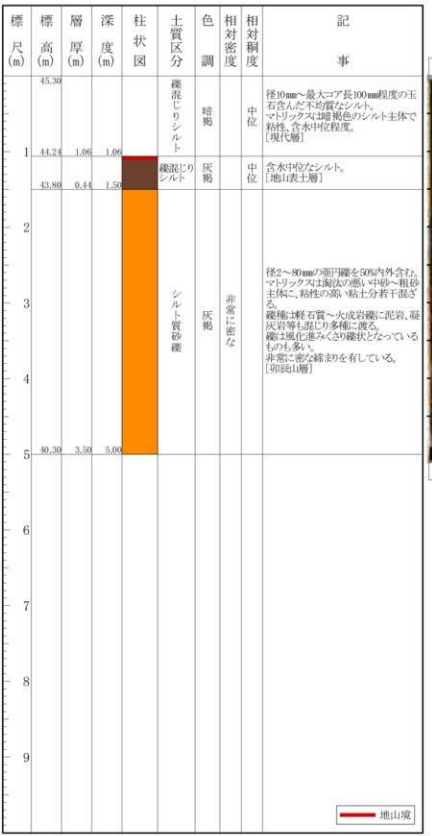
ボーリングコア写真

ボーリングコア柱状図　BP－69（S＝1/50H）

[敷寄屋屋敷西鉢巻石垣背面]

北緯 36° 33′ 58.4618″
東経136° 39′ 26.6105″

第 208 図　ボーリングコア詳細柱状図 75（BP － 69 地点）



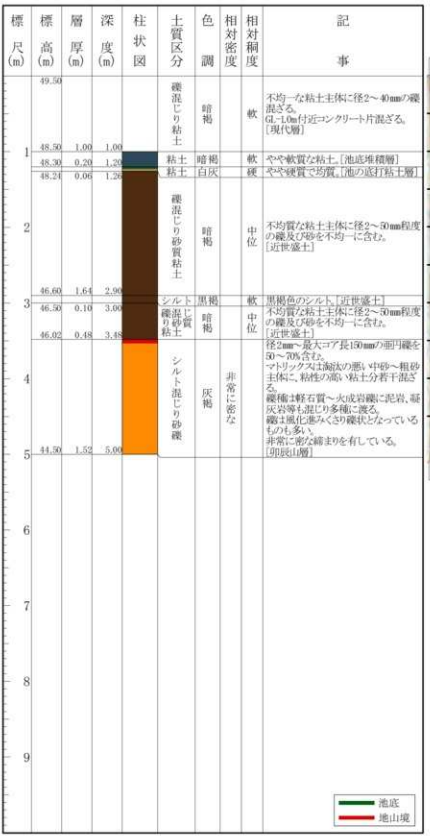
ボーリングコア柱状図　BP－70（S＝1/50Ⅱ）

北緯 36° 33′ 57.9098″
東経136° 39′ 26.8687″

［数寄屋屋敷西鉢巻石垣背面］

ボーリングコア写真

第 209 図　ボーリングコア詳細柱状図 76（BP － 70 地点）

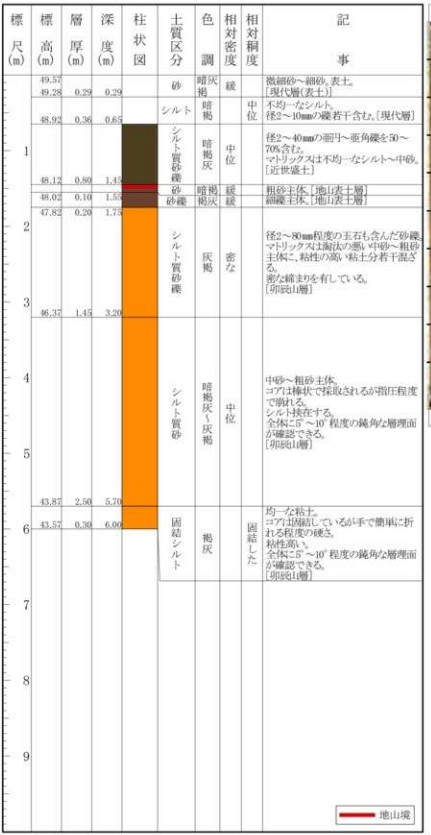


ボーリングコア柱状図　BP－71（S＝1/50H)

[ニノ丸南石垣居間先囲池]

北緯 36° 33' 56.9006"
東経136° 39' 28.2025"

第 210 図　ボーリングコア詳細柱状図 77（BP － 71 地点）



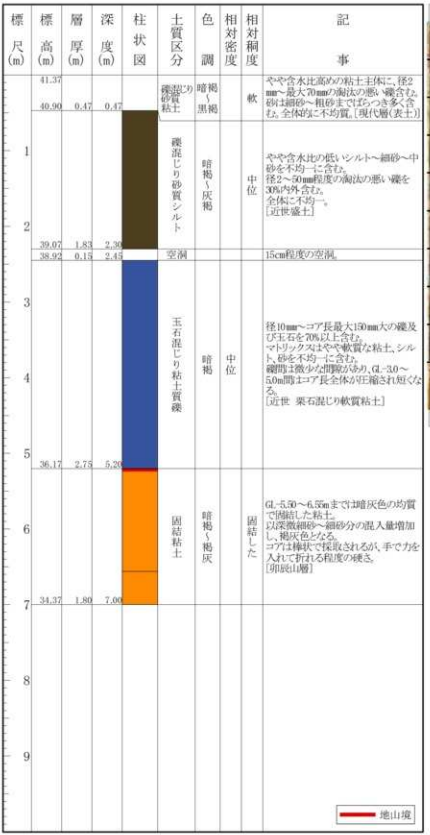
ボーリングコア柱状図　BP－72（S＝1/50H）

北緯 36° 33' 56.5413"
東経 136° 39' 28.7872"

【ニノ丸石垣納戸土蔵東】

ボーリングコア写真

第 211 図　ボーリングコア詳細柱状図 78（BP － 72 地点）



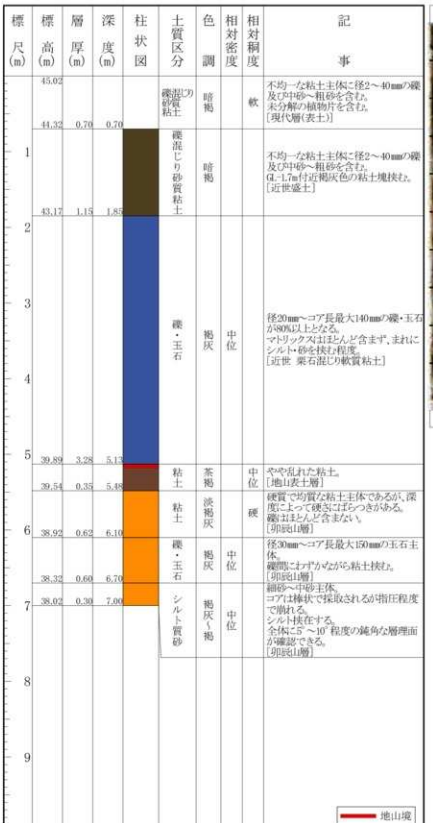
ボーリングコア柱状図　BP－73（S＝1/50H）

【玉泉院丸北石垣雛壇下段背面】

北緯 36° 33′ 56.4935″
東経 136° 39′ 27.7863″

ボーリングコア写真

第 212 図　ボーリングコア詳細柱状図 79（BP － 73 地点）



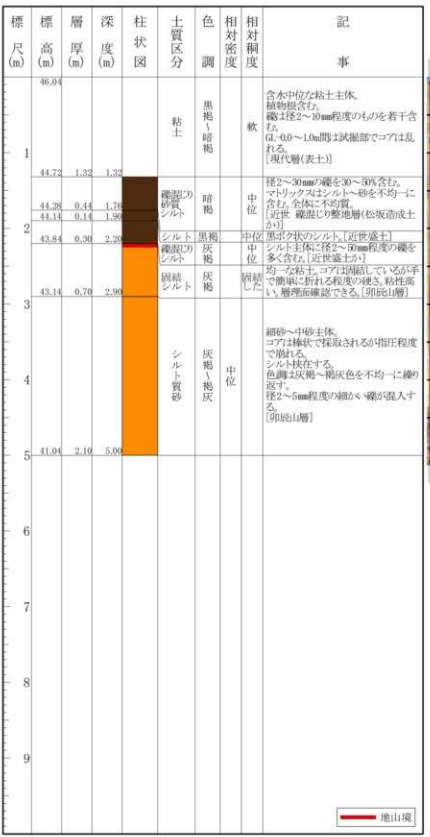
ボーリングコア柱状図　BP－74（S＝1/50H）

【ニノ丸南石垣納戸土蔵下前面】

北緯 36° 35' 56.2395"
東経 136° 39' 28.4252"

ボーリングコア写真

第 213 図　ボーリングコア詳細柱状図 80（BP － 74 地点）



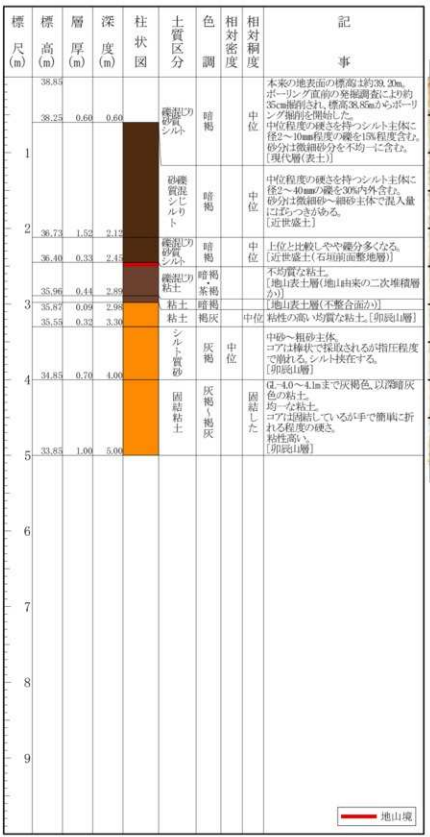
ボーリングコア写真

ボーリングコア柱状図　BP－75（S＝1/50H）

北緯 36° 33' 55.7705"
東経 136° 39' 28.4252"

[ニノ丸石垣松坂門大将櫓下西]

第 214 図　ボーリングコア詳細柱状図 81（BP － 75 地点）



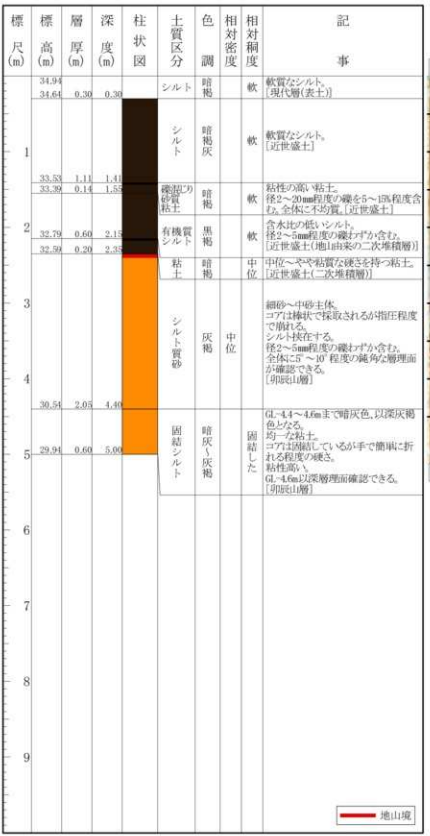
ボーリングコア写真

ボーリングコア柱状図　BP－76（S＝1/50H）

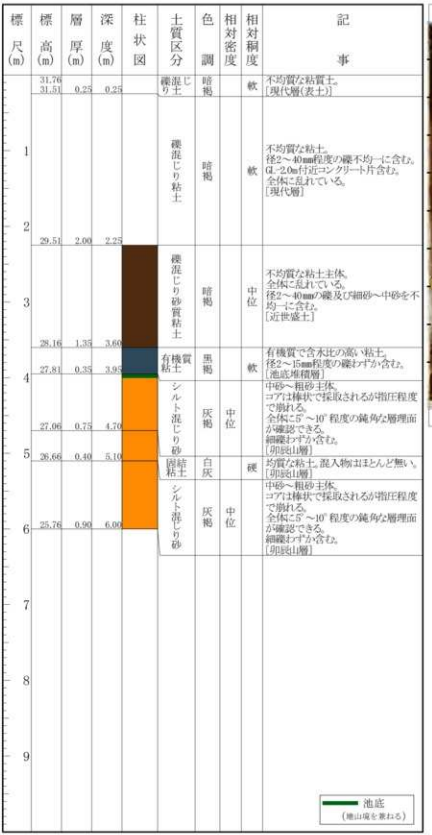
［玉泉院丸北石垣雛壇下段　松坂］

北緯 36° 35′ 56.3650″
東経 136° 39′ 27.6298″

第 215 図　ボーリングコア詳細柱状図 82（BP － 76 地点）



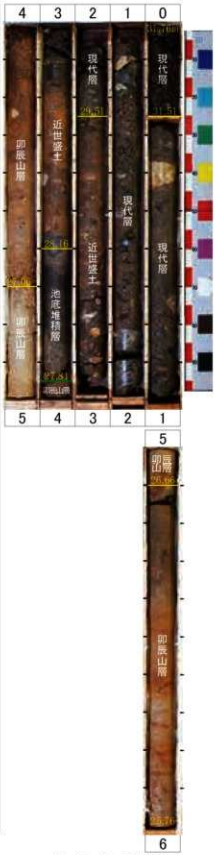
第 216 図　ボーリングコア詳細柱状図 83（BP － 77 地点）



ボーリングコア柱状図　BP－78（S＝1/50H）

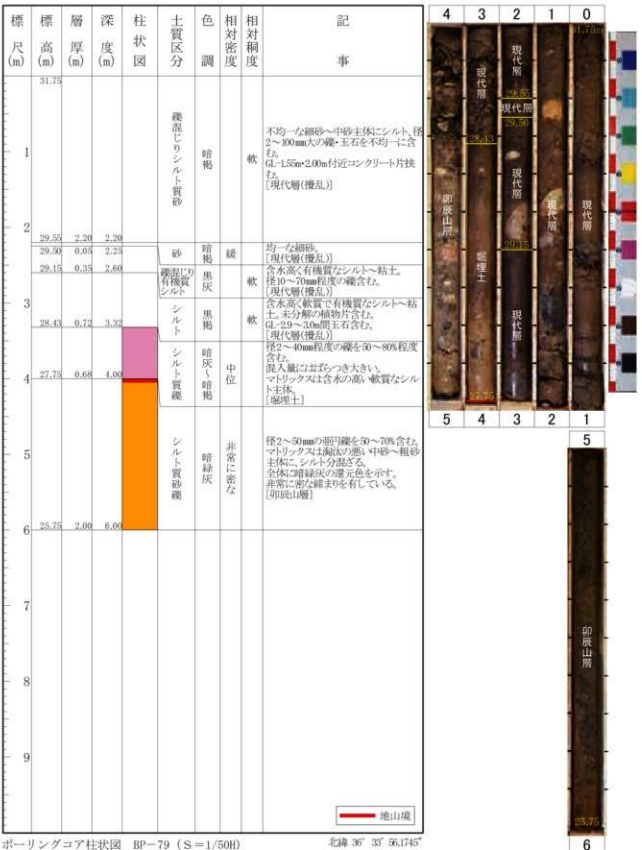
【玉泉院丸北東部　出島東】

北緯 36° 33′ 55.8848″
東経 136° 39′ 27.0608″

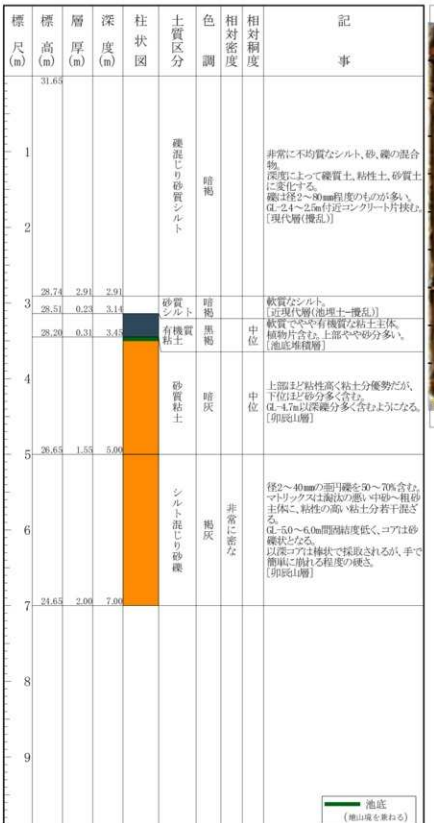


ボーリングコア写真

第 217 図　ボーリングコア詳細柱状図 84（BP － 78 地点）



第 218 図　ボーリングコア詳細柱状図 85（BP － 79 地点）



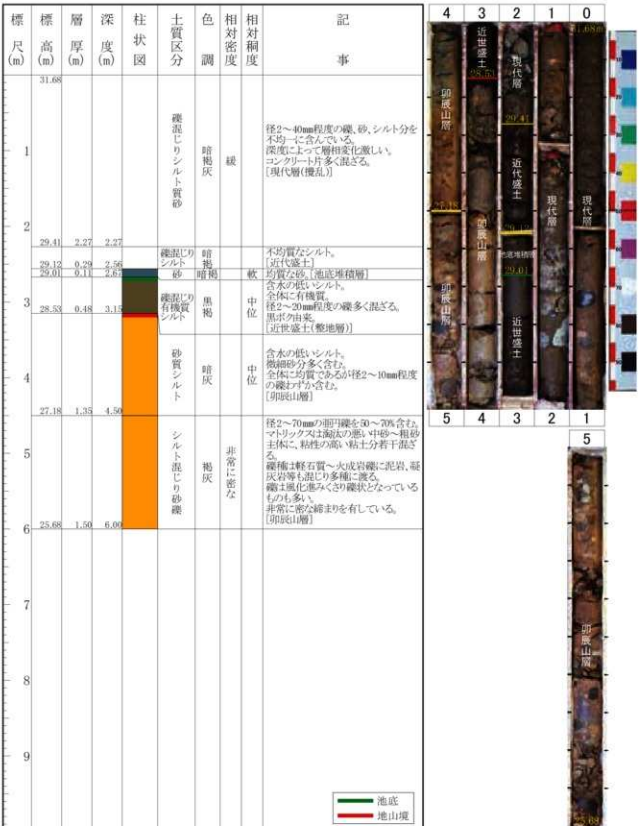
ボーリングコア柱状図　BP－80（S＝1/50H）

[玉泉院丸中央部　北部池]

北緯 36° 33′ 56.3800″
東経 136° 39′ 25.9651″

ボーリングコア写真

第 219 図　ボーリングコア詳細柱状図 86（BP － 80 地点）



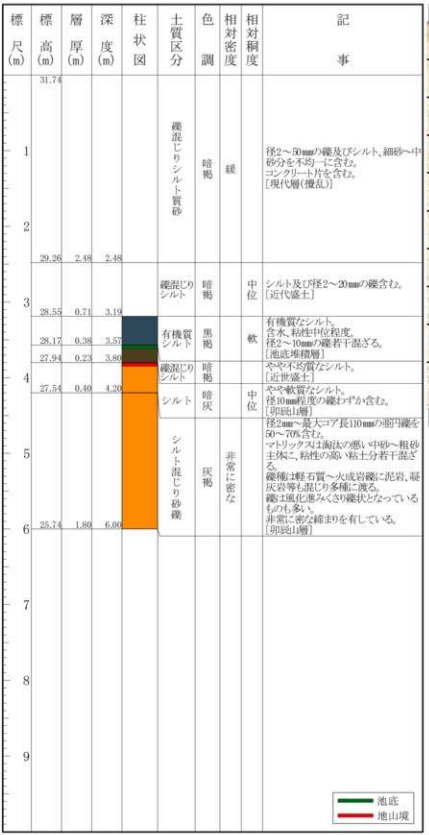
ボーリングコア柱状図　BP－81（S＝1/50H)

[玉泉院丸中央部　紅葉橋南池]

北緯 36° 33′ 56.1792″
東経 136° 39′ 25.7443″

ボーリングコア写真

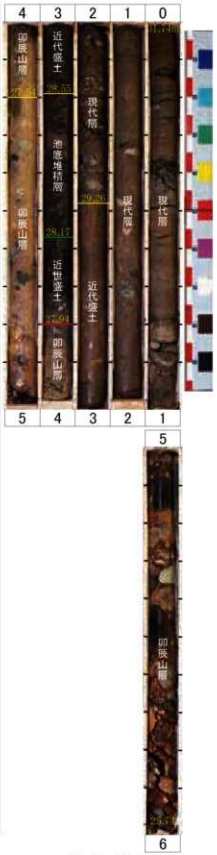
第 220 図　ボーリングコア詳細柱状図 87（BP － 81 地点）



ボーリングコア柱状図　BP－82（S＝1/50Ⅱ）

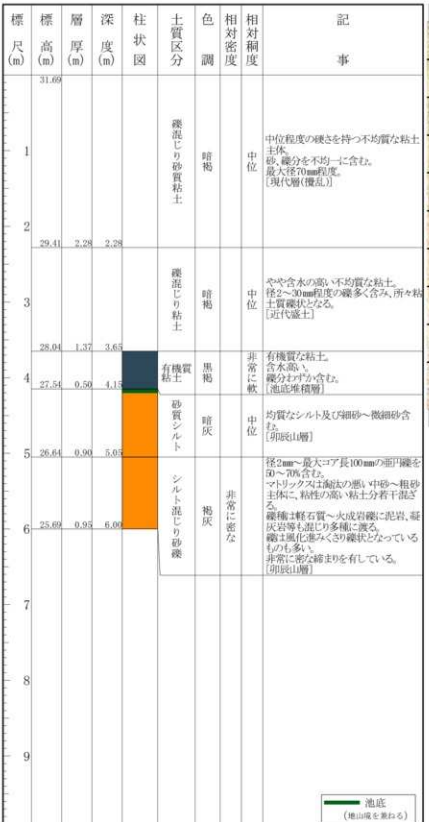
【玉泉院丸中央部　紅葉橋南池】

北緯 36° 33' 56.0229"
東経 136° 39' 25.7053"



ボーリングコア写真

第 221 図　ボーリングコア詳細柱状図 88（BP － 82 地点）



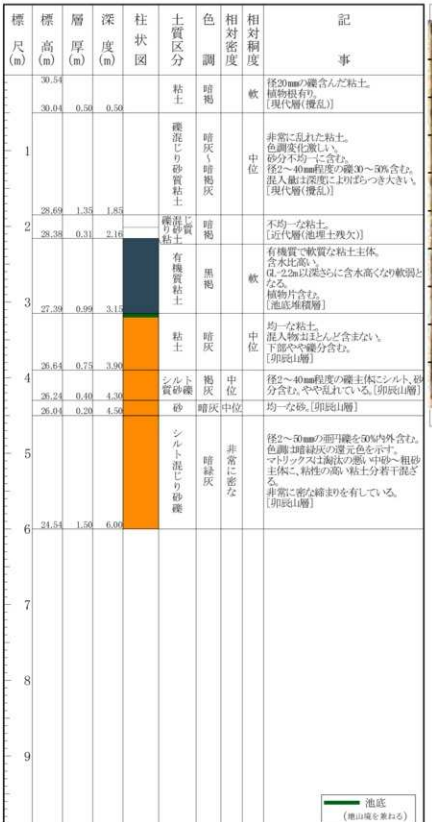
ボーリングコア柱状図　BP－83（S＝1/50H)

北緯 36° 33' 55.6660"
東経 136° 39' 25.4944"

[玉泉院丸中央部　紅葉橋南池]

ボーリングコア写真

第 222 図　ボーリングコア詳細柱状図 89（BP － 83 地点）



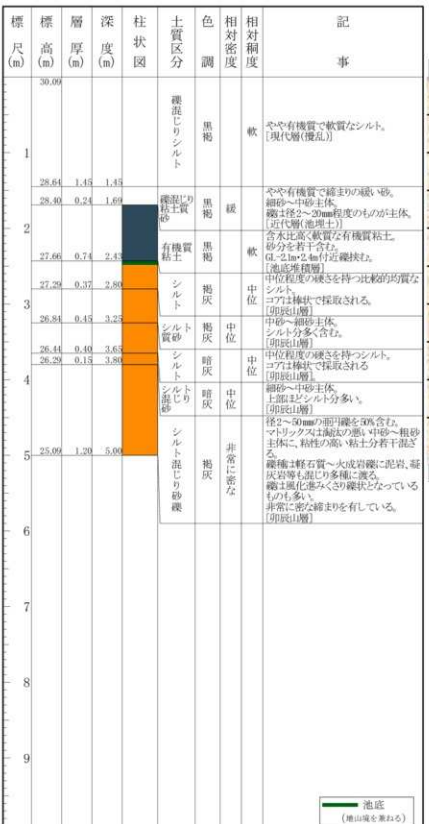
ボーリングコア柱状図　BP－84（S＝1/50H）

北緯 36° 33′ 55.1238″
東経 136° 39′ 26.1146″

【玉泉院丸中央部　池　出島－中島間】

ボーリングコア写真

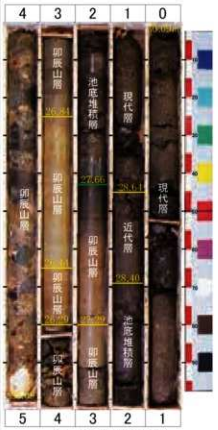
第 223 図　ボーリングコア詳細柱状図 90（BP － 84 地点）



ボーリングコア柱状図　BP－85（S＝1/50H)

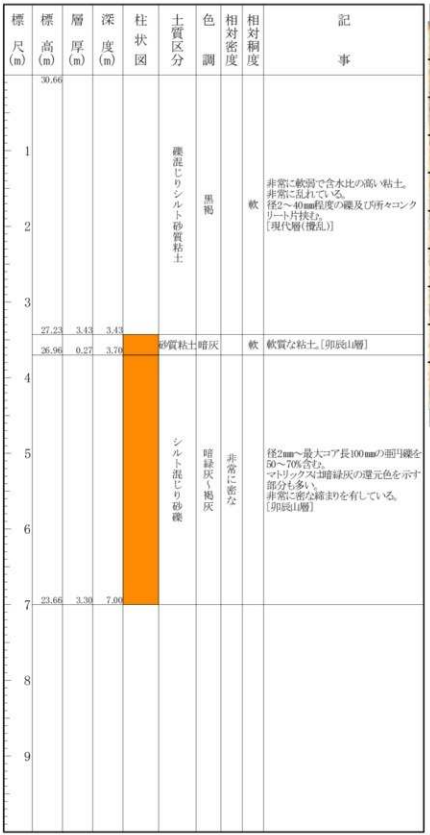
[玉泉院丸南部　池　中島（大）南]

北緯 36° 33' 54.3360"
東経 136° 39' 26.3360"

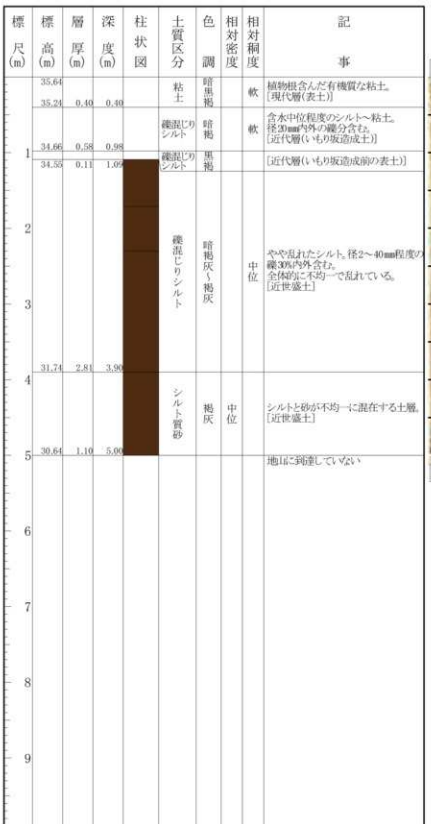


ボーリングコア写真

第 224 図　ボーリングコア詳細柱状図 91（BP － 85 地点）



第 225 図　ボーリングコア詳細柱状図 92（BP － 86 地点）



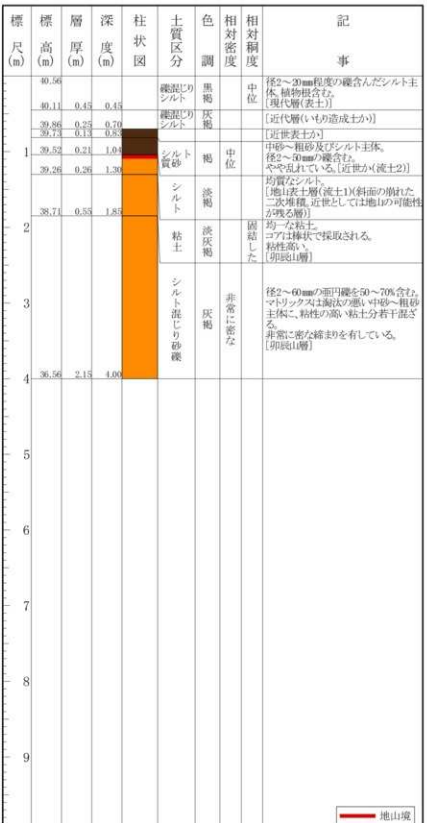
ボーリングコア柱状図　BP－87（S＝1/50H）

[本丸附段西側石垣下段北裾]

北緯 36° 33' 55.0786"
東経 136° 39' 27.9178"

ボーリングコア写真

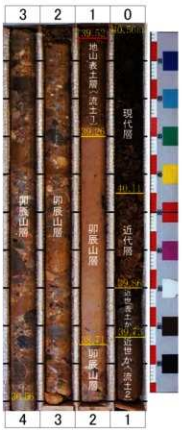
第 226 図　ボーリングコア詳細柱状図 93（BP － 87 地点）



ボーリングコア柱状図　BP－88（S＝1/50H）

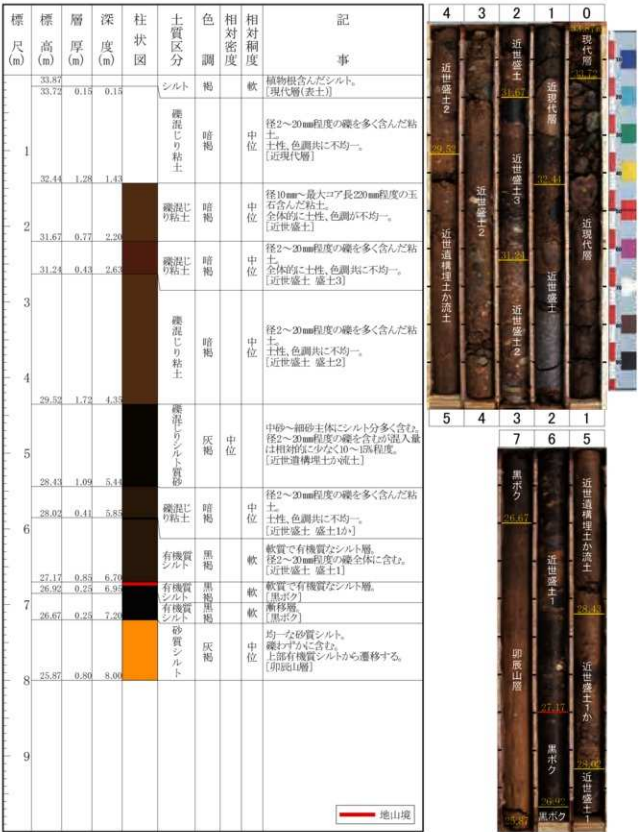
[玉泉院丸東部　東側斜面]

北緯 36° 33' 54.0708"
東経 136° 39' 28.3607"



ボーリングコア写真

第 227 図　ボーリングコア詳細柱状図 94（BP － 88 地点）



ボーリングコア柱状図　BP－89（S＝1/50Ⅱ）

[玉泉院丸北西部　北西土蔵東]

北緯 36° 33′ 57.84″
東経136° 39′ 24.04″

ボーリングコア写真

第 228 図　ボーリングコア詳細柱状図 95（BP － 89 地点）

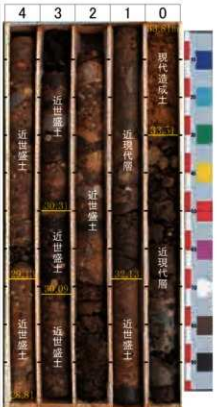
標尺(m)	標高(m)	層厚(m)	深度(m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事
	33.81								
	33.51	0.30	0.30		砂	褐		軟	植物根含んだ砂。 [現代造成土]
1	32.13	1.38	1.68		礫混じり粘土	暗褐		中位	径10～30mmの礫及び<u>シルト</u>。 最大コア長150mm程度のコンクリート片含む。 全体的に土性、色調が不均一。 GL-1.5～1.65m間黒色を呈す。 [近現代層]
2					礫混じり粘土	暗褐		中位	径2～50mm程度の礫を多く含んだ粘土。 土性、色調共に不均一。 [近世盛土]
3	30.31	1.82	3.50						
	30.09	0.22	3.72		礫混じり粘土	暗褐		中位	径2～50mm程度の礫を多く含んだ粘土。土性、色調共に不均一。 GL-3.5～3.65m間黒色を呈す。 [近世盛土]
4					礫混じり粘土	暗褐		中位	径2～50mm程度の礫を多く含んだ粘土。 土性、色調共に不均一。 [近世盛土]
	29.13	0.96	4.68						
	28.81	0.32	5.00		礫混じり粘土	暗褐		中位	径2～50mm程度の礫を多く含んだ粘土。土性、色調共に不均一。 [近世盛土]
5	28.68	0.13	5.13						
					砂				[近世堆積層]
	28.59	0.09	5.22		礫混じり粘土	暗褐		中位	径2～50mm程度の礫を多く含んだ粘土。土性、色調共に不均一。 [近世盛土]
6	27.57	1.02	6.24						GL-5.3～6.3m間マトリックスやや緩く流失する。 [近世盛土 盛土2]
	27.51	0.06	6.30						[近世盛土 盛土1か]
	26.96	0.55	6.85		有機質シルト	黒褐		軟	軟質で有機質なシルト層。 径2～20mm程度の礫わずか含む。 [黒ボク]
7	26.56	0.40	7.25		砂質シルト	灰褐		中位	均一な砂質シルト。 礫わずかに含む。 上部有機質シルトから遷移する。 [卯辰山層]
8	25.81	0.75	8.00		シルト混じり砂礫	灰褐	非常に密な		径2～50mm小円礫を50～70%含む。 最大礫径50mm程度。 マトリックスは細粒の悪い中砂～粗砂主体に、粘性の高い粘土分若干混ざる。 非常に密な締まりを有している。 [卯辰山層]
9									

地山境

ボーリングコア柱状図　BP－90（S＝1/50H）

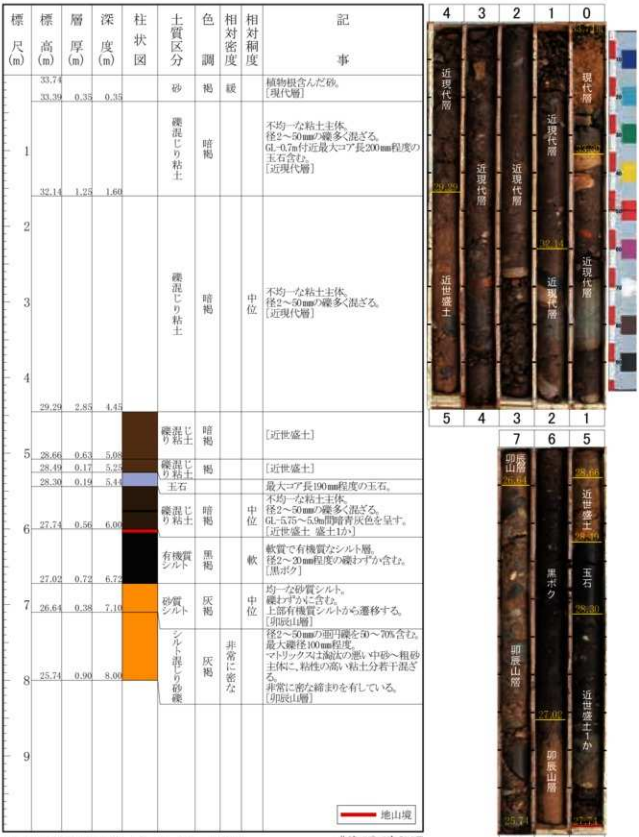
北緯 36° 33′ 57.29″
東経 136° 39′ 24.06″

[玉泉院丸北西部　北西土蔵南東]



ボーリングコア写真

第 229 図　ボーリングコア詳細柱状図 96（BP － 90 地点）



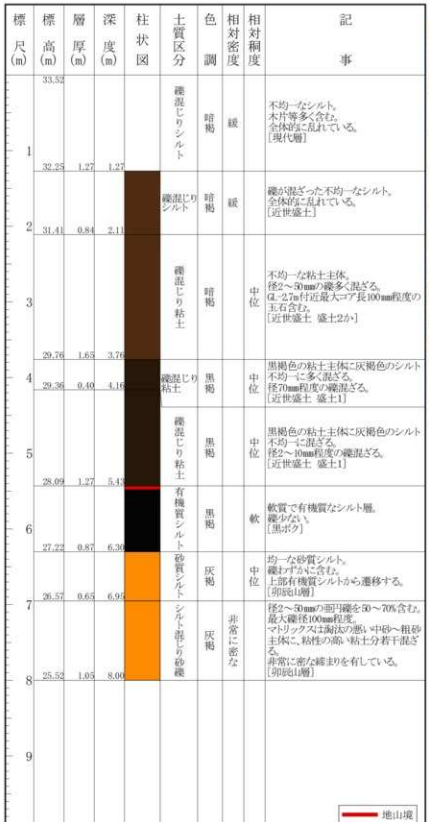
ボーリングコア柱状図　BP－91（S＝1/50Ⅱ）

［玉泉院丸北西部　鼠多門東］

北緯 36° 33′ 56.65″
東経 136° 39′ 24.21″

ボーリングコア写真

第 230 図　ボーリングコア詳細柱状図 97（BP － 91 地点）



ボーリングコア柱状図　BP－92（S＝1/50H）

[玉泉院丸西郎　南土蔵]

北緯 36° 33' 55.2"
東経136° 39' 24.14"

ボーリングコア写真

第 231 図　ボーリングコア詳細柱状図 98（BP － 92 地点）

引用・参考文献

愛知県陶磁資料館2005『桃山陶の華麗な世界』
石川県1997「平成８年度地震調査研究交付金 森本断層系に関する調査成果報告書」
石川県金沢城・兼六園管理事務所 石川県金沢城調査研究所2012『特別名勝兼六園 栄螺山石垣等修復工事報告書』
石川県金沢城調査研究所2008a『金沢城跡埋蔵文化財確認調査報告書Ⅰ』
石川県金沢城調査研究所2008b『戸室石切丁場確認調査報告書Ⅰ』
石川県金沢城調査研究所2008c『絵図でみる金沢城』
石川県金沢城調査研究所2008d『金沢城調査研究所年報１』
石川県金沢城調査研究所2008e『金沢城石垣構築技術史料Ⅰ』
石川県金沢城調査研究所2009a『よみがえる金沢城２』
石川県金沢城調査研究所2009b『金沢城調査研究所年報２』
石川県金沢城調査研究所2009c『金沢城跡玉泉院丸遺構確認調査概報』(現地説明会資料)
石川県金沢城調査研究所2010a『金沢城跡石垣修築工事報告書－玉泉院丸南西石垣－』
石川県金沢城調査研究所2010b『金沢城の三御門－河北門・橋爪門・石川門－』
石川県金沢城調査研究所2010c『金沢城跡玉泉院丸遺構確認調査概報２』(現地説明会資料)
石川県金沢城調査研究所2010d『金沢城調査研究所年報３』
石川県金沢城調査研究所2011a『金沢城石垣構築技術史料Ⅱ』
石川県金沢城調査研究所2011b『金沢城跡－河北門－』
石川県金沢城調査研究所2011c『金沢城跡－二ノ丸内堀・菱櫓・五十間長屋・橋爪門続櫓Ⅰ－』
石川県金沢城調査研究所2011d『金沢城調査研究所年報４』
石川県金沢城調査研究所2012a『金沢城跡－二ノ丸内堀・菱櫓・五十間長屋・橋爪門続櫓Ⅱ－』
石川県金沢城調査研究所2012b『金沢城調査研究所年報５』
石川県金沢城調査研究所2012c『城郭石垣の技術と組織』
石川県金沢城調査研究所2013a『戸室石切丁場確認調査報告書Ⅱ』
石川県金沢城調査研究所2013b『金沢城調査研究所年報６』
石川県金沢城調査研究所2013c『金沢城普請作事史料１』
石川県金沢城調査研究所2014a『金沢城普請作事史料２』
石川県金沢城調査研究所2014b『金沢城跡－石川門付属太鼓塀－』
石川県金沢城調査研究所2014c『金沢城跡埋蔵文化財確認調査報告書Ⅱ』
石川県金沢城調査研究所2014d『金沢城調査研究所年報７』
石川県教育委員会1970『金沢城二ノ丸跡発掘調査概報』
石川県教育委員会1979『金沢市笠舞A遺跡調査報告』
石川県教育委員会1981『金沢市笠舞遺跡』
石川県教育委員会2001『金沢城フォーラム いま甦る金沢城』
石川県教育委員会・(財)石川県埋蔵文化財センター1998『金沢城跡を掘る 1998』
石川県教育委員会・(財)石川県埋蔵文化財センター1999a『金沢城跡を掘る 1999』
石川県教育委員会・(財)石川県埋蔵文化財センター1999b『金沢城跡を掘る 1999』vol.２
石川県教育委員会・(財)石川県埋蔵文化財センター2000『金沢城跡を掘る 2000』
石川県教育委員会・(財)石川県埋蔵文化財センター2001『金沢市 三社町遺跡』
石川県教育委員会・(財)石川県埋蔵文化財センター2002a『金沢市 金沢城跡Ⅰ』
石川県教育委員会・(財)石川県埋蔵文化財センター2002b『金沢市 木ノ新保遺跡』
石川県教育委員会・(財)石川県埋蔵文化財センター2002c『金沢市 経王寺遺跡』
石川県教育委員会・(財)石川県埋蔵文化財センター2002d『金沢市 高岡町一ツ水溜跡』
石川県教育委員会・(財)石川県埋蔵文化財センター2002e『金沢市 前田氏(長種系)屋敷跡』
石川県教育委員会・(財)石川県埋蔵文化財センター2007『金沢市 三社町遺跡』
石川県教育委員会・(財)石川県埋蔵文化財センター2008『七尾市 小島西遺跡』
石川県教育委員会・(財)石川県埋蔵文化財センター2010『金沢市 金沢城跡１』
石川県教育委員会・(財)石川県埋蔵文化財センター2012『金沢市 金沢城跡２－堂形(第３・４次調査) －』
石川県教育委員会・(公財)石川県埋蔵文化財センター2014a『石川県金沢市 金沢城下町遺跡(丸の内７番地点)』
石川県教育委員会・(公財)石川県埋蔵文化財センター2014b『金沢市 小立野ユミノマチ遺跡』
石川県教育委員会・(公財)石川県埋蔵文化財センター2014c『金沢市 金沢城跡３一堂形(第５次調査) －』
石川県教育委員会文化財課1969『重要文化財金沢城 石川門・三十間長屋保存修理工事報告書』
石川県教育委員会事務局文化財課「いしかわ文化財ナビ」[http://www.bunkazainavi.pref.ishikawa.lg.jp/] (2015/03/17参照)
石川県教育委員会事務局文化財課金沢城研究調査室2003a『年報１』

石川県教育委員会事務局文化財課金沢城研究調査室2004a『年報２』
石川県教育委員会事務局文化財課金沢城研究調査室2004b『御造営方日並記』上巻
石川県教育委員会事務局文化財課金沢城研究調査室2005a『年報３』
石川県教育委員会事務局文化財課金沢城研究調査室2005b『御造営方日並記』下巻
石川県教育委員会事務局文化財課金沢城研究調査室2005c『金沢城フォーラム 記録集 石垣の匠と技』
石川県教育委員会事務局文化財課金沢城研究調査室2006a『金沢城跡Ⅱ』
石川県教育委員会事務局文化財課金沢城研究調査室2006b『よみがえる金沢城１』
石川県教育委員会事務局文化財課金沢城研究調査室2006c『金沢東照宮(尾崎神社)の研究』
石川県教育委員会事務局文化財課金沢城研究調査室2006d『年報４』
石川県教育委員会事務局文化財課金沢城研究調査室2007a『年報５』
石川県教育委員会事務局文化財課金沢城研究調査室2007b『金沢城代と横山家文書の研究』
石川県教育委員会文化課・金沢御堂金沢城調査委員会1991『金沢御堂・金沢城調査報告書Ⅰ』文献史料編(２分冊)
石川県土木部営繕課2001『金沢城公園菱櫓・五十間長屋・橋爪門続櫓等復元工事報告書』
石川県埋蔵文化財センター1984『普正寺遺跡』
石川県立埋蔵文化財センター1987『金沢市 笠舞A遺跡(Ⅲ)』
石川県立埋蔵文化財センター1990『元菊町遺跡』
石川県立埋蔵文化財センター1992『特別名勝 兼六園(江戸町推定地)発掘調査報告－附 本多家上屋敷跡試掘調査報告－』
石川県立埋蔵文化財センター1996『金沢城跡車橋門発掘調査報告書』
石川県立埋蔵文化財センター1997a『金沢城跡石川門前土橋(通称石川橋)発掘調査報告書Ⅰ』
石川県立埋蔵文化財センター1997b「中戸遺跡」『石川県立埋蔵文化財センター年報』第17号
石川県立埋蔵文化財センター1998『金沢城跡石川門前土橋(通称石川橋)発掘調査報告書Ⅱ』
(財)石川県埋蔵文化財センター2001『年報２(平成11年度)』
伊藤さやか2004「金沢城跡」『石川県埋蔵文化財情報』第12号 (財)石川県埋蔵文化財センター
伊藤さやか2005「金沢城跡」『石川県埋蔵文化財情報』第14号 (財)石川県埋蔵文化財センター
稲垣重之・六川啓太2006「金沢市銚子町 表面採集遺物の紹介」『石川考古』第287号
井上鋭夫1969『金沢城跡の発掘』金沢大学金沢城学術調査委員会
上野佳也1976「金沢城四十間長屋跡発掘調査概報」『日本海文化』No. 3 金沢大学法文学部日本海文化研究室
魚水 環2012「金沢城下町遺跡(丸の内７番地点)」『石川県埋蔵文化財情報』第27号 (財)石川県埋蔵文化財センター
江戸遺跡研究会2001『図説 江戸考古学研究辞典』柏書房
(公財)大阪市博物館協会 大阪文化財研究所2014『大阪市文化財情報 華火』168号
岡本 晃1975「金沢市笠舞B遺跡」『石川考古学研究会々誌』第18号 石川考古学研究会
小野健吉2004『岩波 日本庭園辞典』岩波書店
小野正敏1985「出土陶磁器よりみた15・16世紀における画期の素描」『ＭＵＳＥＵＭ』416号 東京国立博物館
小川 望2008『焼塩壺と近世の考古学』同成社
小川望・小林克・両角まり編2007『考古学が語る日本の近現代』同成社
学習院大学史料館編2006『写真集 明治の記憶』吉川弘文館
加藤克郎2001「金沢城跡」『石川県埋蔵文化財情報』第６号 (財)石川県埋蔵文化財センター
加藤克郎2009「金沢城跡」『石川県埋蔵文化財情報』第22号 (財)石川県埋蔵文化財センター
金沢市(金沢市埋蔵文化財センター)2002『石川県金沢市 彦三町遺跡』
金沢市(金沢市埋蔵文化財センター)2003a『石川県金沢市 昭和町遺跡Ⅱ』
金沢市(金沢市埋蔵文化財センター)2003b『石川県金沢市 高岡町遺跡Ⅱ』
金沢市(金沢市埋蔵文化財センター)2003c『石川県金沢市 本町一丁目遺跡Ⅲ』
金沢市(金沢市埋蔵文化財センター)2003d『野田山墓地』
金沢市(金沢市埋蔵文化財センター)2003e『石川県金沢市 大桑ジョウデン遺跡１』
金沢市(金沢市埋蔵文化財センター)2003f『石川県金沢市 田上北遺跡・田上東遺跡』
金沢市(金沢市埋蔵文化財センター)2004a『石川県金沢市 昭和町遺跡Ⅲ』
金沢市(金沢市埋蔵文化財センター)2004b『石川県金沢市 広坂遺跡(１丁目)Ⅰ(測量図編)』
金沢市(金沢市埋蔵文化財センター)2004c『石川県金沢市 久昌寺遺跡』
金沢市(金沢市埋蔵文化財センター)2004d『石川県金沢市 大桑ジョウデン遺跡２』
金沢市(金沢市埋蔵文化財センター)2004e『石川県金沢市 若松遺跡－田上遺跡群３－』
金沢市(金沢市埋蔵文化財センター)2005a『石川県金沢市 片町二丁目遺跡』
金沢市(金沢市埋蔵文化財センター)2005b『石川県金沢市 広坂遺跡(１丁目)Ⅱ(古代・中世編、測量図編２)』
金沢市(金沢市埋蔵文化財センター)2005c『石川県金沢市 木ノ新保遺跡Ⅱ』
金沢市(金沢市埋蔵文化財センター)2005d『平成16年度 金沢市埋蔵文化財調査年報』
金沢市(金沢市埋蔵文化財センター)2005e『石川県金沢市 崎２丁目遺跡』
金沢市(金沢市埋蔵文化財センター)2005f『石川県金沢市 田上西遺跡２』

金沢市(金沢市埋蔵文化財センター) 2006a『石川県金沢市 市内遺跡発掘調査報告書Ⅲ』
金沢市(金沢市埋蔵文化財センター) 2006b『石川県金沢市 広坂遺跡(１丁目)Ⅲ(近世編１)』
金沢市(金沢市埋蔵文化財センター) 2006c『石川県金沢市 本町一丁目遺跡Ⅳ』
金沢市(金沢市埋蔵文化財センター) 2006d『石川県金沢市 山科やなした遺跡 山科かなした遺跡』
金沢市(金沢市埋蔵文化財センター) 2006f『石川県金沢市 田上南遺跡１』
金沢市(金沢市埋蔵文化財センター) 2007a『石川県金沢市 兼六元町遺跡 彦三町一丁目遺跡』
金沢市(金沢市埋蔵文化財センター) 2007b『石川県金沢市 下堤・青草町遺跡』
金沢市(金沢市埋蔵文化財センター) 2007c『石川県金沢市 広坂遺跡(１丁目)Ⅳ(近世編２)』
金沢市(金沢市埋蔵文化財センター) 2008a『石川県金沢市 金沢城惣構跡Ⅰ～西外惣構跡・東内惣構跡発掘調査報告書～』
金沢市(金沢市埋蔵文化財センター) 2008b『野田山・加賀藩主前田家墓所調査報告書』
金沢市(金沢市埋蔵文化財センター) 2009a『平成20年度 金沢市埋蔵文化財調査年報』
金沢市(金沢市埋蔵文化財センター) 2009b『辰巳用水調査報告書』
金沢市(金沢市埋蔵文化財センター) 2009c『石川県金沢市 広坂遺跡(１丁目)Ⅴ(金沢能楽美術館地点)』
金沢市(金沢市埋蔵文化財センター) 2009d『石川県金沢市 田上南遺跡２』
金沢市(金沢市埋蔵文化財センター) 2010a『平成21年度 金沢市埋蔵文化財調査年報 』
金沢市(金沢市埋蔵文化財センター) 2010b『石川県金沢市 東山一丁目遺跡』
金沢市(金沢市埋蔵文化財センター) 2011a『平成22年度 金沢市埋蔵文化財調査年報』
金沢市(金沢市埋蔵文化財センター) 2011b『石川県金沢市 金沢城惣構跡Ⅱ～西内惣構跡(主計町地点)発掘調査報告書～』
金沢市(金沢市埋蔵文化財センター) 2011c『石川県金沢市 金沢城惣構跡Ⅲ～西外惣構跡(武蔵町地点)発掘調査報告書 ～』
金沢市(金沢市埋蔵文化財センター) 2011d『石川県金沢市 土清水塩硝蔵跡調査報告書』
金沢市(金沢市埋蔵文化財センター) 2012a『本多家上屋敷関連遺構調査報告書』
金沢市(金沢市埋蔵文化財センター) 2012b『石川県金沢市 金沢城下町遺跡(本多町三丁目地点)』
金沢市(金沢市埋蔵文化財センター) 2012c『野田山・加賀八家墓所調査報告書』
金沢市(金沢市埋蔵文化財センター) 2012d『石川県金沢市 金沢城惣構跡Ⅳ 金沢城下町遺跡(西外惣構跡升形地点)発掘調査報告書 遺構編』
金沢市(金沢市埋蔵文化財センター) 2013a『石川県金沢市 小立野四丁目遺跡―天徳院前田家墓所―』
金沢市(金沢市埋蔵文化財センター) 2013b『石川県金沢市 金沢城惣構跡Ⅴ 金沢城下町遺跡(西外惣構跡升形地点)発掘調査報告書 遺物編』
金沢市(金沢市埋蔵文化財センター) 2014『石川県金沢市 金沢城惣構跡Ⅵ 東内惣構跡(枯木橋南地点)発掘調査報告書』
金沢市・金沢市教育委員会1991『甕窯町遺跡』
金沢市・金沢市教育委員会1994『金沢市三小牛ハバ遺跡』
金沢市・金沢市教育委員会1995『金沢市本町一丁目遺跡』
金沢市・金沢市教育委員会1997『宮江町遺跡』
金沢市教育委員会1989『金沢市笠舞A遺跡Ⅳ―第５・６次発掘調査報告―』
金沢市教育委員会1997『金沢市本町一丁目遺跡Ⅱ 鍛冶片原地点』
金沢市教育委員会(金沢市埋蔵文化財センター) 2000a『石川県金沢市 田上本町遺跡』
金沢市教育委員会(金沢市埋蔵文化財センター) 2000b『石川県金沢市 田上西遺跡』
金沢市教育委員会(金沢市埋蔵文化財センター) 2001a『金沢市醒ヶ井遺跡』
金沢市教育委員会(金沢市埋蔵文化財センター) 2001b『金沢市昭和町遺跡Ⅰ』
金沢市教育委員会(金沢市埋蔵文化財センター) 2001c『金沢市高岡町遺跡Ⅰ』
金沢市教育委員会(金沢市埋蔵文化財センター) 2001d『石川県金沢市 笠舞A遺跡Ⅴ』
金沢市教育委員会(金沢市埋蔵文化財センター) 2001e『石川県金沢市 大桑アナグチ遺跡』
金沢市史編さん委員会1999「16 田上遺跡」『金沢市史』資料編19考古 金沢市
金沢市埋蔵文化財センター 1998『長田町遺跡 長町遺跡 穴水町遺跡』
金沢市埋蔵文化財センター 1999『下本多町遺跡』
金沢市役所1973『橘本 金澤市史』市街編第四 名著出版
金沢市立玉川図書館2003『温故集録』一 金沢市図書館叢書(四)
金沢大学金沢城学術調査委員会1967『金沢城 その自然と歴史』金沢大学生活協同組合
金沢大学埋蔵文化財調査センター 2000『金沢大学文化財学研究』2
金沢大学埋蔵文化財調査センター 2001・2002『金沢大学文化財学研究』3・4
金沢大学埋蔵文化財調査センター 2003『金沢大学文化財学研究』5
金沢御堂・金沢城調査委員会1993『金沢城跡 金沢城跡遺構実態調査概要報告書』石川県教育委員会
木越隆三2003「元和～寛文期の金沢城修築について」『研究紀要 金沢城研究』創刊号 金沢城研究調査室
木越隆三2004「金沢城全城絵図の編年と分類」『研究紀要 金沢城研究』第２号 金沢城研究調査室
木越隆三2005a「金沢城の地割図と二の丸御殿絵図」『研究紀要 金沢城研究』第３号 金沢城研究調査室
木越隆三2005b「金沢城下 内惣構築造時期について」『陶磁器の社会史』桂書房

木越隆三2007「近世後期、石垣構築技術「秘伝」の形成過程」『研究紀要　金沢城研究』第５号　金沢城研究調査室
木越隆三2008「後藤彦三郎の石垣技術書と初期秘伝の読み方」『金沢城石垣構築技術史料Ⅰ』石川県金沢城調査研究所
木越隆三2013「金沢の惣構創建年次を再検証する」『日本歴史』第780号　日本歴史学会
北垣聰一郎1987『石垣普請』法政大学出版局
北野博司1999「［発掘余話］金沢城跡五十間長屋出土の「鍬始」刻石」『石川県埋蔵文化財情報』第２号
（財）石川県埋蔵文化財センター
北野博司2000「［発掘余話］金沢城跡五十間長屋出土の「鍬始」刻石」『石川県埋蔵文化財情報』第３号
（財）石川県埋蔵文化財センター
北野博司2003「金沢城石垣の変遷Ⅰ」『研究紀要　金沢城研究』創刊号　金沢城研究調査室
北野博司2004「金沢城石垣の変遷Ⅱ」『研究紀要　金沢城研究』第２号　金沢城研究調査室
九州近世陶磁学会2000『九州陶磁の編年　九州近世陶磁学会10周年記念』
九州近世陶磁学会2008『江戸後期における庶民向け陶磁器の生産と流通（東海・北陸・甲信越編）』
久保智康2005「日本海域をめぐる赤瓦」『日本海域歴史体系』第四巻　近世篇Ⅰ　清文堂
熊谷葉月1999「金沢城跡（三の丸東調査区）」『石川県埋蔵文化財情報』創刊号　（財）石川県埋蔵文化財センター
熊谷葉月2013「金沢城跡」『石川県埋蔵文化財情報』第30号　（公財）石川県埋蔵文化財センター
経済企画庁1969『土地分類基本調査　地形・表土地表・土じょう　金沢　５万分の１』
小泉　弘1987『江戸の考古学』ニューサイエンス社
国土地理院2002「金沢南方の段丘面編年と変動地形」『国土地理院時報』No. 99
小嶋芳孝1978「金沢市長坂古墳群の研究」『石川県立郷土資料館紀要』第９号　石川県立郷土資料館
小嶋芳孝1979「北加賀地域古墳群分布調査報告―石川県主要古墳群分布調査第３年度―」『石川考古学研究会々誌』第22号
石川県考古学研究会
後藤純一1996「上水施設の釘に関する一考察」『汐留遺跡』汐留地区遺跡調査会
斎藤　進1997「汐留遺跡における上水施設について」『汐留遺跡（第１分冊）－旧汐留貨物駅跡地内の調査－』
東京都埋蔵文化財センター
桜井準也2006『ガラス瓶の考古学』六一書房
佐々木達夫1980「金沢城跡の発掘－一九七九年－」『日本海文化』No. 7　金沢大学文学部日本海文化研究室
佐々木達夫1981「金沢城跡の発掘－1977年－」『金沢大学日本海城研究所報告』第13号
貞末堯司・石崎俊哉・前田清彦1986「金沢城の発掘－1981－藤右衛門丸北側法面裾部発掘報告」『金沢大学日本海城研究所
報告』第18号
貞末堯司・前田清彦・児玉剛1989「金沢城の発掘－1986年－黒門横北側整崖部発掘調査報告」『日本海文化』No. 15
金沢大学文学部日本海文化研究室
寒川　旭1986「寛政11年(1799年)金沢地震による被害と活断層」『地震』第２輯　第39巻
下郷　稔1997『兼六園築庭の歴史』『特別名勝兼六園』　橋本確文堂
白峰　旬1998『日本近世城郭史の研究』校倉書房
正見　泰2006「金沢城本丸櫓群の図面について―辰巳櫓・三階櫓の図面類の検証―」『研究紀要　金沢城研究』第４号
金沢城研究調査室
庄田知充2012「金沢・城と城下町の調査成果」『考古学ジャーナル』No. 623　ニューサイエンス社
瀬戸　薫2000「『北信愛覚書』について－天正十五年の金沢城－」『加能史料研究』第12号　石川県地域史研究振興会
(財)瀬戸内文化振興財団2006『江戸時代の瀬戸・美濃－三都と名古屋－』
(財)瀬戸内文化振興財団2011『瀬戸・美濃窯の近代－生産と流通－』
(財)瀬戸内文化振興財団埋蔵文化財センター2007『窯跡出土の“近代陶磁”－瀬戸・美濃窯の近代１－』
(財)瀬戸内文化振興財団埋蔵文化財センター2008『東京・小田原出土の“近代陶磁”－瀬戸・美濃窯の近代２－』
(財)瀬戸内文化振興財団埋蔵文化財センター2009『せともの百年史－中部地方出土の近代陶磁　瀬戸・美濃窯の近代３－』
(財)瀬戸内文化振興財団埋蔵文化財センター2010『関西出土の近代陶磁－瀬戸・美濃窯の近代４－』
瀬戸市歴史民俗資料館2002『大正２年のせともの屋』
千田嘉博2000『織豊系城郭の形成』東京大学出版会
高沢裕一監修1989『加賀藩御細工所の研究(一)』金沢美術工芸大学美術工芸研究所
高沢裕一監修1993『加賀藩御細工所の研究(二)』金沢美術工芸大学美術工芸研究所
高堰勝喜編1983『加賀辰巳用水－辰巳ダム関係文化財等調査報告書－』辰巳ダム関係文化財等調査団
田川捷一1980「金沢と尾山の地名について」『北陸史学』第29号　北陸史学会
滝川重徳1999「金沢城跡（本丸附段調査区）」『石川県埋蔵文化財情報』創刊号　（財）石川県埋蔵文化財センター
滝川重徳2000「金沢城跡（五十間長屋調査区）」『石川県埋蔵文化財情報』第３号　（財）石川県埋蔵文化財センター
竹間芳明1999「金沢御堂の再考」『加能史料研究』第11号　石川県地域史研究振興会
田中徳英1996「宝暦大火後の金沢城再建における造営組織について」『日本建築学会計画系論文集』480号
田中徳英2005「金沢城二の丸御殿の用途による部屋の構成」『研究紀要　金沢城研究』第３号　金沢城研究調査室
田中徳英2008『加賀藩大工の研究』桂書房

土田友信2000「金沢城跡」『石川県埋蔵文化財情報』第４号　(財)石川県埋蔵文化財センター
出越茂和2006「金沢城五十間長屋石垣銀始に係る神具結について－金沢市波自加弥神社所蔵神具机裏書の調査－」『研究紀要 金沢城研究』第４号　金沢城研究調査室
東京大学埋蔵文化財調査室2006『東京大学埋蔵文化財調査室発掘調査報告書７ 東京大学本郷構内の遺跡 工学部14号館地点』
東郷正美・池田安隆・今泉俊文・澤祥・平野信一1998「森本－富樫断層帯の詳細位置と活動性について」『活断層研究』17号
栃木英道1998「金沢城跡」『石川県立埋蔵文化財センター年報』19号　石川県立埋蔵文化財センター
富木町1977「富木町史 通史編」
冨田和気夫・湊屋玲美2002「金沢城跡」『石川県埋蔵文化財情報』第７号　(財)石川県埋蔵文化財センター
冨山正明1993「福井県興行寺遺跡出土の陶磁器」『貿易 陶磁研究』No.13　日本貿易陶磁研究会
長山直治2006『兼六園を読み解く―その歴史と利用―』桂書房
成瀬晃司1997「江戸遺跡出土資料による磁器碗・皿の変遷－文様､銘款を中心に－」『東京大学構内遺跡調査研究年報１』東京大学埋蔵文化財調査室
中村洋介・金幸隆・岡田篤正・竹村恵二2003「金沢市街地における河成段丘の形成時期と森本-富樫断層帯野町撓曲の第四紀後期における上下変異速度」『活断層研究』23号
中村洋介・宮谷淳史・岡田篤正2006「森本－富樫断層における平均上下変位速度分布」『活断層研究』26号
二宮麻里2012「江戸初期から昭和初期(1657年～ 1931年)の灘酒造家と東京酒問屋との取引関係の変化」『福岡大学商学論叢』第57巻第１・２号
二宮麻里2013「明治期から大正期における灘酒造業－問屋依存型販売からの脱却と新興商人の酒流通への参入－」『福岡大学商学論叢』第57巻第３・４号
日本海文化研究室編1976『金沢城郭史料』日本海文化叢書第三巻　金沢大学法文学部日本海文化研究室
沼田啓太郎1976「金沢市大桑町中平遺跡報告」『石川考古学研究会々誌』第19号　石川考古学研究会
林　大智2008「金沢城跡」『石川県埋蔵文化財情報』第19号　(財)石川県埋蔵文化財センター
日置　謙1956「改訂増補　加能郷土辞彙」北國書籍印刷
藤　則雄1975「河岸段丘」『金沢周辺の第四系と遺跡』
藤　則雄1983「辰巳用水とその周辺の自然環境」『加賀辰巳用水－辰巳ダム関係文化財等調査報告書－』辰巳ダム関係文化財等調査団
藤　則雄1999「金沢城跡「百間堀」の断層とその周辺の地形」『北陸の考古学Ⅲ』石川考古学研究会々誌第42号　石川考古学研究会
藤澤良祐1993『瀬戸市史』陶磁史篇四　瀬戸市史編纂委員会
北陸中世考古学研究会2006『中世北陸のカワラケと輸入陶磁器・瀬戸美濃製品』
堀内秀樹1997「東京大学本郷構内の遺跡における年代的考察」『東京大学構内遺跡調査研究年報１』東京大学埋蔵文化財調査室
増山　仁1999「金沢城跡」『金沢市史』資料編19考古　金沢市史編さん委員会
三浦純夫1994「金沢城本丸跡の石造遺物」『金沢大学 資料館だより』№.５　金沢大学資料館
三浦純夫1997「金沢城御宮跡出土の石造遺物」『金沢大学 資料館だより』№.９　金沢大学資料館
三浦ゆかり1999「金沢城跡いもり堀発掘調査」『石川県埋蔵文化財情報』第２号　(財)石川県埋蔵文化財センター
見瀬和雄2000「金沢城の創建と前田利家」『石川県史だより』第39号　石川県立図書館史料編さん室
湊屋玲美・土田友信2001「金沢城跡」『石川県埋蔵文化財情報』第５号　(財)石川県埋蔵文化財センター
湊屋玲美・土田友信他2001「金沢城跡」『石川県埋蔵文化財情報』第６号　(財)石川県埋蔵文化財センター
森　毅1992「16世紀後半から17世紀初頭の陶磁器」『難波宮址の研究』第九　(財)大阪市文化財協会
森島康雄2003「中世末から近世初頭の土器・陶磁器」『日本考古学協会2003年滋賀大会資料集』日本考古学協会2003年滋賀大会実行委員会
文部科学省研究開発局地震・防災研究課　地震調査研究推進本部地震調査委員会2014『森本・富樫断層帯の長期評価(一部改訂)』[http://www.jishin.go.jp/main/p_hyoka02_danso.htm#57](2015/03/13参照)
谷口明伸・増山 仁2004「前田土佐守家の下屋敷と醒ヶ井遺跡」『研究紀要』第１号　(財)金沢文化振興財団
吉岡康暢1985「金沢城の発掘」『金沢城と前田氏領内の諸城』日本城郭史研究叢書 第五巻　名著出版
吉田純一2003「金沢城の『三階御櫓』」『研究紀要 金沢城研究』創刊号　金沢城研究調査室

報告書抄録

ふりがな	かなざわじょうあと　－ぎょくせんいんまるていえんいち－
書名	金沢城跡　－玉泉院丸庭園Ⅰ－
副書名	金沢城史料叢書24
シリーズ名	金沢城公園整備事業に係る埋蔵文化財調査報告書
シリーズ番号	8
編著者名	安中玲美、冨田和気夫、増永佑介、本田秀生、石野友康、藤根　久、鈴木　茂、森　将志、佐々木由香、パンダリ スダルシャン、黒沼保子
編集機関	石川県金沢城調査研究所
所在地	〒920-0918　石川県金沢市尾山町10－5
発行年月日	平成27年３月31日

ふりがな	ふりがな	コード		北緯	東経	発掘期間	発掘面積	発掘原因
所収遺跡名	所在地	市町村	遺跡番号	° ′ ″	° ′ ″		(㎡)	
かなざわじょうあと 金沢城跡	いしかわけん 石川県 かなざわしまるのうち 金沢市丸の内	01	01215	36° 33′ 58″	136° 39′ 35″	20081001～ 20081212	23	活用目的調査
						20090511～ 20091222	600	
						20090630～ 20130830 (ボーリング調査等)		

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
金沢城跡	城館	近世	石垣、堀、池、土坑、ピット等	陶磁器、瓦、石製品、金属製品、木製品	

要約

金沢城跡玉泉院丸の整備計画策定の基礎資料とするため、藩政期に存在した庭園遺構の範囲・内容・保存状態等の確認を目的に、発掘調査等を実施した。本書では平成20・21年度(第１～３地点)の発掘調査結果と、主に平成21～25年度に行われたボーリング調査結果等を報告した。

玉泉院丸北部の第１地点では、池跡、東岸の石垣根石、作庭以前の堀跡等の一部を確認し、玉泉院丸北部の池が作庭以前の堀を利用し構築されたこと、東岸の石垣が作庭時に構築されたこと等が明らかになった。

玉泉院丸西部の第２地点・第３地点では、池跡、護岸の石垣、中島(大)、出島、作庭以前の溝等の一部を確認し、玉泉院丸西部の池が作庭以前の盛土や地山を掘り窪めて造成されたこと、池の造成に伴い中島(大)や出島を削り出していたこと等が明らかになった。

ボーリング調査では、玉泉院丸全域の旧地形や金沢城初期の堀、池の広がりや変遷等を確認した。

全景（東から）

写真図版１　第１地点　全景（１）

西斜面～東石垣全景（垂直写真）

遠景（北から）

全景（東から）

写真図版２　第１地点　全景（２）

調査着手前（東から）

調査着手前（南西から）

第１地点北　斜面上端石組み暗渠（東から）

第１地点北　斜面裾（南東から）

調査区東部石垣群（北西から）

作業風景（東から）

写真図版３　第１地点　周辺の遺構

西端　北壁土層断面（南から）

西斜面　北壁土層断面（南から）

西斜面裾～東部　北壁土層断面（南から）

東部　南壁土層断面
石垣前面整地層・堀底堆積層（北から）

東部　北壁詳細土層断面（南から）

東部　池底堆積層　瓦質土器出土状況（北西から）

写真図版４　第１地点　庭園造成土、池

石垣前面整地土層（西から）

東部　石垣前面整地土層・No.102土層断面
下は堀底堆積層（西から）

東部　石垣前面整地土層・No.102土層断面（南から）

No.101（北西から）

写真図版５　第１地点　石垣前面整地

石垣２段目以上検出状況（北西から）

角石（南西から）

角石４－７（南西から）

角石４－７（西から）

写真図版６　第１地点　石垣（１）

角石４－７前面　戸室チップ検出状況（西から）

角石４－７前面　戸室チップ（隅角部片）（北西から）

石１－１前面　2dE4整地層出土戸室チップ（西から）

２段目・３段目間（西から）

石１－１・１－２（西から）

石１－１前面整地層、堀底堆積層（西から）

写真図版７　第１地点　石垣（２）

石４－１（６期）

石４－２（６期）

石４－３（６期）

石４－４（５期）

石４－５（５期）

石４－６（５期）

石４－７（角石　５期）

写真図版８　第１地点　石垣（３）

石３－１（５期）

石３－２（５期）

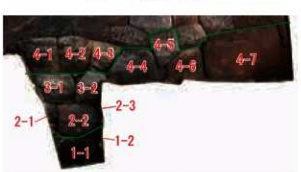
石２－１（５期）

石２－２（５期）

石２－３（５期）

石１－１（根石 ４期）

石１－２（根石 ４期）



写真図版９　第１地点　石垣（４）

円礫遺構遠景（東から）

円礫遺構（東から）

円礫遺構（東から）

写真図版 10　第 1 地点　下層遺構（1）

堀東部（南西から）

堀東部（西から）

堀西岸（東から）

堀西岸（北東から）

写真図版 11　第 1 地点　下層遺構（2）

石垣抜取跡・池・中島（西から）

中島・池・石垣抜取跡（東から）

写真図版 12　第２地点　全景

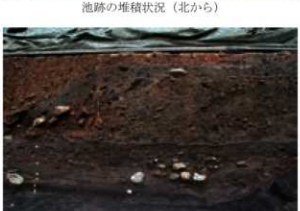
中島上の畝跡全景（西から）

畝跡周辺の土層

池跡の暗渠検出状況（西から）

池跡の暗渠全景（北から）

池跡の堆積状況（北から）



池跡の堆積状況（南から）

池底の断ち割り（北壁）

写真図版 13　第２地点　近代遺構、池

陶磁器等出土状況（北から）

陶磁器等出土層位（西から）

石鉢等出土状況（東から）

石鉢出土層位（南から）

円筒形石製品出土状況（北から）

円筒形石製品出土層位

木葉石検出状況（西から）

木葉石出土層位（南から）

写真図版 14　第２地点　遺物出土状況

中島上面全景（北西から）

中島斜面全景（西から）

写真図版15　第２地点　中島（１）

中島上面１（南から）

中島上面２（南から）

写真図版 16　第２地点　中島（２）

中島斜面１（南から）

中島斜面２（南から）

写真図版 17　第２地点　中島（３）

石組抜取跡 No. 228、229、233（北から）

石組抜取跡 No. 228、229、233（西から）

No. 233 付近の土層（南西から）

中島裾の土層とNo.240（南から）

中島斜面の土層（北西から）

No.232 付近（北から）

No. 250 付近（北から）

No. 242 付近（北から）

写真図版 18　第 2 地点　中島（4）

石垣 SW6011E 全景（東から）

検出状況　全景（東から）

検出状況　南壁付近

南壁付近の抜取跡埋土と裏込め残欠

土層堆積　北壁付近

写真図版 19　第２地点　石垣周辺（１）

石垣 SW6011E の裏込めと胴木、裾の砂利敷き（南から）

胴木検出状況

胴木検出状況

胴木拡大

胴木拡大

写真図版 20　第２地点　石垣周辺（２）

石垣 SW6011E の裏込めと胴木、裾の砂利敷き（西から）

砂利敷拡大（南）

砂利敷拡大（北）

砂利敷層の断面（南壁）

砂利敷層と直下の戸室砕石層（南壁）

写真図版 21　第２地点　石垣周辺（３）

下層遺構 No. 245（左）、No. 246（右）

No. 245 検出状況（西から）

石垣抜取時の掘り込みと石垣の裏込め（南壁）

No. 245 埋土中の礫（東から）

No. 245 埋土中の礫（南から）

写真図版 22　第 2 地点　下層遺構（1）

下層遺構No.245 全景

No. 245 と上層盛土（北から）

No. 245 と上層盛土（東から）

No. 245 と上層盛土（南から）

No. 245 全景（南から）

写真図版 23　第２地点　下層遺構（２）

下層遺構№246 全景

No. 246 埋土断面（東から）

No. 246 西部の検出状況（東から）

No. 246（左）と№245（右）

No. 246 西部の埋土断面（西から）

写真図版 24　第２地点　下層遺構（３）

護岸石垣・池・出島（西から）

出島・池・護岸石垣（東から）

写真図版 25　第 3 地点　全景

池埋立時の轍痕（北東から）

池埋立時の轍痕と整地層（西から）

池の埋土堆積状況（南から）

出島南側の埋土堆積状況（西から）

池跡の堆積状況（北から）

池跡の堆積状況と暗渠の断面（北から）

池底の粘土堆積状況（北から）

池底の断ち割り（西から）

写真図版 26　第 3 地点　近代遺構、池

出島全景（西から）

出島全景（南西から）

写真図版 27　第３地点　出島（１）

景石Ｓ１全景（西から）

景石Ｓ１検出状況（南から）

景石Ｓ１（北西から）

景石Ｓ１（南西から）

穿孔貝の生痕

写真図版 28　第３地点　出島（２）

景石Ｓ１と周囲の遺構（北から）

景石Ｓ１基底部（西から）

景石Ｓ１基底部（南から）

景石掘方等No. 313、314、310（西から）

景石抜取跡No.317（北から）

写真図版29　第３地点　出島（３）

石組根固め No. 308 全景（南から）

No. 308 検出状況（南から）

No. 308 北部（北から）

No. 306 と S 2（南から）

S 2（南西から）

写真図版 30　第 3 地点　出島（4）

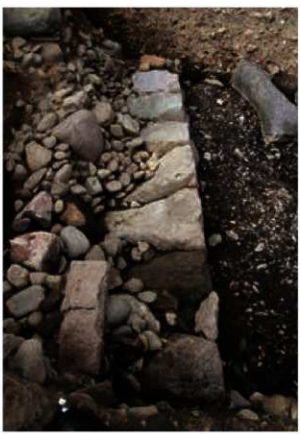
石垣全景（東から）

石垣全景（北東から）

写真図版31　第３地点　石垣（１）

上段の裏込め検出状況（東から）

上段裏込めの礫組成（西から）



築石と裏込め（南から）

築石と裏込め（北から）

石垣北端の背面整地状況（サブトレ南壁）

石垣北端の背面整地状況（サブトレ北壁）

写真図版 32　第 3 地点　石垣（2）

S８正面

S８背面

S８、S９間の詰石

詰石の背面

S９正面

S９背面

S10 正面

S10 背面

写真図版 33　第３地点　石垣（３）

S11 正面

S11 背面

S12 正面

S12 背面

S13 正面

S13 背面

S14 正面

S14 背面

写真図版 34　第 3 地点　石垣（4）

写真図版 35　第 3 地点　埋樋 No.318（1）

埋樋 No. 318 全景（南から）

埋樋 No. 318 全景（西から）

検出状況（東から）

写真図版 36　第 3 地点　埋樋 No.318（2）

西に傾斜する黒褐色の下層盛土（南東から）

埋樋掘方の南壁で検出した黒褐色の下層盛土

写真図版 37　第 3 地点　下層盛土

出島上面で検出した下層遺構№303、304（北から）

下層遺構№303、304（北西から）

下層遺構№303 埋土中の礫（北から）

下層遺構 No. 304、309（南から）

写真図版 38　第３地点　下層遺構

200906-B001 P1

200906-B005 P2

200906-B007 P4

200806-B004 P5

200906-B003 P3

200906-B008 P6

200806-B001 P7

200906-B004 P8

200906-B011 P9

写真図版 39　出土遺物　土器・陶磁器（1）

200806-D012 P10

200806-D010 P11

200906-D026 P12

200806-D009 P13

200906-D025 P14

200806-B003 P15

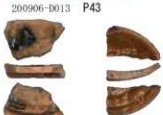
200806-D001 P16

写真図版 40　出土遺物　土器・陶磁器（2）

写真図版41　出土遺物　土器・陶磁器（3）

200906-D008 P36

200906-D013 P43


200906-D015 P50 200906-D017 P51

200906-B013 P53

200906-D002 P37

200906-D003 P40

200906-D014 P44

200906-B016 P54

200906-D009 P38

200906-D012 P41

200906-D004 P45

200906-D018 P47

200906-D005 P52

200906-B017 P56

200906-B015 P55

200906-D010 P39

200906-D011 P42

200906-D023 P46

200906-D019 P48

200906-B014 P57

写真図版 42　出土遺物　土器・陶磁器（4）

写真図版43　出土遺物　土器・陶磁器（5）

200906-D042 P75

200906-B058 P76

200906-D046 P80

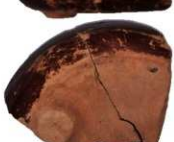
200906-B046 P77

200906-B043 P78

200906-D043 P81

200906-D041 P79

200906-D040 P82



200906-D037 P83

200906-D038 P84

200906-D045 P85

写真図版 44　出土遺物　土器・陶磁器（6）

200906-B029 P86

200906-B025 P87

200906-B026 P88

200906-B027 P89

200906-B028 P90

200906-D065 P91

200906-D039 P93

200906-D055 P92

200906-D053 P97

200906-B059 P94

200906-B031 P96

200906-D032 P95

写真図版45　出土遺物　土器・陶磁器（7）

200906-D048 P98

200906-D068 P99

200906-D036 P100

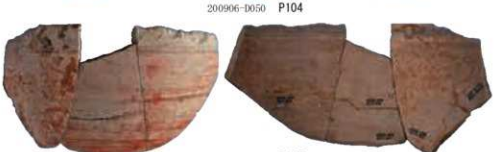
200906-B024 P101

200906-B057 P102

200906-B020 P103

200906-B030 P106

200906-D050 P104



200906-D051 P105

200906-B037 P107

写真図版 46　出土遺物　土器・陶磁器（8）

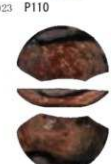
200906-B038 P108

200906-B036 P109

200906-B023 P110

200906-B032 P111

200906-B033 P112



200906-D063 P113

200906-D062 P114

200906-B039 P115

200906-D059 P116

200906-D049 P117

写真図版47　出土遺物　土器・陶磁器（9）

200906-B060 P118

200906-D060 P119

200906-D057 P120

200906-D052 P121

200906-B034 P122

200906-B042 P123

200906-D064 P126

200906-D061 P124

200906-D035 P125

写真図版 48　出土遺物　土器・陶磁器（10）

200906-D056 P127

200906-D058 P128

200906-D054 P129

200906-B061 P130

200906-B022 P131

200906-B021 P132

写真図版 49　出土遺物　土器・陶磁器（11）

200906-D066 P133

200906-B019 P134

200906-B041 P135

200906-D028 P137

200906-D029 P138

200906-B055 P139

200906-B040 P136

200906-B053 P140

200906-B052 P141

200906-D072 P142

200906-D073 P143

200906-B054 P144

200906-D074 P145

写真図版 50　出土遺物　土器・陶磁器（12）

200906-B063 P146

200906-B062 P147

200906-B047 P148

200906-B049 P149

200906-B056 P150

200906-B050 P151

200906-D081 P152

200906-D080 P153

200906-B048 P154

200906-D079 P155

200906-D075 P156

200906-D117 P157

写真図版51　出土遺物　土器・陶磁器（13）

200906-D077 P158

BP-53-B001 P161

200906-D076 P159

200906-D078 P160

BP-65-D001 P162

200906-B035 P163

200906-E001 P164

200906-D083 G1

200906-D085 G2

200906-D086 G3

200906-D082 G4

200906-D084 G5

写真図版 52　出土遺物　土器・陶磁器・ガラス（14）

200906-D092 T1

200906-D098 T3

200906-D111 T4

200906-D107 T5

200906-D096 T2

200906-D091 T6

200906-D113 T7

200906-D100 T8

200906-D099 T9

200906-D088 T11

200806-D014 T10

200906-D022 T12

写真図版 53　出土遺物　瓦（1）

200906-D090 T13

200906-D112 T14

200906-D108 T15

200906-D097 T16

200906-D094 T17

200906-D106 T18

200906-D103 T19

200906-D093 T21

200906-D109 T20

写真図版 54　出土遺物　瓦（2）

200906-D114 T22

200906-D110 T23

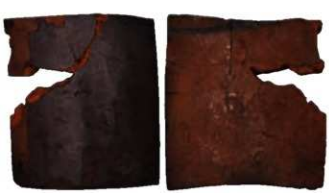
200906-D116 T24

200906-D105 T25

200906-D089 T26

200906-D087 T27

200906-D095 T28



200906-D101 T29

200906-D102 T30

200906-D115 T31

200906-D104 T32

写真図版 55　出土遺物　瓦（3）

200906-S024 S1

200906-S006 S2

200906-S023 S3

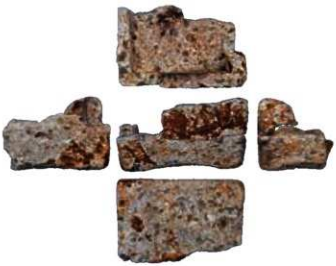
200906-S005 S4

200906-S022 S5

200906-S018 S6

200906-S019 S7

写真図版56　出土遺物　石製品（1）



200906-S003 S8

200906-S004 S9

200906-S021 S10

200906-S007 S11

200906-S001 S12

写真図版 57　出土遺物　石製品（2）

200906-S002 S13

200906-S020 S14

200906-S017 S15

200906-S016 S16

写真図版58　出土遺物　石製品（3）

200906-S012　S17

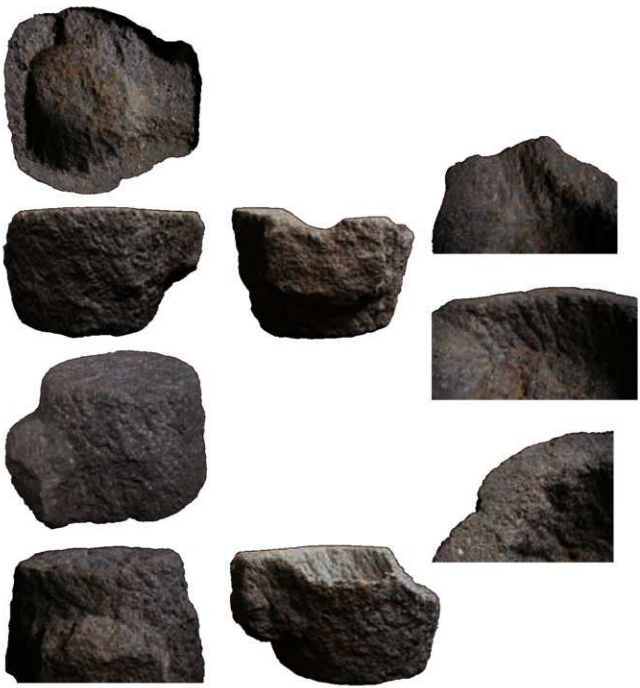
200906-S015　S18

200906-S014　S19

写真図版 59　出土遺物　石製品（4）

20906-S013　S20

写真図版60　出土遺物　石製品（5）



200906-S009　S21

写真図版 61　出土遺物　石製品（6）

200906-S010　S22

200906-S008　S24

200906-S011　S23

写真図版62　出土遺物　石製品（7）

200906-M004 M1

200906-M015 M2

200906-M014 M3

200906-M006 M4

200906-M005 M5

200906-M001 M6

200906-M012 M7 200906-M013 M8 200906-M010 M9 200906-M011 M10

200806-M001 M11 200806-M002 M12 200906-M002 M13 200906-M003 M14

200906-M008 M15

200906-M009 M16

200906-M007 M17

写真図版 63　出土遺物　金属

200906-W001 W1

200906-W004 W2

200906-W003 W3

200906-W005 W4

200906-W007 W5

200906-W002 W6

200906-W006 W7

写真図版 64　出土遺物　木製品

金沢城史料叢書 24
金沢城公園整備事業に係る埋蔵文化財調査報告書8

金沢城跡

－玉泉院丸庭園Ⅰ－

平成 27 年（2015）3 月 31 日　発行

編集・発行　石川県金沢城調査研究所

〒920-0918　石川県金沢市尾山町10－5
電話　076（223）9696　FAX 076（223）9697
http://www.pref.ishikawa.lg.jp/kyoiku/bunkazai/kanazawazyo/index.html
メールアドレス　kncastle@pref.ishikawa.lg.jp

印　刷　能登印刷株式会社